

## 第 5 次朝霞市総合計画後期基本計画（素案）

### 市民意見等の整理

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
1-1-1	防災対策の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	防災対策の推進
前期基本計画 の総括	<p>各関連機関との連携強化・施設整備を通じて、より総合的な防災体制を構築する必要がある。</p> <p>【総合的な防災体制の強化】防災関係機関との連携を強化・市民への適時適切な災害情報の伝達が求められる。</p> <p>【防災施設などの整備】避難所の表示案内を外国人にも伝わりやすいような表示方法の改善の推進が必要である。また、災害時食糧の備蓄方法の検討が求められる。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>各関連機関との連携強化や施設整備を通じて、より総合的な防災体制を構築する必要がある。</p> <p>【総合的な防災体制の強化】 防災関係機関との連携を強化するとともに、災害情報や避難に係る発令など、市民に対し、正確で迅速な情報の伝達が求められる。</p> <p>【防災施設などの整備】 外国人にも安全に安心して避難できるよう、市ホームページや避難所までの案内表示等を工夫する必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「災害対策・防犯・市民生活」(41件)では、「街灯の増設要望」、「防災無線が聞こえない」、「安全・安心のまちづくりへの期待」、「防犯カメラの設置要望」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>・市民の約9割(89.2%)が、「防災・消防」を重要であると考えており、人口減少・少子化対策においても、地域防災は重要な施策であると考えている(30.1%)。</p> <p>・自由記述において、「災害時において、防災行政無線が聞き取りづらい」との意見が多数あったことから、メール配信サービスへの登録など、防災行政無線の内容を市民に伝える手段や周知が必要である。</p>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

**考えられる市民・社会のニーズ**

- ・「防災行政無線」について、市民意識調査の自由記述に多く寄られていたが、青少年アンケートの自由記述にはほとんど意見が無かったが、これは、比較的年齢の低い層は、防災行政無線よりもSNSによる情報収集が多いのではを推察できる。
- ・このことから、災害情報をSNSで収集する青少年が、その知人や親戚に情報提供できるような仕組みづくりが必要であると考えます。

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙1に記載(317ページ)
---------------------	----------------

**【地域の課題】**

- ・地域防災については、地域防災アドバイザーや自治会町内会が構成する自主防災組織を中心に地域の防災力を高める必要がある。
- ・そのためには、市や防災アドバイザー、自主防災組織が積極的に地域住民に情報発信していくことも必要である。

**【道路冠水】**

- ・現在、雨水対策については、雨水管理総合計画に基づいて行っているが、内水被害が直ちに無くなることはない。
- ・そのため、災害時には職員によるパトロールや事業者による応急復旧を行っているのが現状であり、被害を行さない、または最小限に抑えるためには、市からの避難等に係る性格で迅速な情報提供が必要であると考えます。

**【防災情報】**

- ・メール配信サービスについては、まだ登録者数が足りないと考えているため、登録者数の増加に向けた取り組みを強化する必要がある。また、災害情報を様々な手段で市民に伝達できるようメール配信サービス以外の手段を検討する必要がある。

**【男女平等】**

- ・災害時における避難所において、女性が被害に遭う事件が多いとの報道を見受けることから、女性視点での避難所運営や被害に遭わない対策を講じる必要がある。

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	

考えられる市民・社会のニーズ

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都直下地震等、首都圏での災害の発生に備え、各種訓練の実施や市内の救急救助体制を検討することが求められる。(p.17)</li> <li>・近年激甚な災害が各地で頻発している状況をふまえ、重要な都市基盤であるインフラ等について、災害時に被害を最小限にとどめるよう関係機関と連携して必要な改修・整備を行うことが重要である。(p.17)</li> <li>・災害時の大規模停電（ブラックアウト）による被害や災害復旧活動への影響を防ぐため、道路の無電柱化及び緊急輸送道路や幹線道路等の整備を検討することが求められる。(p.8)</li> </ul>
------------	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、風水害、火山、原発事故など、様々な災害が発生した際、迅速に対応できる体制の強化が求められる。</li> <li>・市民に対する救急救助体制の整備はもちろんのこと、災害対応時の庁内体制や応急対応、復旧作業への移行、近隣自治体や国・県との連携など、市民の生命と財産を守る体制を強化する必要がある。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 福祉避難所の開設マニュアルの整備をお願いします。</p>	<p>・福祉避難所開設マニュアルの整備が必要であるとする。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
1-1-2	地域防災力の強化

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	地域防災力の強化
前期基本計画 の総括	<p>市民一人ひとりの防災意識を高め、防災に関する知識の普及啓発を推進していくために、普及啓発に努めていく必要がある。</p> <p>【防災意識の高揚】 【自主防災活動の支援】 【地域防災の連携】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>市民一人ひとりの防災意識を高め、防災に関する知識の普及啓発を推進していく必要がある。</p> <p>【防災意識の高揚】 ・ 昨年の台風19号の経験により、風水害による防災の意識はかなり高まっていると考えているが、同様の災害に見舞われたときに市民一人ひとりが冷静な判断や対応がとれるよう、自助・共助の必要性を啓発する必要がある。</p> <p>【自主防災活動の支援】 ・ 自主防災組織が自治会や町内会で組織していることや地域防災アドバイザーの存在を市民に認識していただくとともに、自主防災組織を中心に迅速に災害対応ができるよう支援する必要がある。</p> <p>【地域防災の連携】 ・ 自主防災組織や消防団などの関係機関との連携強化が求められる。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・ 「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】</p> <p>・ 人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
--------------------	---

<p>・ 市民の約9割(89.2%)が、「防災・消防」を重要であると考えており、人口減少・少子化対策においても、地域防災は重要な施策であると考えている(30.1%)。</p> <p>・ 自由記述において、「災害時において、防災行政無線が聞き取りづらい」との意見が多数あったことから、メール配信サービスへの登録など、防災行政無線の内容を市民に伝える手段や周知が必要である。</p>
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

**考えられる市民・社会のニーズ**

- ・「防災行政無線」について、市民意識調査の自由記述に多く寄られていたが、青少年アンケートの自由記述にはほとんど意見が無かったが、これは、比較的年齢の低い層は、防災行政無線よりもSNSによる情報収集が多いのではを推察できる。
- ・このことから、災害情報をSNSで収集する青少年が、その知人や親戚に情報提供できるような仕組みづくりが必要であると考え。

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙1に記載(317ページ)
---------------------	----------------

**【地域の課題】**

- ・地域防災については、地域防災アドバイザーや自治会町内会が構成する自主防災組織を中心に地域の防災力を高める必要がある。
- ・そのためには、市や防災アドバイザー、自主防災組織が積極的に地域住民に情報発信していくことも必要である。

**【道路冠水】**

- ・現在、雨水対策については、雨水管理総合計画に基づいて行っているが、内水被害が直ちに無くなることはない。
- ・そのため、災害時には職員によるパトロールや事業者による応急復旧を行っているのが現状であり、被害を行さない、または最小限に抑えるためには、市からの避難等に係る性格で迅速な情報提供が必要であると考え。

**【防災情報】**

- ・メール配信サービスについては、まだ登録者数が足りないと考えているため、登録者数の増加に向けた取り組みを強化する必要がある。また、災害情報を様々な手段で市民に伝達できるようメール配信サービス以外の手段を検討する必要がある。

**【男女平等】**

- ・災害時における避難所において、女性が被害に遭う事件が多いとの報道を見受けることから、女性視点での避難所運営や被害に遭わない対策を講じる必要がある。

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	

考えられる市民・社会のニーズ

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都直下地震等、首都圏での災害の発生に備え、各種訓練の実施や市内の救急救助体制を検討することが求められる。(p.17)</li> <li>・近年激甚な災害が各地で頻発している状況をふまえ、重要な都市基盤であるインフラ等について、災害時に被害を最小限にとどめるよう関係機関と連携して必要な改修・整備を行うことが重要である。(p.17)</li> <li>・災害時の大規模停電（ブラックアウト）による被害や災害復旧活動への影響を防ぐため、道路の無電柱化及び緊急輸送道路や幹線道路等の整備を検討することが求められる。(p.8)</li> </ul>
------------	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、風水害、火山、原発事故など、様々な災害が発生した際、迅速に対応できる体制の強化が求められる。</li> <li>・市民に対する救急救助体制の整備はもちろんのこと、災害対応時の庁内体制や応急対応、復旧作業への移行、近隣自治体や国・県との連携など、市民の生命と財産を守る体制を強化する必要がある。</li> </ul>
--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 地域で要配慮者とともに誰も取り残さないための避難訓練の実施をお願いします。</p>	<p>・災害時要支援者台帳を活用し、自主防災組織や市が実施する防災訓練に参加を促すとともに、日頃から「顔の見える」付き合いができるような仕掛けづくりが求められる。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
1-1-3	消防体制の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	消防体制の充実
前期基本計画 の総括	消防団との連携強化及び団員の確保・施設整備の強化が求められる。 【埼玉県南西部消防本部との連携】地域の防災力の維持・向上のため、朝霞地区一部事務組合と連携を強化することで、消防団の活動環境を整備することが求められる。 【消防団の充実】消防団員の確保・充実に加え、施設整備も強化する必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
消防団との連携強化及び団員の確保・施設整備の強化が求められる。  【埼玉県南西部消防本部との連携】 ・地域の防災力の維持・向上のため、朝霞地区一部事務組合の朝霞消防署と日頃から「顔の見える」付き合いを行うことで連携を強化するとともに、市消防団の活動環境を整備することが求められる。  【消防団の充実】 ・消防団員の確保や技術向上に向けた取組のほか、消防団詰所の施設整備も強化する必要がある。

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
--------------------	---

市民意識調査 (自由記述)	<p>・市民の約9割(89.2%)「防災・消防」を重要であると考えており、人口減少・少子化対策においても、地域防災は重要な施策であると考えている(30.1%)。</p> <p>・自由記述において、「災害時において、防災行政無線が聞き取りづらい」との意見が多数あったことから、メール配信サービスへの登録など、防災行政無線の内容を市民に伝える手段や周知が必要である。</p>
------------------	---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙1に記載(317ページ)
---------------------	----------------

<p>【地域の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災については、地域防災アドバイザーや自治会町内会が構成する自主防災組織を中心に地域の防災力を高める必要がある。</li> <li>・そのためには、市や防災アドバイザー、自主防災組織が積極的に地域住民に情報発信していくことも必要である。</li> </ul> <p>【道路冠水】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、雨水対策については、雨水管理総合計画に基づいて行っているが、内水被害が直ちに無くなることはない。</li> <li>・そのため、災害時には職員によるパトロールや事業者による応急復旧を行っているのが現状であり、被害を行さない、または最小限に抑えるためには、市からの避難等に係る性格で迅速な情報提供が必要であると考え。</li> </ul> <p>【防災情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信サービスについては、まだ登録者数が足りないと考えているため、登録者数の増加に向けた取り組みを強化する必要がある。また、災害情報を様々な手段で市民に伝達できるようメール配信サービス以外の手段を検討する必要がある。</li> </ul> <p>【男女平等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における避難所において、女性が被害に遭う事件が多いとの報道を見受けることから、女性視点での避難所運営や被害に遭わない対策を講じる必要がある。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>日頃から「顔の見える」付き合いをしていきたい。 朝霞消防署と朝霞市とが常に連携できるような関係を構築したい。</p>	<p>通常の業務において、日頃から「顔の見える」付き合いをする必要がある。 朝霞消防署と朝霞市とが常に連携できる関係を構築する必要がある。</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都直下地震等、首都圏での災害の発生に備え、各種訓練の実施や市内の救急救助体制を検討することが求められる。(p.17)</li> <li>・近年激甚な災害が各地で頻発している状況をふまえ、重要な都市基盤であるインフラ等について、災害時に被害を最小限にとどめるよう関係機関と連携して必要な改修・整備を行うことが重要である。(p.17)</li> <li>・災害時の大規模停電（ブラックアウト）による被害や災害復旧活動への影響を防ぐため、道路の無電柱化及び緊急輸送道路や幹線道路等の整備を検討することが求められる。(p.8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、風水害、火山、原発事故など、様々な災害が発生した際、迅速に対応できる体制の強化が求められる。</li> <li>・市民に対する救急救助体制の整備はもちろんのこと、災害対応時の庁内体制や応急対応、復旧作業への移行、近隣自治体や国・県との連携など、市民の生命と財産を守る体制を強化する必要がある。</li> </ul>

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 羽田空港新飛行ルート運用開始に伴って航空機事故への備えと近隣自治体との連携をお願いします。</li> <li>○ 風水害・地震などの災害時の広域連携とその行動マニュアルの整備をお願いします。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽田空港新飛行ルート運用開始に伴い、落下物のほか大規模な航空機事故が想定され、市民の生命や財産が脅かされる可能性があることから、事故への備えや近隣自治体との連携が必要であるとする。</li> <li>・風水害や地震などの災害時には広域連携が必要であると同時に、迅速に対応できるよう行動マニュアルが必要であるとする。</li> </ul>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
1-2-1	防犯のまちづくりの推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	防犯のまちづくりの推進
前期基本計画 の総括	市民の防犯意識の醸成・防犯環境の整備が求められる。 【防犯活動の充実】関係機関との連携のみならず、防犯研修会など、市民の防犯対策につながる様々な補助活動を継続する必要がある。 【防犯環境の整備】木浅香駅周辺が防火地域に指定されていることを踏まえ、エレベーターの設置・整備が求められる。

考えられる市民・社会のニーズ
市民の防犯意識の醸成・防犯環境の整備が求められる。  【防犯活動の充実】 ・警察などの関係機関から情報をより正確に迅速に収集することのほか、自治会や町内会等で組織するわがまち防犯隊に対する活動支援や、市民に対する防犯研修会など、「犯罪を起こさせにくいまち」を市全体で取り組む必要がある。  【防犯環境の整備】 ・朝霞駅周辺が防火地域に指定されていることを踏まえ、朝霞駅にエレベーターの設・整備が必要である。

市民意識調査 (客観的データ)	・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】
市民意識調査 (自由記述)	・「災害対策・防犯・市民生活」(41件)では、「街灯の増設要望」、「防災無線が聞こえない」、「安全・安心のまちづくりへの期待」、「防犯カメラの設置要望」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】

・市民意識調査においては、8割を超える市民が、「安全・安心」なまちが重要であると考えている。  ・自由記述についても、「街灯の増設要望」や「安全・安心のまちづくりへの期待」、「防犯カメラの設置」など、「防犯」に関する意見が多数あり、安全で安心なまちづくりが求められている。
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物に不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</p>	<p>・朝霞市が嫌いな理由の一つとして、「まちが安全・安心でない」が3割弱となっていることから、青少年も「安全・安心なまち」を望んでいる。</p> <p>・自由記述についても、「街灯の増設要望」や「パトロール強化への要望」、「安全・安心のまちづくりへの期待」、「不審者対応への改善」など、「防犯」に関する意見が多数あり、安全で安心なまちづくりが求められている。</p>
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)		

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	

考えられる市民・社会のニーズ

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市の人口1千人あたりの刑法犯認知件数は、埼玉県平均より低いものの、比較自治体の中では比較的高い水準にあることから、防犯対策の強化が求められる。(p. 5)</li> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見る事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。(p. 6)</li> <li>・水道の管路の経年化率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。(p. 6)</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。(p. 6)</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で昼間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。(p. 6)</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと住環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。(p. 6)</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。(p. 6)</li> </ul>
------------	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・刑法犯については、朝霞警察署と連携を図り、近年の犯罪状況の動向を踏まえながら、防犯対策のさらなる強化に取り組む必要がある。</li> </ul>
--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 「地域防災力の強化」や「防犯のまちづくり」の観点から、防災に限らず日頃から地域で人が知り合う機会づくりが重要と思います。昨年度、6月4日に朝霞の森にドイツからの視察団が訪れ、市長による呈茶でおもてなしが行われましたが、ドイツ視察団が行っている「移動型遊び場」は生活道路などで展開されており、道で遊ぶことで地域の人々が知り合う機会となっていました。今後、具体的な計画の中に「防犯対策として道での遊び」なども盛り込まれていくと、実効性が高いと考えます。</p>	<p>・ 「地域防災力の強化」のためには、日頃から隣近所において「顔の見える」付き合いをすることが重要であり、そのための取組や仕掛けが必要である。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
1-2-2	消費者の自立支援の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	消費者の自立支援の充実
前期基本計画 の総括	若年層に対する消費者支援の拡充・生活相談員の資質向上が求められる。 【消費生活への支援】啓発活動の支援を高齢者だけでなく、若年層へも対象者を拡大する必要がある。 【消費生活相談の充実】消費者トラブルの未然防止のため、相談員の資質向上に努める必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
若年層に対する消費者支援の拡充・生活相談員の資質向上が求められる。 【消費生活への支援】啓発活動の支援を高齢者だけでなく、若年層へも対象者を拡大する必要がある。 【消費生活相談の充実】消費者トラブルの未然防止のため、相談員の資質向上に努める必要がある。

市民意識調査 (客観的データ)	・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】
--------------------	---

市民の約85%が「生活」を重要視しており、消費者の自立支援の充実は重要であり、市民・社会から求められている。
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)		

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング	<p>消費者教室に参加された93名に対し、アンケート調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報に具体的なトラブル事例などを掲載して広く知らせてほしい。世の中でどのようなことがトラブルになっているか知りたい。</li> <li>・町内会や自治会で機会を設けて地域の人が集まって勉強会をするなど、自治防衛に勤めることも大切では。（講師は行政の方で、時間がある時に。連帯感が生まれるのでは。）</li> <li>・トラブル事例をメール配信してはどうか。</li> <li>・消費生活センターの認知度を上げるための取組みを検討してほしい。消費者トラブルにあった時の相談場所として消費生活センターがあることを市民みんなが知れば、もっと相談しやすい環境ができるのではないか。</li> <li>・高齢者部門などと連携を図り、高齢者の消費者被害を減らす活動が必要である。</li> </ul>	<p>消費者トラブルの事例を広く周知することや特に高齢者の被害予防として高齢者部門と連携を図ることで消費者トラブルを未然に防ぐことが求められている。また、消費者トラブルに遭った時の相談場所として、消費生活センターがあることを周知することも求められている。</p>
まちづくりの課題整理	-	-

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 民法改正によって成人年齢が18歳に引き下げられるにあたり、若い世代の消費者トラブルを予防する必要があると考えます。 若い世代への消費生活への理解を深める講座の実施、消費生活相談の周知徹底をお願いいたします。</p>	<p>消費者トラブルが多種・多様化しており、また成人年齢の18歳引下げもあることから、若い世代の消費者トラブルを未然に防ぐために消費者教育の実施や消費生活相談の周知徹底が求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
1-2-3	安心できる葬祭の場の提供

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	安心できる葬祭の場の提供
前期基本計画 の総括	斎場・墓地の計画的な修繕及び利用者ニーズへの対応が求められる。 【斎場の適正な管理運営】施設・設備の老朽化による故障リスクを回避するため、計画的な修繕が必要である。 【墓地の設置状況の把握】多様化する葬儀携帯の利用者ニーズを踏まえた、施設改善に取り組む必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
斎場・墓地の計画的な修繕及び利用者ニーズへの対応が求められる。 【斎場の適正な管理運営】施設・設備の老朽化による故障リスクを回避するため、計画的な修繕が必要である。

市民意識調査 (客観的データ)	・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】
--------------------	---

市民の約85%が「生活」を重要視しており、安心できる葬祭の場の提供が求められている。
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)		

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>葬祭セミナーに参加された37名に対し、アンケート調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市斎場のことは全員が知っていた。</li> <li>・市内に斎場があることにより、安心して葬儀をすることができると思う方は36名（1名は「わからない」）であり、斎場の存在が葬儀に対する安心感に結び付いている結果となった。</li> <li>・斎場を見学した結果、「ぜひ利用したい」という方が9名、「利用したい」という方が19名であった。</li> <li>・家族葬のような小規模な葬儀や直葬、樹木葬などについては、「ぜひ検討したい」という方が21名であった。</li> </ul> <p>【感想・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葬儀が多様化していることがわかった。</li> <li>・斎場のトイレのドアの改善を要望する。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>斎場の管理運営について、広く認知・普及していることが読み取れる。また、市営の斎場の存在が葬儀に対する安心感に結びついており、施設利用の意向割合も高い。</p> <p>一方でより利用しやすいように施設の改善に係る要望もあり、計画的、継続的に取り組むことが求められている。</p>

まちづくりの課題整理	-
------------	---

-
---



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	

考えられる市民・社会のニーズ

職員コメント	<p>現状と課題について  「近年、葬儀形態の多様化により」  ⇒葬儀形態の多様化のほか、民間葬祭事業者利用ということもあるのでは。</p>
--------	--

<p>葬儀形態の多様化により、希望する葬儀形態に適した葬祭の場として、民間葬祭事業者の利用が選択肢の1つとなっていると考えられる。</p>
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-1-1	地域共生社会の構築

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	共生社会の実現
前期基本計画 の総括	ノーマライゼーションの理念の普及に加え、市が主体となる障害者支援の周知・体制整備が求められる。 【ノーマライゼーションの理念の普及】より効果的な認知度向上の施策が求められる。 【権利擁護の支援】障害者虐待防止センター、障害者差別解消法に係る相談窓口、成年後見市長申立てなど、市が主体となる支援について、更なる周知及び体制整備を行う必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
認知症、知的障害者、精神障害等により判断能力が不十分な者への権利擁護支援のための中核機関の開設や権利擁護支援の担い手としての市民後見人等の育成や活動支援の在り方などに取り組む必要がある。

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p><b>【健康調査】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関心があるのに健診受診率が低い。原因調査。</li> <li>今は健康だからという理由で健診を受診しない人がいる。</li> </ul> <p><b>【参加の機会が足りない】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策によって地域の区分がバラバラである。</li> <li>健康のためこのような機会を利用し徒歩で参加、人々の意見を聞いて能活をするようにしている。</li> <li>パスモがもう少し多く欲しい。現在は2,000円、以前は3,000円だった。</li> <li>一人住まいの高齢者が増加している</li> <li>民生委員になってもらえる人が少ない</li> <li>高齢者とこどもの交流を積極的にすること。</li> </ul> <p><b>【福祉に関するお金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関係は無償又は低額の補償の場合が多い。</li> <li>社会保障制度は財政的に地方が運営することは難しい。</li> <li>市政は福祉が中心であるべき。</li> <li>福祉に携わる人の処遇改善が必要。</li> </ul> <p><b>【当事者の参加】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日は、子育て関係、高齢者団体、各障がい者団体が参加しているか</li> <li>懇談会に障がい者団体などの当事者が参加できるよう周知されているのか</li> </ul> <p><b>【健康管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受診者へ健診結果フィードバックを実施、推進する。</li> <li>受診率の基準を国の基準とは別に市で定めるべき。</li> </ul> <p><b>【福祉の体制づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関係職員の給与を上げること</li> <li>地域自立支援センターはいろんな障がい者の支援を含めること</li> <li>健康保険税を引き下げ</li> <li>民生委員等今後も重要な役割をもつものには、ある程度報酬を支給する。</li> <li>地方は地域情報収集に努め、国に要請する。</li> <li>施策において、できるだけ区分の統一を進めていく。</li> </ul> <p><b>【地域の交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世代を超えた交流の場を設けたらどうか。</li> <li>サークル、同好会に出かける足が必要（高齢者や足の不自由な人のための）</li> <li>友人を作り支えあう</li> </ul>
---------------------	---

<p>多くの市民の方が地域福祉の担い手として、地域の様々な場をつなぐ分野を超えた協働体制を構築していく必要があると考えられる。</p> <p>また、多くの市民の方が地域の活動に参加できる情報を提供していく必要がある。</p>
--

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再犯者の半数は病氣（依存症）だと感じている。薬物、痴漢、万引きなどをすることで快感を得ているため繰り返してしまう。</li> <li>・再犯の対象者を現在保護観察中である。現在仮釈放中で通院中。仕事は自分で見つけてきて、コンビニの配達をするとのこと。もう1人は懲役執行猶予判決を何度か受けており、次は実刑となる。こちらも運転手の仕事を見つけてきており就業先の心配はない。</li> <li>・少年の場合、家庭でのしつけがきちんとされておらず、生活態度がルーズで約束を守れないことが多いと感じる。再犯で少年院に入った少年が退院後は生活態度が改まり、仕事にもきちんと行くようになり驚いている。幼い頃から盗みをしていないといられない環境にあり、それが当たり前になって出入りを繰り返していた人は、執行猶予中の再犯で長く入ることになり、二度とこんな思いはしたくないと反省している。仕事も、公園の清掃などを行い、ラジオ体操に行ったりしており、公園仲間から「よくやってくれてありがと」とねぎらわれるなど居場所ができたようだ。環境を整えばルールを守れるようになる。</li> <li>・自分が担当する再犯は薬物が多い。4年空いた5年空いたと言っても結果再犯してしまう。保護観察が終了したあとも、寄り添いが不可欠であり、そういう体制をつくってもらえれば。</li> <li>・薬物の再犯は、保護観察が終わったと思ったらまた手を出して戻る。最初に保護観察がつけば、裁判所と警察以外にも自分の罪を知っている人がおり、「やってはいけない」ということを毎月言ってもらうことで再犯は防げたのではないかと思う。</li> <li>・薬物の再犯者との関わりでは、誰かに頼りにされたり、仕事を持つことが一番なので、管轄のハローワークにも専門的の人員を配置し、行政も担当者と連携を密にし、罪を犯した人、生活保護受給者、生活困窮者が就職できる関係性を作ってほしい。また、アパートを借りるにしても保証人が必要などハードルが高い。住まいの問題も考えていければと思う。</li> <li>・加害者保護が強いと思う。本人は罪を犯したことは周りには秘密にしたい。保護司は自分が保護司だと周囲に言っていけない風潮があった。</li> <li>・罪を犯す子どもは、ほぼ100%家庭環境に問題がある。罪悪感の欠如が見られる。罪悪感を持っていれば、そんなに再犯はしないのではないかと思う。面接の際、犯した罪についてどう思っているのか、どのように変化しているのか聞き、報告書に記載している。責任感のある人間性を持たせなければいけないと思う。</li> <li>・2人を保護観察中で、再犯者である。依存症は治るのが非常に難しく、治ったかどうか目に見えてはわからない。治った判断の基準が難しい。依存症には万引き、アルコール、薬物、ギャンブル等いろいろあるが、ストレスが再犯の引き金にならないよう、ストレスをためないように、興味を他に向けてるように保護観察をしている。</li> <li>・保護観察中の少年がいるが、約束した時間には往訪せず、10回連絡して1回応答があれば良いほう。約束の時間に来ないときは自宅へ急行するが、ほぼ不在。本来は少年院できちんと生活習慣等を身に付けてほしかった。</li> <li>・人と関わるのが苦手で、ひとりだけでできる運送の仕事をしている対象者がいる。ひとりだと寂しくなって、また罪を犯してしまうのではないかと危惧している。</li> <li>・薬物に手を出した少年を保護観察している。社会に出た時のため免許を取るよう助言した。その後就職し、高校の卒業資格を取るべく励んでおり、今のところ再犯のおそれはなさそう。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>再犯の防止等に関する法律の成立を踏まえ、保健医療、福祉等の支援を必要とする犯罪をした者等への復帰支援の在り方について、地域福祉と一体的に検討する必要があると考える。</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての待機児童の解消には至っていないため、今後とも待機児童対策を進めていく必要がある。</li> <li>・地域内に病院数が少ないが、整備については、「埼玉県地域医療構想」に基づき整備等されてきた経緯があることから、今後も、埼玉県や朝霞地区医師会と調整や連携を進めていくことが課題である。</li> <li>・障害者手帳の所持者は増加傾向にあり、国が掲げる地域生活支援拠点の整備や医療的ケア児の支援、さらに精神障害にも対応した地域包括支援システムの構築など、多様な支援が必要であると考えられる。</li> <li>・要介護（要支援）認定比率が高いこと等から、高齢者の健康づくりが必要であると考えられる。</li> </ul>
------------	--

<p>地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童福祉その他の福祉に関し、地域の生活課題を包括的な相談支援体制を構築することが必要であると考えられる。</p>
---

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 市民発の活動への資金面の支援を盛り込んでいただきたいです。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>地域における保健福祉活動の振興を図るため、NPO法人など各種民間団体に対し、地域保健福祉活動補助金を支給しており、今後も引き続き支援していく。</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-1-2	生活困窮者等への支援

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	(該当なし)
前期基本計画 の総括	
市民意識調査 (客観的データ)	
市民意識調査 (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p><b>【健康調査】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関心があるのに健診受診率が低い。原因調査。</li> <li>今は健康だからという理由で健診を受診しない人がいる。</li> </ul> <p><b>【参加の機会が足りない】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策によって地域の区分がバラバラである。</li> <li>健康のためこのような機会を利用し徒歩で参加、人々の意見を聞いて能活をするようにしている。</li> <li>パスモがもう少し多く欲しい。現在は2,000円、以前は3,000円だった。</li> <li>一人住まいの高齢者が増加している</li> <li>民生委員になってもらえる人が少ない</li> <li>高齢者とこどもの交流を積極的にすること。</li> </ul> <p><b>【福祉に関するお金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関係は無償又は低額の補償の場合が多い。</li> <li>社会保障制度は財政的に地方が運営することは難しい。</li> <li>市政は福祉が中心であるべき。</li> <li>福祉に携わる人の処遇改善が必要。</li> </ul> <p><b>【当事者の参加】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日は、子育て関係、高齢者団体、各障がい者団体が参加しているか</li> <li>懇談会に障がい者団体などの当事者が参加できるよう周知されているのか</li> </ul> <p><b>【健康管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受診者へ健診結果フィードバックを実施、推進する。</li> <li>受診率の基準を国の基準とは別に市で定めるべき。</li> </ul> <p><b>【福祉の体制づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関係職員の給与を上げること</li> <li>地域自立支援センターはいろんな障がい者の支援を含めること</li> <li>健康保険税を引き下げ</li> <li>民生委員等今後も重要な役割をもつものには、ある程度報酬を支給する。</li> <li>地方は地域情報収集に努め、国に要請する。</li> <li>施策において、できるだけ区分の統一を進めていく。</li> </ul> <p><b>【地域の交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世代を超えた交流の場を設けたらどうか。</li> <li>サークル、同好会に出かける足が必要（高齢者や足の不自由な人のための）</li> <li>友人を作り支えあう</li> </ul>
---------------------	---

<p>単身の高齢者が増えていることから、高齢者の見守りの充実や高齢者の困りごとの相談に応じ、必要な支援を行うほか、関係機関等と連携して支援することが必要であると考えられる。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 住居支援・復職支援など具体的な支援策を検討してほしいです。 ゆるやかな社会参加・社会復帰を果たすことのできる居場所づくり、精神保健を含めた健康面での支援も必要だと考えます。</p>	<p>福祉に関わる相談に応じ、必要な支援を行ったり、関係機関等へつなげていく。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-2-1	子どもたちが健やかに育つ環境整備

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	子どもたちが健やかに育つ環境づくり
前期基本計画 の総括	<p>各家庭の状況に配慮した実施的な支援体制の構築が求められる。</p> <p>【子どもの人権の尊重】子どもの貧困に係る実態調査の結果から、本市における課題の把握・各関連機関との連携強化を通じて、より実質的に機能する体制を構築する必要がある。</p> <p>【特別な配慮が必要な子どもへの支援】国が策定した「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」に基づき、2022年度までに、子どもとその家庭や妊産婦等を対象として、地域の実情の把握や相談対応、調査、継続的な支援等を行う「市区町村子ども家庭総合支援拠点」を設置する必要がある。</p> <p>【地域の中の子どもの居場所づくり】新たな児童館の基本設計案について説明し、児童館の運営体制を再検討する必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>・子ども一人一人の人権が尊重される社会を基本としつつ、配慮が必要な子どもへの支援や子どもの居場所づくりを進めるなど、子どもたちが健やかに育つ環境が求められる。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.8%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「健康・福祉」(83件)では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>・市民意識調査から、「子育て支援・青少年育成」に対する取り組みについては重要であるにとらえており、まちづくりの方向性として、子育て環境の充実が上位にある。また、人口減少・少子高齢者対策においても、子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築は最も高いことから、子育てに対する市民の関心はとて高く、かつニーズが高いことがわかる。</p> <p>・青少年から、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」は(36.2%)と高くなっている。</p>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前シャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
・子どもたちにとっても「子育て環境の充実」について関心が高くなっていることがうかがえる。

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【保育以前のケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア不十分。内容、回数ともに</li> <li>・一時保育の利用がしにくい</li> <li>・家庭の中の家事支援がもっとほしい</li> <li>・産後ケアNPOを活用してほしい</li> <li>・産後ケアの回数を増やし、子どもと離れる時間が取れるように</li> <li>・一時保育・乳児保育ができる圏を増やす</li> <li>・ファミリーサポート制度を使いやすくして、家事支援を受けられるように</li> </ul> <p>【中高生への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の社会参加の機会が少ない</li> <li>・ほんちよう児童館を活用して、中高生向けプログラム強化を</li> </ul> <p>【専門機関の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターなど行政機関以外で相談する場所が少ない</li> <li>・幼、保、小連携をもっとしてほしい</li> <li>・子どもの発達 個々の特性に合わせた支援をする場所がほしい</li> <li>・子ども家庭総合支援拠点に専門職をおいてほしい</li> <li>・子どもの特徴・情報・支援プランを確実に小学校につなぐシステムづくり</li> </ul> <p>【地域の子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地縁が少ない</li> <li>・NPO事業の告知を協力してほしい</li> <li>・教育・福祉の横ぐしの支援計画を立ててほしい</li> <li>・児童相談所、警察などとの連携（親を責めるのではなく支えるサポートを）</li> </ul> <p>【家庭の事情に合わせた支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭ならでは大変さによりそう支援があるといい</li> <li>・ひとり親家庭の交流の場や相談会の実施</li> </ul> <p>【放課後児童クラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブの長期休暇中の給食を使いやすくしてほしい</li> <li>・放課後児童クラブの給食は利用回数による事後精算にしてほしい</li> </ul>
---------------------	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てにかかる家庭内の家事支援機会の増や、子どもと離れられる制度の充実希望があり、孤立化や負担感を感じている保護者が多いと考えられる。</li> <li>・中高校生の社会参加の機会となるよう、児童館で中高校生向けのプログラムを強化する。</li> <li>・子どもの発達や個々の特性に合わせ、相談や支援のできる専門機関、場所が求められている。</li> <li>・地域とつながりのない人の子育てを支援していく仕組みや、教育・福祉を横ぐしで支援できる計画が必要である。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング		
まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢が若い世代では、地域との関わりが「あいさつや顔見知り」程度に止まり、市民同士のつながりが広がらない中で、生活困窮や引きこもりなどの複雑かつ多様な課題を抱える家庭に対し、必要な支援につなげるための取組が必要であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での情報を必要とする人にとって、わかりやすく入手しやすい情報提供と相談体制のさらなる充実が求められる。</li> <li>・保護者の子育てにかかる不安や負担を軽減するよう、家庭の子育て力を高めるための学習機会の提供・情報提供が必要である。</li> <li>・安心して子どもを産み、育てることができるよう、子どもと保護者の健康の確保・増進に努める。</li> </ul>

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 外国籍の子どもが日本の子どもたちと融和できる様な具体的な支援計画が今後できると良いと考えます。</p> <p>○ 養育費の立て替え事業 離婚して未成年の子どもを育てるひとり親は、別居親から養育費の支払いを受けられず、経済的に困窮するケースが多い。明石市では養育費不払いの別居親に対して、家庭裁判所の履行勧告などでも支払いしない人に対しては、行政で立て替え、行政が委託した保証会社が督促する制度がある。ひとり親の経済困窮を防ぐことが少年非行や児童虐待にもつながるため、養育費の立て替え制度の検討を求めます。</p> <p>○ 面会交流支援事業 離婚して未成年の子どもと別居親が交流することは、子どもの精神発達に良い影響を及ぼすが、当事者同士に任せると、子どもにとって悪影響を及ぼす場合もある。そこで、面会交流を支援する第三者機関などの支援を受けられるようにすることが望まれる。</p> <p>○ 子どもオンブズマン制度など、子どもが自ら権利擁護を訴える機関の設置を盛り込んでほしいです。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国籍の子どもと日本の子どもたちが仲良く交流できるような、具体的な支援計画が必要である。</li> <li>・ 養育費の立て替えや離婚後の面会交流支援など、ひとり親の抱える不安や問題について、適切な相談や支援をしていく取り組みが求められる。</li> <li>・ 子どもが相談した時などに子どもの声を聞くことのできる機能を充実させていく必要がある。</li> </ul>

職員コメント	
--------	--

--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-2-2	子育て家庭を支えるための環境整備

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	子育て家庭を支えるための環境づくり
前期基本計画 の総括	<p>子育てに関する助成制度・支援センター等の施設の周知改善の検討が求められる。</p> <p>【全ての子育て家庭を支える環境づくり】児童手当やこども医療費等の助成制度の周知や制度の趣旨に沿った手当の使い方がされるよう市民へ周知する必要がある。</p> <p>【地域における子育て支援の充実】児童館の機能や役割、遊びを通した事業運営等を見直し、利用者数が減少傾向にある要因を分析・検証する必要がある。</p> <p>【子どもの安全・安心な環境づくり】子どもの虐待防止や親のケアのため、子育て支援センターの利用に関するPRを積極的に実施する必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童手当やこども医療費などの助成制度の適切な利用がなされるような周知が必要である。</li> <li>・児童館利用者数の減少傾向の要因を分析して、必要な改善を行う必要がある。</li> <li>・子どもの虐待防止や親のケアのため、子育て支援センターの利用に関するPRを積極的に実施する必要がある。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切に福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「健康・福祉」(83件)では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>・市民意識調査から、「子育て支援・青少年育成」に対する取り組みについては重要であるにとらえており、まちづくりの方向性として、子育て環境の充実が上位にある。また、人口減少・少子高齢者対策においても、子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築は最も高いことから、子育てに対する市民の関心はとて高く、かつニーズが高いことがわかる。</p> <p>・青少年から、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」は(36.2%)と高くなっている。</p>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前シャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【保育以前のケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア不十分。内容、回数ともに</li> <li>・一時保育の利用がしにくい</li> <li>・家庭の中の家事支援がもっとほしい</li> <li>・産後ケアNPOを活用してほしい</li> <li>・産後ケアの回数を増やし、子どもと離れる時間が取れるように</li> <li>・一時保育・乳児保育ができる圏を増やす</li> <li>・ファミリーサポート制度を使いやすくして、家事支援を受けられるように</li> </ul> <p>【中高生への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の社会参加の機会が少ない</li> <li>・ほんちよう児童館を活用して、中高生向けプログラム強化を</li> </ul> <p>【専門機関の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターなど行政機関以外で相談する場所が少ない</li> <li>・幼、保、小連携をもっとしてほしい</li> <li>・子どもの発達 個々の特性に合わせた支援をする場所がほしい</li> <li>・子ども家庭総合支援拠点に専門職をおいてほしい</li> <li>・子どもの特徴・情報・支援プランを確実に小学校につなぐシステムづくり</li> </ul> <p>【地域の子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地縁が少ない</li> <li>・NPO事業の告知を協力してほしい</li> <li>・教育・福祉の横ぐしの支援計画を立ててほしい</li> <li>・児童相談所、警察などとの連携(親を責めるのではなく支えるサポートを)</li> </ul> <p>【家庭の事情に合わせた支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭ならでは大変さによりそう支援があるといい</li> <li>・ひとり親家庭の交流の場や相談会の実施</li> </ul> <p>【放課後児童クラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブの長期休暇中の給食を使いやすくしてほしい</li> <li>・放課後児童クラブの給食は利用回数による事後精算にしてほしい</li> </ul>
---------------------	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てにかかる家庭内の家事支援機会の増や、子どもと離れられる制度の充実希望があり、孤立化や負担感を感じている保護者が多いと考えられる。</li> <li>・中高校生の社会参加の機会となるよう、児童館で中高校生向けのプログラムを強化する。</li> <li>・子どもの発達や個々の特性に合わせ、相談や支援のできる専門機関、場所が求められている。</li> <li>・地域とつながりのない人の子育てを支援していく仕組みや、教育・福祉を横ぐしで支援できる計画が必要である。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	

考えられる市民・社会のニーズ

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見ると事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。</li> <li>・水道の管路の経年化率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で昼間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと住環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> </ul>
------------	---

--



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○児童相談所の設置 所沢児童相談所が遠方で緊急対応が難しいので、朝霞・新座・和光・志木での児童相談所設置により、児童虐待対応や障害のある児童への支援充実を求めます。</p> <p>○ 子どもの貧困の背景には親の貧困があります。 親世代の就職・復職支援、生活支援を盛り込んでほしいです。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童相談所は、児童福祉の専門職が配置され、立入調査や一時保護などの権限があり、児童虐待の緊急案件などで、本市近隣に設置があれば有効である。</li> <li>・朝霞地区4市で設置することは課題が多いため、県へ設置を要望してします。</li> <li>・子どもの貧困問題は、親の経済的な困難から、子どもの心身の成長や学力など、将来の就労や収入が次世代へ連鎖する可能性が高くなると言われており、相談や支援する体制が必要である。</li> </ul>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-2-3	幼児期等の教育と保育の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	幼児期の教育と保育の充実
前期基本計画 の総括	<p>多様なライフスタイルに応じた保育の提供のため、保育環境・雇用の整備を検討する必要がある。</p> <p>【幼児期等の教育・保育の充実】待機児童の解消に加え、保育士の確保と、長期にわたる安定的な雇用の促進が求められる。</p> <p>【ライフスタイルに応じた子育て支援の充実】長期休暇中の預かりの検討など、多様なライフスタイルに適応した保育の提供が必要となる。</p> <p>【質の高い教育・保育の提供】保育の質を確保し、安心・安全な保育を進めていくことが必要である。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>多様なライフスタイルに応じた保育の提供のため、保育環境・雇用の整備を検討する必要がある。</p> <p>【幼児期等の教育・保育の充実】待機児童の解消に加え、保育士の確保と、長期にわたる安定的な雇用の促進が求められる。</p> <p>【ライフスタイルに応じた子育て支援の充実】長期休暇中の預かりの検討など、多様なライフスタイルに適応した保育の提供が必要となる。</p> <p>【質の高い教育・保育の提供】保育の質を確保し、安心・安全な保育を進めていくことが必要である。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつくられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「健康・福祉」(83件)では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合は「子育て支援・青少年育成」は81.5%であることから、幼児期等教育と保育の更なる充実が望まれる。また、人口減少・少子高齢化対策においては、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高いことから、幼児期等教育と保育の充実が求められている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前シャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</li> </ul>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <p>まちづくりの方向性として、「子育てしやすいまち」が望まれている(36.2%)。</p>
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【保育以前のケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア不十分。内容、回数ともに</li> <li>・一時保育の利用がしにくい</li> <li>・家庭の中の家事支援がもっとほしい</li> <li>・産後ケアNPOを活用してほしい</li> <li>・産後ケアの回数を増やし、子どもと離れる時間が取れるように</li> <li>・一時保育・乳児保育ができる圏を増やす</li> <li>・ファミリーサポート制度を使いやすくして、家事支援を受けられるように</li> </ul> <p>【中高生への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の社会参加の機会が少ない</li> <li>・ほんちよう児童館を活用して、中高生向けプログラム強化を</li> </ul> <p>【専門機関の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターなど行政機関以外で相談する場所が少ない</li> <li>・幼、保、小連携をもっとしてほしい</li> <li>・子どもの発達 個々の特性に合わせた支援をする場所がほしい</li> <li>・子ども家庭総合支援拠点に専門職をおいてほしい</li> <li>・子どもの特徴・情報・支援プランを確実に小学校につなぐシステムづくり</li> </ul> <p>【地域の子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地縁が少ない</li> <li>・NPO事業の告知を協力してほしい</li> <li>・教育・福祉の横ぐしの支援計画を立ててほしい</li> <li>・児童相談所、警察などとの連携(親を責めるのではなく支えるサポートを)</li> </ul> <p>【家庭の事情に合わせた支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭ならではの大変さによりそう支援があるといい</li> <li>・ひとり親家庭の交流の場や相談会の実施</li> </ul> <p>【放課後児童クラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブの長期休暇中の給食を使いやすくしてほしい</li> <li>・放課後児童クラブの給食は利用回数による事後精算にしてほしい</li> </ul>	<p>一時保育などの充実が求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 育成保育の拡大など障がいのあるなしにかかわらずとも育つ環境整備を加えていただきたいです。</p> <p>○ 保育士確保方策として、研修の対象として保育士を想定しているが、保育事業者も含め、働き方改革など朝霞市の保育事業所全体の好印象を形成していくべきではないか。</p> <p>放課後児童クラブに関しては、保育所保育指針ほど明確な運営基準がなく、指導力も児童福祉に適合する内容かどうかも千差万別の実態があり、厚生労働省のガイドラインにもとづく、事業者や保育従事者の研修・技能向上なども課題ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育成保育の拡充が求められている。</li> <li>・ 保育士確保の方策として、保育士に対する研修や保育事業者に対する取り組みが求められている。</li> <li>・ 放課後児童クラブの事業者、指導員への研修等が求められている。</li> </ul>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-2-4	青少年の健全育成の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	青少年の健全育成の充実
前期基本計画 の総括	<p>青少年健全育成体制の整備・支援実施者の人員確保が求められる。                  【青少年健全育成体制の整備】青少年を守り育成する家の設置数が減少しているため、緊急時の児童の駆け込み場所として設置を促進する必要がある。                  【青少年育成事業の促進と自主的活動の促進】青少年の地域社会への帰属意識の低下や社会参加意識の希薄化が懸念されていることから、加盟団体や会員等の増加を図る必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年を健全に育成していく体制の整備、支援を実施者する側の人員確保が求められている。</li> <li>・地域社会への帰属意識が低下し、また社会参加意識の希薄化が懸念されている。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切に福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつくられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
--------------------	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査から、「子育て支援・青少年育成」に対する取り組みについては重要であるにとらえており、まちづくりの方向性として、子育て環境の充実が上位にある。また、人口減少・少子高齢者対策においても、子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築は最も高いことから、子育てに対する市民の関心はとて高く、かつニーズが高いことがわかる。</li> <li>・青少年から、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」は(36.2%)と高くなっている。</li> </ul>
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったとき、悩んだときに相談する相手は、「親」の割合が43.4%で最も高く、続いて「友人」(34.3%)となっている。「その他」には、「ネットの人」、「困ったり、悩んだりしない」などの記述があった。【問9・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが困ったとき、悩んだときに相談する相手として、「親」の割合が43.4%で最も高く、「友人」が34.3%となっている。「その他」には、「ネットの人」、「困ったり、悩んだりしない」という回答もある。現在は、ネットなどで相談し、問題解決の手段とすることなど便利さの反面、人と人のつながりが希薄化しやすいことが考えられる。</li> </ul>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p><b>【保育以前のケア】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア不十分。内容、回数ともに</li> <li>・一時保育の利用がしにくい</li> <li>・家庭の中の家事支援がもっとほしい</li> <li>・産後ケアNPOを活用してほしい</li> <li>・産後ケアの回数を増やし、子どもと離れる時間が取れるように</li> <li>・一時保育・乳児保育ができる圏を増やす</li> <li>・ファミリーサポート制度を使いやすくして、家事支援を受けられるように</li> </ul> <p><b>【中高生への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の社会参加の機会が少ない</li> <li>・ほんちょう児童館を活用して、中高生向けプログラム強化を</li> </ul> <p><b>【専門機関の必要性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターなど行政機関以外で相談する場所が少ない</li> <li>・幼、保、小連携をもっとしてほしい</li> <li>・子どもの発達 個々の特性に合わせた支援をする場所がほしい</li> <li>・子ども家庭総合支援拠点に専門職をおいてほしい</li> <li>・子どもの特徴・情報・支援プランを確実に小学校につなぐシステムづくり</li> </ul> <p><b>【地域の子育て支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地縁が少ない</li> <li>・NPO事業の告知を協力してほしい</li> <li>・教育・福祉の横ぐしの支援計画を立ててほしい</li> <li>・児童相談所、警察などとの連携（親を責めるのではなく支えるサポートを）</li> </ul> <p><b>【家庭の事情に合わせた支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭ならではの大変さによりそう支援があるといい</li> <li>・ひとり親家庭の交流の場や相談会の実施</li> </ul> <p><b>【放課後児童クラブ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブの長期休暇中の給食を使いやすくしてほしい</li> <li>・放課後児童クラブの給食は利用回数による事後精算にしてほしい</li> </ul>
---------------------	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高校生の社会参加が少ないことから、何か参加しやすい仕掛けづくりが必要である。また、児童館を活用して、中高校生向けの事業を強化していくことが必要である。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 「青少年の地域社会への帰属意識の醸成」よりも、地域社会が青少年の多様性を理解し、自主性を認めることが必要だと考えます。 青少年のメンタルヘルス向上・相談支援体制の充実を求めます。</p> <p>○ 子ども会など子どものソサエティの形成の課題と、家族構成や生活形態の変化にともなう青少年の課題を切り分けて記述すべきではないか。子どものソサエティを形成する課題に関しては、上からの「帰属意識」より社会への参加という観点を優先しなければ意味のあるものとして展開できないのではないか。子どもが、自分たちが自分たちの地域社会を形成することに関わる実感と、それを守っていこうとする仕組みづくりが必要で、そのことを表す言い方にすべきではないか。</p> <p>さらに子どもソサエティでは解決しえない、今どきの青少年や若者にふりかかっている問題は別途きちんと記述し、ひきこもり、5080問題、世代による職業能力習得の格差、自立への住宅確保の支援など取り組むべきではないか。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年が地域社会との関わりを通じて、自主性・主体性を育むことができ、郷土に対する愛着や地域への帰属意識を醸成していくことが必要である。</li> <li>・青少年が抱える課題は様々であるため、分野横断的に取り組める体制づくりが必要である。</li> </ul>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-3-1	健康で活躍できる地域社会の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 の中柱名称	健康・生きがいがづくりと介護予防の支援
前期基本計画 の総括	健康づくり課が実施している健康づくり事業の推進、保険年金課による各種健康診査等の健康管理の推進、生涯学習・スポーツ課による生涯学習事業等の推進、地域づくり支援課による地域活動を始めとするシニア世代への支援など、関係部署と連携を強化することが求められる。 【健康づくりと介護予防の促進】 【趣味の活動や多世代交流の促進】 【社会参加と就業の支援】

考えられる市民・社会のニーズ
部課をまたいだ、効果的・効率的な事業の推進が求められている。 このためには、総合計画に位置付けた上で、事業を具体化する必要がある。 地域包括ケアシステム構築庁内検討委員会において調整を図ることで、各部各課の連携を強化していく。

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつくられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを有する地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「健康・福祉」(83件)では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

「高齢者支援は」重要度が高い項目となっており、高齢者が安心して住み続けていくための福祉が充実した街を望んでいることから、生活に便利で移動がスムーズなまちづくりとして、買い物、病院、公共施設等へ必要な時に行ける移動支援、買い物支援が望まれる。
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【住民の助け合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民間の交流が希薄になってきている。</li> <li>・高齢者の体力低下等に伴い、買い物や日常生活でのゴミ出し、地域で回ってくるゴミ当番ができるかなど不安が生じる。</li> <li>・地域住民間の交流を深めるため、あいさつを積極的に行うなど、意識の醸成を図り地域の繋がりを深める施策が必要。</li> <li>・地域の中でご近所同士が見守りや買い物、ゴミ出し等の助け合いが進展するするような施策が必要。</li> <li>・地域活動等に参加しても馴染めない方や、そもそも地域包括等の相談先すら知らない方もいるため、そのような方々の掘り起こしや居場所づくりの施策が必要。</li> </ul> <p>【健康で元気に】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な状態で自活していく努力が必要。</li> <li>・100歳まで、いつまでも健康でいられるため、健康意識の向上が図れるような情報提供や講習など、健康寿命を延ばす施策が必要。</li> </ul> <p>【市のサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度の認知症の場合、ヘルパーの支援が受けづらくなっている。</li> <li>・市独自の福祉サービスは充実していると思う。</li> <li>・高齢者の支援として、市としてゴミ出し支援等の施策があると良い。</li> </ul> <p>【市のハード整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が自主的な行動や自立した生活を行うための、交通面の環境整備が十分ではない。</li> <li>・高齢者が自主的に行動し、自立した生活を長く送るため、デマンド交通などの整備が必要。</li> <li>・道路の狭さや段差等により外出がしづらく、歩道などの整備が必要。</li> </ul> <p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人ホーム等の費用が高い。</li> <li>・老人ホームを増やすにしても、人手不足による事故等が不安。</li> <li>・質を維持したうえで、老人ホームを増やし、負担額の軽減をして欲しい。</li> </ul> <p>【地域の支え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生などへの認知症サポーター養成講座を上手くやっているの、認知症の高齢者を守る意識が根付き始めていると思う。</li> </ul> <p>【高齢者の通いの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者同士が気軽に通いの場が少ない</li> <li>・高齢者が活かされる場所（仕事）が少ない</li> <li>・年を取ると日常生活の買い物が不便</li> <li>・高齢者の集いの場をもっと増やしてほしい</li> <li>・高齢者が活かされる場所（仕事）を増やしてほしい</li> <li>・買い物を便利にするためインターネットショッピングの環境整備や操作方法をレクチャーしてほしい</li> </ul> <p>【高齢者と行政との関わり合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に対する援助が少ない</li> <li>・高齢者が増え各種サービスが低下している（お祝い金等）</li> <li>・高齢外国人への対策が不足している</li> <li>・安心して歩ける歩道が未整備</li> </ul>
---------------------	--

<p>市として、高齢者などの支援が必要な方については、ゴミ回収の支援サービスはあるが、ごみ当番や買い物支援、見守り、声掛けなどの、日常生活上の助け合いの活動が求められており、趣味やサロン活動など、地域で世代を超えて集う中から、助け合いの活動を育成支援していく事が求められている。</p> <p>一方で、地域活動に参加しない人、地域のつながりが希薄な人への支援として、地域包括支援センターの周知と共、見守り等、孤立防止対策の実施が求められている。</p> <p>また、老人ホーム等の入所費用は高額になっていることから、施設入所者に対する助成が必要ではないか。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の総合計画書の高齢者支援に係る部分をコピーし、説明した。</li> <li>・ その後、順番でそれぞれの立場で、今後の計画に入れた方が良いと思う点など自由に意見をうかがった。</li> </ul> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘルパーステーションとしては、介護サービスの提供はできるが、介護保険外のサービスを充実させる必要があるものとする。</li> <li>・ 趣味の集まりもよいが、人生には笑いが大切であるので、笑いに関する講座を実施しているたり、オリパラに関する事業を実施したらどうか。</li> <li>・ 地域では女性の参加者は多いが、男性の参加者が少ないので、男性参加者を増やすための工夫が必要だと思う。</li> <li>・ 40代、50代の人達を対象に、地域にデビューするキッカケとして何が必要か、などアンケートして見るとよいのではないか。</li> </ul> <p>などの意見があった。</p>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笑いをテーマとした講座など、万人が楽しめるものの実施が求められている。</li> <li>・ 地域の様々な活動への参加者は、男性が少なく、男性高齢者が地域で孤立し生活困難な様子も多くあることから、男性高齢者の社会参加を工夫し、介護予防や生活支援などの事業の推進が求められている。</li> </ul>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全ての待機児童の解消には至っていないため、今後とも待機児童対策を進めていく必要がある。</li> <li>・ 地域内に病院数が少ないが、整備については、「埼玉県地域医療構想」に基づき整備等されてきた経緯があることから、今後も、埼玉県や朝霞地区医師会と調整や連携を進めていくことが課題である。</li> <li>・ 障害者手帳の所持者は増加傾向にあり、国が掲げる地域生活支援拠点の整備や医療的ケア児の支援、さらに精神障害にも対応した地域包括支援システムの構築など、多様な支援が必要であると考えられる。</li> <li>・ 要介護（要支援）認定比率が高いこと等から、高齢者の健康づくりが必要であると考えられる。</li> </ul>	<p>要介護認定率が高いということから、高齢者の健康づくりの支援強化が求められている。</p> <p>このためには、身近な場所で参加できるサロン活動の充実や、つながりのある地域づくりが必要と考えている。</p> <p>また一方では、地域のつながりが希薄化する中で、高齢者世帯が増加しており、身近に頼れる家族や友人・知人がいないことから、介護の状態になる前に、早期に介護認定を受け、必要になった時に備えているという傾向があると考えられる。</p>

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 高齢者に対する移動支援・買い物支援のために地域で支え合う仕組み（例・住民ボランティアによるマイカー運送など）づくりを盛り込んでほしいです。</p> <p>○ 大柱3「高齢者支援」は、詳細な内容は、国や県と連動した3ヵ年ごとの介護保険事業計画・高齢者福祉計画に従属するために細かく書く必要はないと思われるが、そのなかでも計画策定の考え方となる部分に関しては記述が必要と考えます。</p> <p>そのなかで、中柱1「健康で活躍できる地域社会の推進」に関しては全面的な内容の見直しが必要である。朝霞市の人口構成を見れば実態と違っている。「団塊の世代がすべて75歳になる」ところが高齢化のターゲットとなっているが、団塊の世代のボリュームは大きくなく、1965～1975年生まれ世代が最多世代である。その世代の高齢化までしばらく高齢化に向けた施策の強化は取り組まざるを得ないことが書かれていなければ、施策配分、施策を打つタイミングを見間違うのではないかと懸念される。さらに「75歳以上の人口は急激に増加するものと見込まれ」と書かれているが、朝霞市の住宅開発の時期、人口の増加した時期、そして現在の人口バランスから見ると、すでに「75歳以上の人口は急激に増加し」という状態ではないかと懸念される。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>高齢者福祉計画・介護保険事業計画への書き込みについて、人口構成を基に、今後の高齢者人口を推計し、必要な施策を計画していくことが求められている。</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-3-2	自立のためのサービスの確立

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	自立のためのサービスの確立
前期基本計画 の総括	介護保険制度の運用改善に加え、実質的な介護・福祉サービスの拡充が求められる。 【介護保険制度の円滑な運用】助成機関と連携を強化し、より適正かつ効率的な運用を検討する必要がある。 【介護サービスの充実】介護家族教室のように、介護を提供する側の身体的負担を考慮した介護方法の認知度の向上に努める必要がある。 【福祉サービスの充実】体系的な地域包括ケアシステムの構築を促進する必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
介護保険制度において、高齢者の自立支援・重症化防止を進め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するために、介護家族・介護事業者などへの支援メニューの充実など、地域包括ケアシステム構築の事業拡充が求められている。

市民意識調査 (客観的データ)	・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】 ・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】
市民意識調査 (自由記述)	・「健康・福祉」(83件)では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】

地域包括ケアは、共生社会を実現するために、高齢者だけの課題ではなく、高齢者が暮らしやすい街づくりは、子育て世代にも住みやすいまちづくりにつながると考える。 今後は、地域共生社会を念頭に入れた横のつながりを強化していく必要がある。
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【住民の助け合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民間の交流が希薄になってきている。</li> <li>・高齢者の体力低下等に伴い、買い物や日常生活でのゴミ出し、地域で回ってくるゴミ当番ができるかなど不安が生じる。</li> <li>・地域住民間の交流を深めるため、あいさつを積極的に行うなど、意識の醸成を図り地域の繋がりを深める施策が必要。</li> <li>・地域の中でご近所同士が見守りや買い物、ゴミ出し等の助け合いが進展するするような施策が必要。</li> <li>・地域活動等に参加しても馴染めない方や、そもそも地域包括等の相談先すら知らない方もいるため、そのような方々の掘り起こしや居場所づくりの施策が必要。</li> </ul> <p>【健康で元気に】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な状態で自活していく努力が必要。</li> <li>・100歳まで、いつまでも健康でいられるため、健康意識の向上が図れるような情報提供や講習など、健康寿命を延ばす施策が必要。</li> </ul> <p>【市のサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度の認知症の場合、ヘルパーの支援が受けづらくなっている。</li> <li>・市独自の福祉サービスは充実していると思う。</li> <li>・高齢者の支援として、市としてゴミ出し支援等の施策があると良い。</li> </ul> <p>【市のハード整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が自主的な行動や自立した生活を行うための、交通面の環境整備が十分ではない。</li> <li>・高齢者が自主的に行動し、自立した生活を長く送るため、デマンド交通などの整備が必要。</li> <li>・道路の狭さや段差等により外出がしづらく、歩道などの整備が必要。</li> </ul> <p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人ホーム等の費用が高い。</li> <li>・老人ホームを増やすにしても、人手不足による事故等が不安。</li> <li>・質を維持したうえで、老人ホームを増やし、負担額の軽減をして欲しい。</li> </ul> <p>【地域の支え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生などへの認知症サポーター養成講座を上手くやっているの、認知症の高齢者を守る意識が根付き始めていると思う。</li> </ul> <p>【高齢者の通いの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者同士が気軽に通いの場が少ない</li> <li>・高齢者が活かされる場所(仕事)が少ない</li> <li>・年を取ると日常生活の買い物が不便</li> <li>・高齢者の集いの場をもっと増やしてほしい</li> <li>・高齢者が活かされる場所(仕事)を増やしてほしい</li> <li>・買い物を便利にするためインターネットショッピングの環境整備や操作方法をレクチャーしてほしい</li> </ul> <p>【高齢者と行政との関わり合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に対する援助が少ない</li> <li>・高齢者が増え各種サービスが低下している(お祝い金等)</li> <li>・高齢外国人への対策が不足している</li> <li>・安心して歩ける歩道が未整備</li> </ul>
---------------------	--

NPO法人など、地域づくりの活動を促進するような、補助制度や支援体制の創設する必要がある。
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の総合計画書の高齢者支援に係る部分をコピーし、説明した。</li> <li>・ その後、順番でそれぞれの立場で、今後の計画に入れた方が良いと思う点など自由に意見をうかがった。</li> </ul> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘルパーステーションとしては、介護サービスの提供はできるが、介護保険外のサービスを充実させる必要があるものとする。</li> <li>・ 趣味の集まりもよいが、人生には笑いが大切であるので、笑いに関する講座を実施しているたり、オリパラに関する事業を実施したらどうか。</li> <li>・ 地域では女性の参加者は多いが、男性の参加者が少ないので、男性参加者を増やすための工夫が必要だと思う。</li> <li>・ 40代、50代の人達を対象に、地域にデビューするキッカケとして何が必要か、などアンケートして見るとよいのではないか。</li> </ul> <p>などの意見があった。</p>	
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口構成やライフスタイルの変化を予測し、保育の受皿を拡充させるとともに、子育てしやすいまちづくりに向けた子育て支援策を充実させることが重要である。</li> <li>・ 高齢化の進展に伴い、入院・介護ニーズの増加が見込まれる。今後の高齢者支援の取組について、市民や行政、福祉関係者や市民ボランティアの連携を一層深めることが必要と考えられる。</li> <li>・ 健康寿命の延伸等により、急性期医療よりも回復期や在宅医療のニーズ増加が見込まれ、ニーズに対応した相談受付や人材確保の支援、医療保険の充実等に取り組む必要があると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化の進展に伴い、医療と介護の連携した支援体制の強化が求められている。また、様々な高齢者支援の取組みにおいては、市民がボランティアなどの地域活動がしやすい環境づくりが必要である。</li> </ul>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-3-3	安全・安心な生活ができる環境整備

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	安全・安心な生活ができる環境の整備
前期基本計画 の総括	<p>地域包括ケアシステムの確立を目的とした、多面的な介護負担の軽減の方針策定が求められる。</p> <p>【地域での見守り体制の確立】地域での見守りのネットワーク化を図る必要がある。</p> <p>【暮らしやすい住まいづくり】実質的な地域包括ケアシステムの確立のため、高齢者医療や介護の費用削減の改善が求められる。</p> <p>【高齢者の尊厳の確保】認知症高齢者が住みやすい街づくりを推進するうえで、認知症サポーターの育成の方針を明確にする必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>認知症高齢者の増加が見込まれるため、高齢者の権利擁護支援の推進と、地域での高齢者の見守り体制の確立などによる、多面的な高齢者支援と介護負担の軽減の方策が求められる。</p> <p>具体的には、成年後見制度の充実及び利用促進や、認知症サポーターの段階を踏んだ育成支援などによる、地域での見守りネットワーク化などを進める必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切に福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「健康・福祉」(83件)では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

--	--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【住民の助け合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民間の交流が希薄になってきている。</li> <li>・高齢者の体力低下等に伴い、買い物や日常生活でのゴミ出し、地域で回ってくるゴミ当番ができるかなど不安が生じる。</li> <li>・地域住民間の交流を深めるため、あいさつを積極的に行うなど、意識の醸成を図り地域の繋がりを深める施策が必要。</li> <li>・地域の中でご近所同士が見守りや買い物、ゴミ出し等の助け合いが進展するするような施策が必要。</li> <li>・地域活動等に参加しても馴染めない方や、そもそも地域包括等の相談先すら知らない方もいるため、そのような方々の掘り起こしや居場所づくりの施策が必要。</li> </ul> <p>【健康で元気に】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な状態で自活していく努力が必要。</li> <li>・100歳まで、いつまでも健康でいられるため、健康意識の向上が図れるような情報提供や講習など、健康寿命を延ばす施策が必要。</li> </ul> <p>【市のサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度の認知症の場合、ヘルパーの支援が受けづらくなっている。</li> <li>・市独自の福祉サービスは充実していると思う。</li> <li>・高齢者の支援として、市としてゴミ出し支援等の施策があると良い。</li> </ul> <p>【市のハード整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が自主的な行動や自立した生活を行うための、交通面の環境整備が十分ではない。</li> <li>・高齢者が自主的に行動し、自立した生活を長く送るため、デマンド交通などの整備が必要。</li> <li>・道路の狭さや段差等により外出がしづらく、歩道などの整備が必要。</li> </ul> <p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人ホーム等の費用が高い。</li> <li>・老人ホームを増やすにしても、人手不足による事故等が不安。</li> <li>・質を維持したうえで、老人ホームを増やし、負担額の軽減をして欲しい。</li> </ul> <p>【地域の支え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生などへの認知症サポーター養成講座を上手くやっているの、認知症の高齢者を守る意識が根付き始めていると思う。</li> </ul> <p>【高齢者の通いの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者同士が気軽に通いの場が少ない</li> <li>・高齢者が活かされる場所（仕事）が少ない</li> <li>・年を取ると日常生活の買い物が不便</li> <li>・高齢者の集いの場をもっと増やしてほしい</li> <li>・高齢者が活かされる場所（仕事）を増やしてほしい</li> <li>・買い物を便利にするためインターネットショッピングの環境整備や操作方法をレクチャーしてほしい</li> </ul> <p>【高齢者と行政との関わり合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に対する援助が少ない</li> <li>・高齢者が増え各種サービスが低下している（お祝い金等）</li> <li>・高齢外国人への対策が不足している</li> <li>・安心して歩ける歩道が未整備</li> </ul>
---------------------	--

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の総合計画書の高齢者支援に係る部分をコピーし、説明した。</li> <li>・ その後、順番でそれぞれの立場で、今後の計画に入れた方が良いと思う点など自由に意見をうかがった。</li> </ul> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘルパーステーションとしては、介護サービスの提供はできるが、介護保険外のサービスを充実させる必要があるものとする。</li> <li>・ 趣味の集まりもよいが、人生には笑いが大切であるので、笑いに関する講座を実施しているたり、オリパラに関する事業を実施したらどうか。</li> <li>・ 地域では女性の参加者は多いが、男性の参加者が少ないので、男性参加者を増やすための工夫が必要だと思う。</li> <li>・ 40代、50代の人達を対象に、地域にデビューするキッカケとして何が必要か、などアンケートして見るとよいのではないか。</li> </ul> <p>などの意見があった。</p>	
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口構成やライフスタイルの変化を予測し、保育の受皿を拡充させるとともに、子育てしやすいまちづくりに向けた子育て支援策を充実させることが重要である。</li> <li>・ 高齢化の進展に伴い、入院・介護ニーズの増加が見込まれる。今後の高齢者支援の取組について、市民や行政、福祉関係者や市民ボランティアの連携を一層深めることが必要と考えられる。</li> <li>・ 健康寿命の延伸等により、急性期医療よりも回復期や在宅医療のニーズ増加が見込まれ、ニーズに対応した相談受付や人材確保の支援、医療保険の充実等に取り組む必要があると考えられる。</li> </ul> <p>・ 年齢が若い世代では、地域との関わりが「あいさつや顔見知り」程度に止まり、市民同士のつながりが広がらない中で、生活困窮や引きこもりなどの複雑かつ多様な課題を抱える家庭に対し、必要な支援につなげるための取組が必要であると考えられる。</p>	

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-3-4	地域包括ケアシステムの推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	(該当なし)
前期基本計画 の総括	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「健康・福祉」(83件)では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

-
-

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【住民の助け合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民間の交流が希薄になってきている。</li> <li>・高齢者の体力低下等に伴い、買い物や日常生活でのゴミ出し、地域で回ってくるゴミ当番ができるかなど不安が生じる。</li> <li>・地域住民間の交流を深めるため、あいさつを積極的に行うなど、意識の醸成を図り地域の繋がりを深める施策が必要。</li> <li>・地域の中でご近所同士が見守りや買い物、ゴミ出し等の助け合いが進展するするような施策が必要。</li> <li>・地域活動等に参加しても馴染めない方や、そもそも地域包括等の相談先すら知らない方もいるため、そのような方々の掘り起こしや居場所づくりの施策が必要。</li> </ul> <p>【健康で元気に】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な状態で自活していく努力が必要。</li> <li>・100歳まで、いつまでも健康でいられるため、健康意識の向上が図れるような情報提供や講習など、健康寿命を延ばす施策が必要。</li> </ul> <p>【市のサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度の認知症の場合、ヘルパーの支援が受けづらくなっている。</li> <li>・市独自の福祉サービスは充実していると思う。</li> <li>・高齢者の支援として、市としてゴミ出し支援等の施策があると良い。</li> </ul> <p>【市のハード整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が自主的な行動や自立した生活を行うための、交通面の環境整備が十分ではない。</li> <li>・高齢者が自主的に行動し、自立した生活を長く送るため、デマンド交通などの整備が必要。</li> <li>・道路の狭さや段差等により外出がしづらく、歩道などの整備が必要。</li> </ul> <p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人ホーム等の費用が高い。</li> <li>・老人ホームを増やすにしても、人手不足による事故等が不安。</li> <li>・質を維持したうえで、老人ホームを増やし、負担額の軽減をして欲しい。</li> </ul> <p>【地域の支え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生などへの認知症サポーター養成講座を上手くやっているの、認知症の高齢者を守る意識が根付き始めていると思う。</li> </ul> <p>【高齢者の通いの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者同士が気軽に通いの場が少ない</li> <li>・高齢者が活かされる場所（仕事）が少ない</li> <li>・年を取ると日常生活の買い物が不便</li> <li>・高齢者の集いの場をもっと増やしてほしい</li> <li>・高齢者が活かされる場所（仕事）を増やしてほしい</li> <li>・買い物を便利にするためインターネットショッピングの環境整備や操作方法をレクチャーしてほしい</li> </ul> <p>【高齢者と行政との関わり合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に対する援助が少ない</li> <li>・高齢者が増え各種サービスが低下している（お祝い金等）</li> <li>・高齢外国人への対策が不足している</li> <li>・安心して歩ける歩道が未整備</li> </ul>
---------------------	--

<p>住民が主体となって、地域のつながりを深め、自助と互助を推進し、介護保険等の制度や医療保険の効果的活用により共助を進め、市の福祉支援や費用助成の活用などの公助を含めた、地域包括ケアシステムを推進し、誰もがいつまでも安心して暮らせる、地域づくりが求められている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング	<p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の総合計画書の高齢者支援に係る部分をコピーし、説明した。</li> <li>・ その後、順番でそれぞれの立場で、今後の計画に入れた方が良いと思う点など自由に意見をうかがった。</li> </ul> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘルパーステーションとしては、介護サービスの提供はできるが、介護保険外のサービスを充実させる必要があるものとする。</li> <li>・ 趣味の集まりもよいが、人生には笑いが大切であるので、笑いに関する講座を実施しているたり、オリパラに関する事業を実施したらどうか。</li> <li>・ 地域では女性の参加者は多いが、男性の参加者が少ないので、男性参加者を増やすための工夫が必要だと思う。</li> <li>・ 40代、50代の人達を対象に、地域にデビューするキッカケとして何が必要か、などアンケートして見るとよいのではないか。</li> </ul> <p>などの意見があった。</p>	
まちづくりの課題整理		



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 高齢者・認知症当事者の本人が主体的に支援を選び、支援者とともに支援プランを作成することのできる体制づくりを行ってほしいです。</p> <p>○ 施策体系について 中柱「地域包括ケア」に関しては、厚労省は障害福祉や児童福祉まで概念を広げており、大柱「地域福祉」に位置づけるべきではないか。</p> <p>○ 高齢者福祉に限定して書かれたものとして、「助け合いの仕組みづくりなど地域包括ケアシステムを深化させ」と書かれているが、「助け合いの仕組み」の具体的な中身を記述すべきではないか。</p>	<p>認知症などの当事者意見の反映や、高齢者に限定しない地域包括ケア体制の構築が求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-4-1	共に生きる社会の実現

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	地域福祉の推進
前期基本計画 の総括	<p>地域全体としての福祉サービス体制の見直し及び支援活動基盤の整備が求められる。</p> <p>【地域福祉推進体制の充実】高齢者、障害者、児童等の各分野ごとの縦割りではなく、横串を通した地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進が必要である。また、住民に身近な圏域の設定、コーディネーターや拠点の整備等、地域福祉活動の基盤の整備が求められる。</p> <p>【地域における自主的な活動への支援】</p> <p>【福祉サービス利用者の権利擁護】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>地域全体としての福祉サービス体制の見直し及び支援活動基盤の整備が求められる。</p> <p>【地域福祉推進体制の充実】高齢者、障害者、児童等の各分野ごとの縦割りではなく、横串を通した地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進が必要である。また、住民に身近な圏域の設定、コーディネーターや拠点の整備等、地域福祉活動の基盤の整備が求められる。</p> <p>【地域における自主的な活動への支援】</p> <p>【福祉サービス利用者の権利擁護】</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	-

<p>まちづくりの方向性は、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3)が重用視されている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【一】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービス利用件数の計画値と実績値があっていない。(実績値からすると目標が低すぎ)</li> <li>・障害者の一生をととした支援体制が不十分。</li> <li>・障害者個人にあわせたフォローが不十分。</li> <li>・障害者の実態が十分に把握されていない。(障害者手帳をもたず、うもれている人もいるのではないか)</li> <li>・障害者相談支援専門員が不足している。不足に対する対応が不十分。</li> <li>・相談支援専門員の質の向上への対応が不十分。</li> <li>・障害者の就労支援が不十分。(施設や人数)</li> <li>・朝霞市は坂が多いと言う課題に対する具体的な対応が不十分。</li> <li>・満足度があがるために、①障害者が一生幸せな生活が確保されること、②障害者の権利擁護が確立されていることが必要。</li> </ul>	<p>障害者の実態把握、相談支援専門員の充足と質の向上、就労支援、権利擁護等、障害福祉に係る諸課題について、全般的に取り組んでいくことが求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング		
まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口構成やライフスタイルの変化を予測し、保育の受皿を拡充させるとともに、子育てしやすいまちづくりに向けた子育て支援策を充実させることが重要である。</li> <li>・高齢化の進展に伴い、入院・介護ニーズの増加が見込まれる。今後の高齢者支援の取組について、市民や行政、福祉関係者や市民ボランティアの連携を一層深めることが必要と考えられる。</li> <li>・健康寿命の延伸等により、急性期医療よりも回復期や在宅医療のニーズ増加が見込まれ、ニーズに対応した相談受付や人材確保の支援、医療保険の充実等に取り組む必要があると考えられる。</li> </ul>	

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ところのバリアフリーの実現のために、障害のあるなしにかかわらず参加できる地域活動の推進をお願いします。</li> <li>○ 公共施設（特に学校）・道路・駅などの施設のバリアフリーをさらに進めてほしいです。</li> <li>○ 障害者差別を「ところ」の問題としているのはとらえ方が狭いことと、障害者差別禁止法の考え方が理解されていないのではないか。ところのみならず、物理的な環境、自覚しない制度的排除、障害者を保護してやろうという観点での分離的な方法論など、「ところ」だけではなく「技術」や「施策」も大きく関わっている。啓発事業だけではなく、様々な社会的な障壁の除去が必要であることを明確に示すべきではないか。</li> </ul>	<p>ところのバリアフリーや、誰もが参加できる地域活動の推進が求められている。公共施設のバリアフリー化が求められている。障害者差別解消法の趣旨の普及、社会的障壁の除去が求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-4-2	地域における自立生活支援

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	地域における自立生活の支援
前期基本計画 の総括	<p>各種障害福祉サービスの拡充のため、専門員の人員確保及び地域・個人のニーズの把握が求められる。</p> <p>【各種相談及び制度に関する情報提供】指定事業所及び相談支援専門員の増加に向けて各法人に働きかけを行うとともに、既存事業所に対する連絡協議会の開催などにより、質の向上を図る必要がある。</p> <p>【障害福祉サービスの充実】利用者及び市内に各種事業所が増加する中で、障害特性やライフステージに合わせた適正なサービスが提供できるよう、地域課題を検討する必要がある。</p> <p>【コミュニケーション支援の充実】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>各種障害福祉サービスの拡充のため、専門員の人員確保及び地域・個人ニーズの把握が求められる。</p> <p>【各種相談及び制度に関する情報提供】指定事業所及び相談支援専門員の増加に向けて各法人に働きかけを行うとともに、既存事業所に対する連絡協議会の開催などにより、質の向上を図る必要がある。</p> <p>【障害福祉サービスの充実】利用者及び市内に各種事業所が増加する中で、障害特性やライフステージに合わせた適正なサービスが提供できるよう、地域課題を検討する必要がある。</p> <p>【コミュニケーション支援の充実】</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p>
--------------------	--

<p>まちづくりの方向性は、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)が重用視されている。</p>
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【一】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービス利用件数の計画値と実績値があっていない。(実績値からすると目標が低すぎ)</li> <li>・障害者の一生をととした支援体制が不十分。</li> <li>・障害者個人にあわせたフォローが不十分。</li> <li>・障害者の実態が十分に把握されていない。(障害者手帳をもたず、うもれている人もいないのか)</li> <li>・障害者相談支援専門員が不足している。不足に対する対応が不十分。</li> <li>・相談支援専門員の質の向上への対応が不十分。</li> <li>・障害者の就労支援が不十分。(施設や人数)</li> <li>・朝霞市は坂が多いと言う課題に対する具体的な対応が不十分。</li> <li>・満足度があがるために、①障害者が一生幸せな生活が確保されること、②障害者の権利擁護が確立されていることが必要。</li> </ul>	<p>障害者の実態把握、相談支援専門員の充足と質の向上、就労支援、権利擁護等、障害福祉に係る諸課題について、全般的に取り組んでいくことが求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○障害を持つ人々への商店へのアクセス支援  明石市では喫茶店などでも筆談ボードや車椅子スロープへの助成があり、そこで客が増えて商店街が活性化している。駅前商店街なども車やバスが多いと、車椅子や歩行困難な人が買い物できない。筆談ボード設置や車椅子スロープ助成、交通量の多い商店街への歩行者天国化など、障害のある人々へのアクセスを良くすることで、商店街や障害のない人へのメリットも大きい。</p> <p>○主な取組「コミュニケーション支援の充実」  文字からは内容が読み取れません。具体的に表現方法を変えることで、行政が市民が障害者とのよう理解しやすく多様なコミュニケーションが可能になり、支援体制も明確になると思います。</p> <p>○ 視覚障がい・聴覚障がいのある方がアクセスできるような情報提供をもっと進めてほしいです。</p> <p>○ 主な取組「コミュニケーション支援の充実」は、「意思疎通支援の充実」として、いろいろな障害の特性に応じた意思疎通支援ができるように支援体制を整備していただけると嬉しく存じます。</p> <p>(事務局追記) 理由は別表に記載しています。</p>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <p>先進市の取り組みを参考に、同様の取り組みを行うことが求められている。視覚障害者や聴覚障害者に対し、適切な方法による情報提供が求められている。意思疎通支援の充実が求められている。</p>
職員コメント	<p>現状と課題について  「それぞれが抱える悩みや戸惑いは多様化しており、」  ⇒悩みや課題が多様化しており（戸惑いは悩みと同義では）</p>	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-4-3	自立に向けた就労の支援

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	自立した社会生活・就労支援
前期基本計画 の総括	<p>就労支援の活動施設の確保及び情報提供が求められる。</p> <p>【自立生活を支える就労支援】就労する場所（福祉的就労施設）や日中活動施設の確保の継続、及びこれら施設の情報を配布物やホームページ等で情報提供するなど、就労支援を充実させる必要がある。</p> <p>【多様な就労機会の確保及び情報提供】適切な就労支援につなげるため、就労支援センターの役割を見直す必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>就労支援の活動施設の確保及び情報提供が求められる。</p> <p>【自立生活を支える就労支援】就労する場所（福祉的就労施設）や日中活動施設の確保の継続、及びこれら施設の情報を配布物やホームページ等で情報提供するなど、就労支援を充実させる必要がある。</p> <p>【多様な就労機会の確保及び情報提供】適切な就労支援につなげるため、就労支援センターの役割を見直す必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」（54.6%）、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」（46.9%）、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」（39.3%）となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち（避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等）」などの記述があった。【問15・全体】</p>
--------------------	--

<p>まちづくりの方向性は、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」（39.3）が重用視されている。</p>
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【一】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービス利用件数の計画値と実績値があっていない。(実績値からすると目標が低すぎ)</li> <li>・障害者の一生をととした支援体制が不十分。</li> <li>・障害者個人にあわせたフォローが不十分。</li> <li>・障害者の実態が十分に把握されていない。(障害者手帳をもたず、うもれている人もいるのではないか)</li> <li>・障害者相談支援専門員が不足している。不足に対する対応が不十分。</li> <li>・相談支援専門員の質の向上への対応が不十分。</li> <li>・障害者の就労支援が不十分。(施設や人数)</li> <li>・朝霞市は坂が多いと言う課題に対する具体的な対応が不十分。</li> <li>・満足度があがるために、①障害者が一生幸せな生活が確保されること、②障害者の権利擁護が確立されていることが必要。</li> </ul>	<p>障害者の実態把握、相談支援専門員の充足と質の向上、就労支援、権利擁護等、障害福祉に係る諸課題について、全般的に取り組んでいくことが求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 中柱3「自立に向けた就労の支援」という項目名が不適切で、生産性に直接結びつかない障害者や、就労的なことではできて十分な「稼ぎ」が得られない障害者にとって、かなりハードルの高い要求項目ではないか。そうした障害者にも何らかの生産的な活動に関与することは重要なことであり、一足飛びに自立＝就労とせず、「就労と社会参加」という幅の広い項目にしておくべきではないか。</p> <p>○ 障がいのある人を雇用した事業者に対する支援、障がい者とともに働くために必要な知識や理解を深めるための講座に取り組んでもらいたいです。</p>	<p>一般就労のほか、社会参加としての福祉的就労の提供が求められている。障害者雇用を行った事業者に対する支援が求められている。</p>
職員コメント	<p>「●障害のあるひとの経済面での～」に関する記述について ⇒どのような事柄に関連するのか、記載内容の意味が分かりにくいと思います。明確に記述しないと市民はわかりません。</p>	

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-5-1	健康づくりの支援

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	健康づくりの支援
前期基本計画 の総括	「健康あさか普及員」の活動を中心として、さまざまな活動をとおして多くの市民の参加が進むような事業展開が求められる。 【健康づくり活動の促進】 【健康づくりの体制整備】 【健康増進センターの利用促進】

考えられる市民・社会のニーズ
健康で長生きできる健康長寿な市民が増える取組が求められるため、健康意識向上に向けたさまざまな事業展開が必要である。

市民意識調査 (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が高く、5割を超えている取組は、「ごみ処理」(71.2%)、「市街地整備」(55.7%)、「保健・医療」(52.7%)の3項目である。【問12・満足度・全体】</li> <li>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</li> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</li> </ul>
市民意識調査 (自由記述)	-

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた「保健・医療」の項目は、52.7%であり、「重要である」「どちらかといえば重要である」では、87.1%であるので、更なる健康で長生きできるまちの姿が望まれます。
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙2に記載(319ページ)	健康で長生きできるまちに向けては、さまざまな関係者の協力や制度の活用が重要ですので、それぞれの関係機関との連携に取り組む必要がある。

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集まり自然にふれあえる場所が増えて欲しい。</li> <li>・気軽におしゃべりができる場が多くあるまち。</li> <li>・ひきこもり気味の人を誘い出すきっかけが多くあってほしい。</li> <li>・若い世代へ周知するためにも、SNSで情報発信を十分にしてほしい。</li> <li>・ひとり暮らしの高齢者の見守りが充実してほしい。</li> <li>・近所づきあいが活発なまちであって欲しい。</li> <li>・サークル活動などで、人とつながりが多くできているまちであってほしい。</li> <li>・単身の高齢者への声掛けが、多いまちがよい。</li> <li>・防災意識が高いまち。</li> <li>・高齢者サロンのようなものが多いまちがよい。</li> <li>・介護予防教室が多くなってほしい。</li> <li>・放課後児童クラブの定員を増やしてほしい。</li> </ul>	健康で長生きできるまちに向けては、さまざまな関係者の協力や制度の活用が重要ですので、それぞれの関係機関との連携に取り組む必要がある。
まちづくりの課題整理	-	-



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 精神保健・メンタルヘルスについての知識、精神障がいへの理解促進について取り組んでもらいたいです。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>精神保健やメンタルヘルスも含めた健康づくりについて、あさか健康プラン21や自殺対策計画等の中でも知識の普及等についても盛り込んでいます。また、自殺対策事業の一環としてゲートキーパー研修等も実施し、精神疾患等の正しい知識の普及も図っています。引き続き、障害福祉と連携を図りながら、知識の普及や理解の促進に努める必要がある。</p>

職員コメント	<p>現状と課題 私たちの心や体 ⇒私たちの心や身体</p>
--------	------------------------------------

<p>コメント通りに修正した。</p>
---------------------

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-5-2	保健サービスの充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	保健サービスの充実
前期基本計画 の総括	各世代に応じた子育てに関する支援制度の拡充・維持のため、各種支援内容及び財政負担の見直しが求められる。 【母子保健の充実】子育て世代包括支援センターの認知度の向上に努め、安心して子育てができる環境整備の推進が求められる。また、実質的に継続可能な制度確立のため、財政負担の改善方法の検討が必要である。 【健康増進対策の充実】世代に併せた施策展開が求められる。 【歯科保健の充実】 【精神保健の充実】 【予防接種の充実】 【健康危機管理の充実】

考えられる市民・社会のニーズ
安心して子育てできる環境が求められている。さらなる妊娠期からの切れ目のない支援への取組が必要である。また、各世代における健康増進への取組も重要であり、各種健診等の事業に取組が必要であるとともに、感染症に対する意識の変化に対応するための取組が必要である。

市民意識調査 (客観的データ)	・「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が高く、5割を超えている取組は、「ごみ処理」(71.2%)、「市街地整備」(55.7%)、「保健・医療」(52.7%)の3項目である。【問12・満足度・全体】 ・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】 ・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】
市民意識調査 (自由記述)	-

まちづくりの方向性では、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」54.6%と高く、健康で長生きできる施策の充実が求められている。
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙2に記載(319ページ)	多くの市民が各種健診を受診できる取組が必要と考えます。

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 母子保健の中に「遊び」の重要性を伝える機会が設けられることを希望します。転出入の多い朝霞市において、子どもを遊ばせる親同士が互いの顔色を伺い、遊びの中で生じるオモチャの取り合いやケンカに過剰に介入する事態をよく目にします。遊びの重要性と同時に、前述の取り合いやケンカも含めて育ちの重要なプロセスだということを親が認識できないと、子育てが苦しくなる傾向が強くなると考えるからです。</p>	<p>子どもの成長段階によって遊びや子ども同士の関わり方の課題は異なっております。「遊び」に特化してということではなく、乳幼児健診等での相談を通して、発達段階に応じた遊びや子ども同士の関係性の持ち方等についても個別に対応しており、今後も引き続き相談対応を行います。</p>
職員コメント	<p>現状と課題 「そして、～」記述用語として「そして」以外の言いかえがよいと思います。</p>	<p>「そして」を「今後においても」に修正します。</p>

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-5-3	地域医療体制の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	医療体制の充実
前期基本計画 の総括	行政や医療機関の体制整備と共に、市民の適正な受診行動も必要である。また、外国人世帯に対応できるような人材の確保・育成が求められる。 【地域医療の充実】 【救急医療体制の充実】 【かかりつけ医・かかりつけ薬局の普及啓発】

考えられる市民・社会のニーズ
安心して適切な医療が受けられるよう、地域の医療機関の体制や施設整備の充実への取組が行われ、身近な医療から高度な医療まで展開されています。今後においても、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携を図り、市民に対して、医療に関する情報を提供し、地域医療体制の維持、充実に努めていく必要があります。

市民意識調査 (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が高く、5割を超えている取組は、「ごみ処理」(71.2%)、「市街地整備」(55.7%)、「保健・医療」(52.7%)の3項目である。【問12・満足度・全体】</li> <li>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</li> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</li> </ul>
--------------------	--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

安心して適切な医療が受けられるよう、地域の医療機関の体制や施設整備の充実への取組が行われ、身近な医療から高度な医療まで展開されています。今後においても、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携を図り、市民に対して、医療に関する情報を提供し、地域医療体制の維持、充実に努めていく必要があります。
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙2に記載(319ページ)
---------------------	----------------

<p>安心して適切な医療が受けられるよう、地域の医療機関の体制や施設整備の充実への取組が行われ、身近な医療から高度な医療まで展開されています。今後においても、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携を図り、市民に対して、医療に関する情報を提供し、地域医療体制の維持、充実に努めていく必要があります。</p>
---

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての待機児童の解消には至っていないため、今後とも待機児童対策を進めていく必要がある。</li> <li>・地域内に病院数が少ないが、整備については、「埼玉県地域医療構想」に基づき整備等されてきた経緯があることから、今後も、埼玉県や朝霞地区医師会と調整や連携を進めていくことが課題である。</li> <li>・障害者手帳の所持者は増加傾向にあり、国が掲げる地域生活支援拠点の整備や医療的ケア児の支援、さらに精神障害にも対応した地域包括支援システムの構築など、多様な支援が必要であると考えられる。</li> <li>・要介護（要支援）認定比率が高いこと等から、高齢者の健康づくりが必要であると考えられる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口構成やライフスタイルの変化を予測し、保育の受皿を拡充させるとともに、子育てしやすいまちづくりに向けた子育て支援策を充実させることが重要である。</li> <li>・高齢化の進展に伴い、入院・介護ニーズの増加が見込まれる。今後の高齢者支援の取組について、市民や行政、福祉関係者や市民ボランティアの連携を一層深めることが必要と考えられる。</li> <li>・健康寿命の延伸等により、急性期医療よりも回復期や在宅医療のニーズ増加が見込まれ、ニーズに対応した相談受付や人材確保の支援、医療保険の充実等に取り組む必要があると考えられる。</li> </ul>
------------	--

<p>安心して適切な医療が受けられるよう、地域の医療機関の体制や施設整備の充実への取組が行われ、身近な医療から高度な医療まで展開されています。今後においても、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携を図り、市民に対して、医療に関する情報を提供し、地域医療体制の維持、充実に努めていく必要があります。</p> <p>また、回復期などの医療ニーズについては、埼玉県における地域医療構想に係ることから、県との意見調整をして取り組む必要があると考えます。</p>
---



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ ホスピスなど終末期医療体制の充実を図ってほしいです。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>医療体制整備は、埼玉県地域保健医療計画に基づいていますので、機会を捉えてご意見を伝えることが必要と考えます。</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
2-6-1	社会保障制度の適正な運営

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	社会保障制度の運営
前期基本計画 の総括	<p>医療費の適正化を含む、高齢者医療制度の運営の見直し・情報提供の促進に加え、生活困窮者などに対する自立支援の強化の検討が求められる。</p> <p>【国民健康保険制度の運営支援】医療保険制度に関する市民の理解を促進し、資格管理、保険給付、保険税の適正な賦課及び保健事業など医療費の適正化を図る必要がある。</p> <p>【高齢者医療制度の円滑な運営】後期高齢者医療制度に関する情報提供に努める必要がある。</p> <p>【国民年金制度の普及・啓発】日本年金機構と協力・連携を図りながら、広報による啓発や納付相談、口座振替、保険料の前納制度、免除制度のご案内を行うなどして、情報提供や相談体制の充実に努める必要がある。</p> <p>【生活困窮者などの福祉の充実】生活困窮者自立支援法の改正により、就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施や学習支援事業の強化等に取り組む必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>国民健康保険制度、後期高齢者医療制度、国民年金制度に関する市民への情報提供と周知を図ることと、各種制度に対する理解の促進に努めていくことが必要である。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	-
市民意識調査 (自由記述)	-

-
-

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)		

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口構成やライフスタイルの変化を予測し、保育の受皿を拡充させるとともに、子育てしやすいまちづくりに向けた子育て支援策を充実させることが重要である。</li> <li>・高齢化の進展に伴い、入院・介護ニーズの増加が見込まれる。今後の高齢者支援の取組について、市民や行政、福祉関係者や市民ボランティアの連携を一層深めることが必要と考えられる。</li> <li>・健康寿命の延伸等により、急性期医療よりも回復期や在宅医療のニーズ増加が見込まれ、ニーズに対応した相談受付や人材確保の支援、医療保険の充実等に取り組む必要があると考えられる。</li> <li>・年齢が若い世代では、地域との関わりが「あいさつや顔見知り」程度に止まり、市民同士のつながりが広がらない中で、生活困窮や引きこもりなどの複雑かつ多様な課題を抱える家庭に対し、必要な支援につなげるための取組が必要であると考えられる。</li> </ul>
------------	--

健康寿命の延伸等の取組については、高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業の推進を図ることで、市民が安定して医療サービスを受けられ健康な生活を送ることが必要である。
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 1つの中柱に様々な制度が記載されていてわかりにくい。また、ですます調とである調が混在している。</p> <p>○ 国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金といった制度の運用と、生活保護制度に関して項目を分離すべきではないか。生活保護制度も、景気後退局面も考えられることから、生活保護制度の運用に限らず、生活困窮者支援も含んだ最低限のセーフティーネットとして位置づけるべきではないか。</p>	<p>ですます調とである調の混在については修正していく必要がある。国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、生活保護制度については、互いに連携して一体となって維持していく制度であるため、これまでどおり一つの中柱の中で位置づけるもので、市民にも周知しやすいものである。</p>
職員コメント	<p>大柱6 中柱1 現状と課題  「●後期高齢者医療は～増加傾向となっている。」に関する記述。  ⇒「います。」</p>	<p>コメント通りに修正する。</p>

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-1-1	朝霞の次代を担う人材の育成

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	朝霞の次代を担う人材の育成
前期基本計画 の総括	<p>児童生徒の健全育成のため、いじめ・虐待・貧困に関しては、世帯レベルでの実態調査および組織横断的な支援が求められる。また、食育や体力向上の推進の検討も必要とされる。</p> <p>【豊かな心を育む教育の推進】</p> <p>【いじめ・不登校対策の推進】問題が複雑化するなかで、医療機関など、外部機関との連携を通じた組織的な対応を推進する必要がある。</p> <p>【人権を尊重した教育の推進】</p> <p>【生徒指導・教育相談の充実】相談件数の把握を通じて、重複や漏れ、不足がないか整理したうえで、相談体制の改善を実施する必要がある。</p> <p>【体力の向上と学校体育活動の推進】体力向上委員会を中心に学校体育等の充実を図る必要がある。</p> <p>【健康の保持・増進】</p> <p>【小学校と幼稚園・保育園の連携の推進】校内・園内で発生した事故の状況を適時適切に市内の各現場へ周知し、再発を防止する仕組みを構築する必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>児童生徒の健全育成のため、いじめ・虐待・貧困に関しては、世帯レベルでの実態調査および組織横断的な支援が求められる。また、食育や体力向上の推進の検討も必要とされる。</p> <p>【豊かな心を育む教育の推進】</p> <p>【いじめ・不登校対策の推進】問題が複雑化するなかで、医療機関など、外部機関との連携を通じた組織的な対応を推進する必要がある。</p> <p>【人権を尊重した教育の推進】</p> <p>【生徒指導・教育相談の充実】相談件数の把握を通じて、重複や漏れ、不足がないか整理したうえで、相談体制の改善を実施する必要がある。</p> <p>【体力の向上と学校体育活動の推進】体力向上推進委員会を中心に学校体育等の充実を図る必要がある。</p> <p>【健康の保持・増進】</p> <p>【小学校と幼稚園・保育園の連携の推進】就学に関して必要な情報を小学校と幼稚園・保育園等と連携する必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「教育・文化」(55件)では、「彩夏祭への期待」、「小学校の生徒数のバラツキ是正」、「教育の充実への期待」、「彩夏祭への不満・改善提案」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>市民の約8割(80.2%)が「学校教育」を重要視しており、まちづくりの方向性においても「子育てがしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」が約5割(46.9%)となっていることから、学校教育環境の充実が市の重要な施策の1つであると考えられる。</p>
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前シャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</li> <li>・困ったとき、悩んだときに相談する相手は、「親」の割合が43.4%で最も高く、続いて「友人」(34.3%)となっている。「その他」には、「ネットの人」、「困ったり、悩んだりしない」などの記述があった。【問9・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ
<p>青少年の約4割(36.2%)がまちづくりの方向性において「子育てがしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」となっていることから、学校教育環境の充実が市の重要な施策の1つであると考えられる。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【総合計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小柱が抽象的すぎる。</li> <li>・市職員が目標を設定し、評価しているのはおかしい。</li> <li>・目標値を明確かつ具体的にすべきである。</li> <li>・評価は第三者がすべきである。</li> </ul> <p>【児童・生徒一人一人への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に相談室を設置していない。</li> <li>・さわやか相談員・サポート相談員の賃金が低い。</li> <li>・就学相談の回数が少ない。</li> <li>・通級教室が中学校にない。</li> <li>・小学校の通級教室が少ない。</li> <li>・フリースクールなどの居場所づくりが必要である。</li> <li>・少人数指導を充実する必要がある。</li> <li>・特別支援学級・特別支援学校と通常学級との交流が必要である。</li> <li>・国際交流・外国籍へのサポートが必要である。</li> </ul> <p>【朝霞独自の教育、地域人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援団が機能していない。</li> <li>・地域人材が活用されていない。</li> <li>・博学連携を進めていく。</li> </ul> <p>【教員の負担解消】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の負担が多い。</li> <li>・学校が抱える課題を明らかにするべきである。</li> </ul> <p>【朝霞らしさ、独自の学校支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞の文化、歴史を取り入れる。</li> <li>・姉妹都市を締結し交流する。</li> <li>・市独自の雇用や専門職を増員し、柔軟な働き方を進める。</li> <li>・子ども相談室の組織改編をする。</li> </ul> <p>【国や県への依頼】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理学、倫理学を重視すべきである。</li> <li>・受験制度を改革する。</li> <li>・夜間中学を設置する。</li> </ul> <p>【地域人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代が学校を支援する。</li> <li>・クラブ活動指導を地域の人が行う。</li> <li>・通訳を確保する。</li> </ul>
---------------------	--

<p>【いじめ・不登校対策の推進、生徒指導・教育相談の充実】スクールカウンセラー、さわやか相談員、サポート相談員、学生サポート、スチューデントサポーターを活用し、子ども相談室、さわやか相談室の活動の充実を図る必要がある。</p>
--

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の（２）確かな学力と自立する力の育成の④「学校ＩＣＴを活用した情報教育の推進」については、朝霞市では推進してきていますが、国からさらなる推進を求められている中で、どのように表記するか検討してください。</li> <li>・学校教育の（１）朝霞の次代を担う人材の育成の⑦「小学校と幼稚園・保育園の連携の推進」とあるが、こども園の表記を入れた方がよいのではないのでしょうか。</li> <li>・本年度からコミュニティ・スクールが始まっていますが、学校教育の（４）学校・家庭・地域が連携した教育の推進の①「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」に含まれると思いますので、どのように記載するか検討してください。</li> <li>・（３）質の高い教育を支える教育環境の整備充実の②「子どもたちの安全・安心の確保」と（４）学校・家庭・地域が連携した教育の推進の①「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」については、薬物依存防止の取り組みなどの面で密接な関係があるため、事務事業においてどのようにするか精査していただきたい。</li> <li>・教員の働き方改革については、（３）質の高い教育を支える教育環境の整備充実の①「教職員の資質・能力の向上」に含まれると思うが、どのように表記がいいのか検討していただきたい。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【小学校と幼稚園・保育園等の連携の推進】朝霞市にはこども園はないが、将来、設立されたときのための表記が必要である。このため、小柱を「小学校と幼稚園・保育園等の連携の推進」に変更した。</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能だけでなく、これからの社会の最前線で活躍する能力を子供たちに習得させることのできる優れた教職員の採用・育成、学習環境整備などが求められる。</li> </ul>
------------	---

<p>中柱「質の高い教育を支える教育環境の充実」の小柱「教職員の資質・能力の向上」において様々な主任会、あさか教師塾などの研修や研究開発学校の指定、教科等指導員の指定、教育奨励費受給者研修会などの教職員の資質・能力の向上に努めているが、今後も時代に即した教育方法の改善に向けた調査研究の充実を図る必要がある。</p> <p>中柱「確かな学力の育成」の小柱「確かな学力の育成」において、あさかスクールサポーター、低学年補助教員、小学校の理科支援員、小学校専任外国語講師、中学校英語指導助手など、様々な補助教員、支援員を活用し、きめ細かな対応を引き続き進めていく必要がある。</p>
---



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 初等教育における、日本語と理科の科目のハード・ソフト両面の充実を図る。</p> <p>&lt;主な取組&gt;            豊かな心を育む教育の推進            正しい日本語教育の推進            理科教育・環境教育の推進            いじめ・不登校対策の推進            人権を尊重した教育の推進            生徒指導・教育相談の充実            体力の向上と学校体育活動の推進            健康の保持・増進            小学校と幼稚園・保育園等の連携の推進</p> <p>(コメント)            最近、小学校から英語が必須科目として導入されましたが、英語の前に必要なのは母語としての日本語です。母語がしっかり確立する前に外国語、特に、日本語と性格が正反対の英語を学ばせるのは、百害あって一利なしです。日本は母語だけで高等教育を終了できる世界でもまれな恵まれた国です。道具としての英語は、必要になってからで十分に間に合います。それまでに、母語としての「日本語」をしっかり学ぶ環境（教師も含めて）を整えて下さい。正しい日本語の教育を通して、子ども達のコミュニケーション能力を伸ばす視点を持って下さい。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>中柱「確かな学力の育成」の小柱「確かな学力の育成」において、あさかスクールサポーター、低学年補助教員、小学校の理科支援員、小学校専任外国語講師、中学校英語指導助手など、様々な補助教員、支援員を活用し、日本語や理科も含めきめ細かな対応を引き続き進めていく必要がある。</p>

職員コメント	
--------	--

--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-1-2	確かな学力と自立する力の育成

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	確かな学力と自立する力の育成
前期基本計画 の総括	<p>就学児童・青少年に対する、国際理解教育・ICTを活用した情報教育の促進が求められる。また、外国人世帯や特別支援学習を必要とする世帯など、様々な就学支援を提供する基盤の構築を図る必要がある。</p> <p>【確かな学力の育成】就学児童に限らず、青少年全般の教育支援が求められる。</p> <p>【進路指導・キャリア教育の推進】</p> <p>【伝統と文化を尊重し国際性を育む教育の推進】外国籍及び帰国児童・生徒が増えていること並びに平成32年度の学習指導要領の改訂により小学校で外国語の授業が行われることから、国際理解教育の必要性が高まっており、今後、関係機関と連携しながら学習を推進していく必要がある。</p> <p>【学校ICTを活用した情報教育の推進】プログラミング学習の指導方法等について研究を推進していく必要がある。</p> <p>【環境教育の推進】外国人世帯の学習支援のため、関係機関と市で情報共有し、具体的な施策展開が求められる。</p> <p>【ボランティア・福祉教育の推進】</p> <p>【特別支援教育の推進】 支援員を配置するなどきめ細かな支援を行うほか、今後もノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進していくとともに必要に応じ関係機関との連携を図っていく必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>就学児童・青少年に対する、国際理解教育・ICTを活用した情報教育の促進が求められる。また、外国人世帯や特別支援学習を必要とする世帯など、様々な就学支援を提供する基盤の構築を図る必要がある。</p> <p>【確かな学力の育成】就学児童に限らず、青少年全般の教育支援が求められる。</p> <p>【進路指導・キャリア教育の推進】</p> <p>【伝統と文化を尊重し国際性を育む教育の推進】外国籍及び帰国児童・生徒が増えていること並びに令和2年度の学習指導要領の実施により小学校で外国語の授業が行われることから、国際理解教育の必要性が高まっており、今後、関係機関と連携しながら学習を推進していく必要がある。</p> <p>【学校ICTを活用した情報教育の推進】プログラミング学習の指導方法等について研究を推進していく必要がある。</p> <p>【環境教育の推進】外国人世帯の学習支援のため、関係機関と市で情報共有し、具体的な施策展開が求められる。</p> <p>【ボランティア・福祉教育の推進】</p> <p>【特別支援教育の推進】 支援員を配置するなどきめ細かな支援を行うほか、今後もノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進していくとともに必要に応じ関係機関との連携を図っていく必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「教育・文化」(55件)では、「彩夏祭への期待」、「小学校の生徒数のバラツキ是正」、「教育の充実への期待」、「彩夏祭への不満・改善提案」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>市民の約8割(80.2%)が「学校教育」を重要視しており、まちづくりの方向性においても「子育てがしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」が約5割(46.9%)となっていることから、学校教育環境の充実が市の重要な施策の1つであると考えられる。</p>
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前のシャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ
<p>青少年の約4割(36.2%)がまちづくりの方向性において「子育てがしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」となっていることから、学校教育環境の充実が市の重要な施策の1つであると考えられる。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【総合計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小柱が抽象的すぎる。</li> <li>・市職員が目標を設定し、評価しているのはおかしい。</li> <li>・目標値を明確かつ具体的にすべきである。</li> <li>・評価は第三者がすべきである。</li> </ul> <p>【児童・生徒一人一人への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に相談室を設置していない。</li> <li>・さわやか相談員・サポート相談員の賃金が低い。</li> <li>・就学相談の回数が少ない。</li> <li>・通級教室が中学校にない。</li> <li>・小学校の通級教室が少ない。</li> <li>・フリースクールなどの居場所づくりが必要である。</li> <li>・少人数指導を充実する必要がある。</li> <li>・特別支援学級・特別支援学校と通常学級との交流が必要である。</li> <li>・国際交流・外国籍へのサポートが必要である。</li> </ul> <p>【朝霞独自の教育、地域人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援団が機能していない。</li> <li>・地域人材が活用されていない。</li> <li>・博学連携を進めていく。</li> </ul> <p>【教員の負担解消】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の負担が多い。</li> <li>・学校が抱える課題を明らかにするべきである。</li> </ul> <p>【朝霞らしさ、独自の学校支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞の文化、歴史を取り入れる。</li> <li>・姉妹都市を締結し交流する。</li> <li>・市独自の雇用や専門職を増員し、柔軟な働き方を進める。</li> <li>・子ども相談室の組織改編をする。</li> </ul> <p>【国や県への依頼】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理学、倫理学を重視すべきである。</li> <li>・受験制度を改革する。</li> <li>・夜間中学を設置する。</li> </ul> <p>【地域人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代が学校を支援する。</li> <li>・クラブ活動指導を地域の人が行う。</li> <li>・通訳を確保する。</li> </ul>
---------------------	--

<p>【共生社会を目指した支援・指導の充実】ノーマライゼーションの理念に基づき、共生社会を目指した多様な学びの場を充実させる必要がある。</p> <p>【確かな学力の育成】様々な補助教員や支援員を活用し、引き続き個に応じたきめ細かい指導を推進していく必要がある。</p> <p>【伝統と文化を尊重し国際性をはぐくむ教育の推進】地域の教育資源を活用するため、博学連携事業を推進する必要がある。</p>
---

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の（２）確かな学力と自立する力の育成の④「学校ＩＣＴを活用した情報教育の推進」については、朝霞市では推進してきていますが、国からさらなる推進を求められている中で、どのように表記するか検討してください。</li> <li>・学校教育の（１）朝霞の次代を担う人材の育成の⑦「小学校と幼稚園・保育園の連携の推進」とあるが、こども園の表記を入れた方がよいのではないのでしょうか。</li> <li>・本年度からコミュニティ・スクールが始まっていますが、学校教育の（４）学校・家庭・地域が連携した教育の推進の①「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」に含まれると思いますので、どのように記載するか検討してください。</li> <li>・（３）質の高い教育を支える教育環境の整備充実の②「子どもたちの安全・安心の確保」と（４）学校・家庭・地域が連携した教育の推進の①「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」については、薬物依存防止の取り組みなどの面で密接な関係があるため、事務事業においてどのようにするか精査していただきたい。</li> <li>・教員の働き方改革については、（３）質の高い教育を支える教育環境の整備充実の①「教職員の資質・能力の向上」に含まれると思うが、どのように表記がいいのか検討していただきたい。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【技術革新に対応する教育の推進】小柱「学校ＩＣＴを活用した情報教育の推進」については、プログラミング教育などの新たな考える力を推進することなどを加える必要がある。このため、小柱を「技術革新に対応する教育の推進」に変更した。</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能だけでなく、これからの社会の最前線で活躍する能力を子供たちに習得させることのできる優れた教職員の採用・育成、学習環境整備などが求められる。</li> </ul>
------------	---

<p>中柱「質の高い教育を支える教育環境の充実」の小柱「教職員の資質・能力の向上」において様々な主任会、あさか教師塾などの研修や研究開発学校の指定、教科等指導員の指定、教育奨励費受給者研修会などの教職員の資質・能力の向上に努めているが、今後も時代に即した教育方法の改善に向けた調査研究の充実を図る必要がある。</p> <p>中柱「確かな学力の育成」の小柱「確かな学力の育成」において、あさかスクールサポーター、低学年補助教員、小学校の理科支援員、小学校専任外国語講師、中学校英語指導助手など、様々な補助教員、支援員を活用し、きめ細かな対応を引き続き進めていく必要がある。</p>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-1-3	質の高い教育を支える教育環境の整備充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	質の高い教育を支える教育環境の整備充実
前期基本計画 の総括	<p>老朽化している学校施設の修繕計画の策定が必要である。</p> <p>【教職員の資質・能力の向上】</p> <p>【子どもたちの安全・安心の確保】</p> <p>【快適な教育環境の整備充実】老朽化している学校施設については、財政状況や国の施策の動向を踏まえ、児童数の推移や施設の状態を的確に把握し、必要性や緊急性に配慮しながら、計画的な改修工事等を実施するための計画を策定する必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>老朽化している学校施設の修繕計画の策定が必要である。</p> <p>【教職員の資質・能力の向上】</p> <p>【子どもたちの安全・安心の確保】</p> <p>【快適な教育環境の整備充実】老朽化している学校施設については、財政状況や国の施策の動向を踏まえ、児童数の推移や施設の状態を的確に把握し、必要性や緊急性に配慮しながら、計画的な改修工事等を実施するための計画を策定する必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「教育・文化」(55件)では、「彩夏祭への期待」、「小学校の生徒数のバラツキ是正」、「教育の充実への期待」、「彩夏祭への不満・改善提案」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>市民の約8割(80.2%)が「学校教育」を重要視しており、まちづくりの方向性においても「子育てがしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」が約5割(46.9%)となっていることから、学校教育環境の充実が市の重要な施策の1つであると考えられる。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前のシャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</p>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <p>青少年の約4割(36.2%)がまちづくりの方向性において「子育てがしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」となっていることから、学校教育環境の充実が市の重要な施策の1つであると考えられる。</p>
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【総合計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小柱が抽象的すぎる。</li> <li>・市職員が目標を設定し、評価しているのはおかしい。</li> <li>・目標値を明確かつ具体的にすべきである。</li> <li>・評価は第三者がすべきである。</li> </ul> <p>【児童・生徒一人一人への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に相談室を設置していない。</li> <li>・さわやか相談員・サポート相談員の賃金が低い。</li> <li>・就学相談の回数が少ない。</li> <li>・通級教室が中学校にない。</li> <li>・小学校の通級教室が少ない。</li> <li>・フリースクールなどの居場所づくりが必要である。</li> <li>・少人数指導を充実する必要がある。</li> <li>・特別支援学級・特別支援学校と通常学級との交流が必要である。</li> <li>・国際交流・外国籍へのサポートが必要である。</li> </ul> <p>【朝霞独自の教育、地域人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援団が機能していない。</li> <li>・地域人材が活用されていない。</li> <li>・博学連携を進めていく。</li> </ul> <p>【教員の負担解消】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の負担が多い。</li> <li>・学校が抱える課題を明らかにするべきである。</li> </ul> <p>【朝霞らしさ、独自の学校支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞の文化、歴史を取り入れる。</li> <li>・姉妹都市を締結し交流する。</li> <li>・市独自の雇用や専門職を増員し、柔軟な働き方を進める。</li> <li>・子ども相談室の組織改編をする。</li> </ul> <p>【国や県への依頼】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理学、倫理学を重視すべきである。</li> <li>・受験制度を改革する。</li> <li>・夜間中学を設置する。</li> </ul> <p>【地域人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代が学校を支援する。</li> <li>・クラブ活動指導を地域の人が行う。</li> <li>・通訳を確保する。</li> </ul>	<p>【教職員の資質・能力の向上、快適な教育環境の整備充実】教職員の負担軽減策をさらに拡充していく必要がある。</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食について、成長期に必要な栄養を摂取することや、旬の食材、季節の行事食を味わうことなどが大切だと感じている。</li> <li>・正しい食生活を実践できる児童生徒を育成（食育）の学習として、栄養バランスの取れた食事についてや、給食がどのように作られているか、好き嫌いをなく食べることについて希望している。</li> <li>・学校給食の今後について、安心・安全な給食の提供、給食献立の充実（ふるさとの料理、旬の食材を使った料理等）が必要である。</li> <li>・自校給食の良さについて、温かくて美味しいこと、また身近で調理の様子が見られることがある。</li> <li>・学校教育の（２）確かな学力と自立する力の育成の④「学校ICTを活用した情報教育の推進」については、朝霞市では推進してきていますが、国からさらなる推進を求められている中で、どのように表記するか検討してください。</li> <li>・学校教育の（１）朝霞の次代を担う人材の育成の⑦「小学校と幼稚園・保育園の連携の推進」とあるが、こども園の表記を入れた方がよいのではないのでしょうか。</li> <li>・本年度からコミュニティ・スクールが始まっていますが、学校教育の（４）学校・家庭・地域が連携した教育の推進の①「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」に含まれると思いますので、どのように記載するか検討してください。</li> <li>・（３）質の高い教育を支える教育環境の整備充実の②「子どもたちの安全・安心の確保」と（４）学校・家庭・地域が連携した教育の推進の①「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」については、薬物依存防止の取り組みなどの面で密接な関係があるため、事務事業においてどのようにするか精査していただきたい。</li> <li>・教員の働き方改革については、（３）質の高い教育を支える教育環境の整備充実の①「教職員の資質・能力の向上」に含まれると思うが、どのように表記がいいのか検討していただきたい。</li> </ul>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市には規模が大きい小学校が多い傾向にあると考えられる。今後の推移をとらえながら、引き続き適切な対応が必要である。</li> <li>・朝霞市は引き続き補助教員や支援員を配置し、きめ細かな対応を図っていくことが必要である。</li> <li>・基礎的・基本的な知識や技能だけでなく、これからの社会の最前線で活躍する能力を子供たちに習得させることのできる優れた教職員の採用・育成、学習環境整備などが求められる。</li> </ul>
------------	--

考えられる市民・社会のニーズ
<p>学校給食については、中柱「朝霞の次代を担う人材の育成」の小柱「健康の保持・増進」において、食に関する指導・食育を引き続き推進していく必要がある。</p> <p>【快適な教育環境の整備充実】教育のICT化に向けた環境整備を推進する必要がある。なお、ソフト面は中柱「確かな学力と自立する力の育成」の小柱「技術革新に対応する教育の推進」に位置付ける必要がある。</p> <p>薬物依存防止の取り組みは中柱「朝霞の次代を担う人材の育成」の小柱「健康の保持・増進」で行っているが、この事業だけでなく学校に関する様々な事業について地域との連携が不可欠であることから、中柱「学校を核とした家庭・地域との連携・協働の推進」の小柱「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」の中でコミュニティ・スクールなどを活用していく必要がある。</p> <p>【教職員の資質・能力の向上、快適な教育環境の整備充実】教職員の負担軽減策をさらに拡充していく必要がある。</p>

<p>【快適な教育環境の整備充実】朝霞市は人口が増加傾向にあり、それに伴い児童生徒についても増加傾向にある。教室数にも限りがあることから人口推計を常に注視し、できる限り市民に影響のないように事業を進める必要がある。増改築や学区変更など、市民に影響を及ぼす対応策を講じる必要があると判断した場合には、適切な時期に周知等を行い、市民に理解を得られるよう丁寧に進める必要がある。</p> <p>【教職員の資質・能力の向上】様々な主任会、あさか教師塾などの研修や研究開発学校の指定、教科等指導員の指定、教育奨励費受給者研修会などの教職員の資質・能力の向上に努めているが、今後も時代に即した教育方法の改善に向けた調査研究の充実を図る必要がある。</p> <p>中柱「確かな学力の育成」の小柱「確かな学力の育成」において、あさかスクールサポーター、低学年補助教員、小学校の理科支援員、小学校専任外国語講師、中学校英語指導助手など、様々な補助教員、支援員を活用し、きめ細かな対応を引き続き進めていく必要がある。</p>
--



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 初等教育における、日本語と理科の科目のハード・ソフト両面の充実を図る。</p> <p>&lt;主な取組&gt;            教職員の資質・能力の向上            理科専門の教員配置の検討            子どもたちの安全・安心の確保            快適な教育環境の整備充実</p> <p>(コメント)            最近の都会の子ども達の多くは、「自然」とのお付き合いが希薄になっています。持続可能性のある社会を実現するためには、理科教育と環境教育の充実が必須です。理科教育と環境教育は、知識だけでなく、考え方の問題が大切で、自然との付き合い方を学ぶ中で、豊かな心を育む教育に通じます。このためには、小学校でも非常勤でもいいから、理科専門の教員を配置することを検討して下さい。はっきり言って、小学校の教員資格を持っている教育学部や学芸学部出身の先生は、理科が不得意の方が多いという実感を持っています。理科の不得意な先生に理科や環境教育を学ぶ生徒は悲惨です。</p> <p>○ 主な取り組みとして、教育人材確保の観点での内容が必要ではないか。</p> <p>○ ギガスクール構想や教育ICT化を求める声のなかで、そのための方針をどうするのか。推進するのであれば資源確保に関しての言及が必要ではないか。</p> <p>○ 人口増ともなう教室不足が想定されるなか、対応策を具体化することについて言及して市民に理解を求めることが必要ではないか。</p>

職員コメント	
--------	--

考えられる市民・社会のニーズ
<p>中柱「確かな学力の育成」の小柱「確かな学力の育成」において、あさかスクールサポーター、低学年補助教員、小学校の理科支援員、小学校専任外国語講師、中学校英語指導助手など、様々な補助教員、支援員を活用し、理科も含めきめ細かな対応を引き続き進めていく必要がある。</p> <p>【快適な教育環境の整備充実】朝霞市は人口が増加傾向にあり、それに伴い児童生徒についても増加傾向にある。教室数にも限りがあることから人口推計を常に注視し、できる限り市民に影響のないように事業を進める必要がある。増改築や学区変更など、市民に影響を及ぼす対応策を講じる必要があると判断した場合には、適切な時期に周知等を行い、市民に理解を得られるよう丁寧に進める必要がある。教育活動に必要な教材などのさらなる充実が必要である。GIGAスクール構想の実現に向け高速大容量の通信ネットワークを始めとした教育ICTの環境整備を推進する必要がある。なお、ソフト面は中柱「確かな学力と自立する力の育成」の小柱「技術革新に対応する教育の推進」に位置付けている。</p>

--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-1-4	学校を核とした家庭・地域との連携・協働の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	学校・家庭・地域が連携した教育の推進
前期基本計画 の総括	【学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上】各関連機関の連携を強化し、一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを目的に運営方法や内容、また対象校の拡大などを検討していく必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
【学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上】コミュニティ・スクールについては各関連機関の連携を強化し、一定の権限と責任をもって学校運営に参画することを目的に運営方法や内容、また対象校の拡大などを検討していく必要がある。

市民意識調査 (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</li> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にす福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。【問15・全体】</li> </ul>
市民意識調査 (自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育・文化」(55件)では、「彩夏祭への期待」、「小学校の生徒数のバラツキ是正」、「教育の充実への期待」、「彩夏祭への不満・改善提案」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</li> </ul>

市民の約8割(80.2%)が「学校教育」を重要視しており、まちづくりの方向性においても「子育てがしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」が約5割(46.9%)となっていることから、学校教育環境の充実が市の重要な施策の1つであると考えられる。
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前のシャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ
<p>青少年の約4割(36.2%)がまちづくりの方向性において「子育てがしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」となっていることから、学校教育環境の充実が市の重要な施策の1つであると考えられる。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【総合計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小柱が抽象的すぎる。</li> <li>・市職員が目標を設定し、評価しているのはおかしい。</li> <li>・目標値を明確かつ具体的にすべきである。</li> <li>・評価は第三者がすべきである。</li> </ul> <p>【児童・生徒一人一人への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に相談室を設置していない。</li> <li>・さわやか相談員・サポート相談員の賃金が低い。</li> <li>・就学相談の回数が少ない。</li> <li>・通級教室が中学校にない。</li> <li>・小学校の通級教室が少ない。</li> <li>・フリースクールなどの居場所づくりが必要である。</li> <li>・少人数指導を充実する必要がある。</li> <li>・特別支援学級・特別支援学校と通常学級との交流が必要である。</li> <li>・国際交流・外国籍へのサポートが必要である。</li> </ul> <p>【朝霞独自の教育、地域人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援団が機能していない。</li> <li>・地域人材が活用されていない。</li> <li>・博学連携を進めていく。</li> </ul> <p>【教員の負担解消】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の負担が多い。</li> <li>・学校が抱える課題を明らかにするべきである。</li> </ul> <p>【朝霞らしさ、独自の学校支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞の文化、歴史を取り入れる。</li> <li>・姉妹都市を締結し交流する。</li> <li>・市独自の雇用や専門職を増員し、柔軟な働き方を進める。</li> <li>・子ども相談室の組織改編をする。</li> </ul> <p>【国や県への依頼】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理学、倫理学を重視すべきである。</li> <li>・受験制度を改革する。</li> <li>・夜間中学を設置する。</li> </ul> <p>【地域人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代が学校を支援する。</li> <li>・クラブ活動指導を地域の人が行う。</li> <li>・通訳を確保する。</li> </ul>
---------------------	--

<p>【学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上】学校応援団、地域人材の活用、学校が抱える課題の解消のため、学校の経営や生徒指導の状況等について地域住民や保護者等が熟議によって学校経営に参画するコミュニティ・スクールを推進し、地域の人的資源の活用を図る必要がある。</p>
---

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の（２）確かな学力と自立する力の育成の④「学校ＩＣＴを活用した情報教育の推進」については、朝霞市では推進してきていますが、国からさらなる推進を求められている中で、どのように表記するか検討してください。</li> <li>・学校教育の（１）朝霞の次代を担う人材の育成の⑦「小学校と幼稚園・保育園の連携の推進」とあるが、こども園の表記を入れた方がよいのではないのでしょうか。</li> <li>・本年度からコミュニティ・スクールが始まっていますが、学校教育の（４）学校・家庭・地域が連携した教育の推進の①「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」に含まれると思いますので、どのように記載するか検討してください。</li> <li>・（３）質の高い教育を支える教育環境の整備充実の②「子どもたちの安全・安心の確保」と（４）学校・家庭・地域が連携した教育の推進の①「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」については、薬物依存防止の取り組みなどの面で密接な関係があるため、事務事業においてどのようにするか精査していただきたい。</li> <li>・教員の働き方改革については、（３）質の高い教育を支える教育環境の整備充実の①「教職員の資質・能力の向上」に含まれると思うが、どのように表記がいいのか検討していただきたい。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上】コミュニティ・スクールは、「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」に位置付けて推進する必要がある。</p> <p>薬物依存防止の取り組みは中柱「朝霞の次代を担う人材の育成」の小柱「健康の保持・増進」で行っているが、この事業だけでなく学校に関する様々な事業について地域との連携が不可欠であることから、コミュニティ・スクールなどを活用していく必要がある。</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市には規模が大きい小学校が多い傾向にあると考えられる。今後の推移をとらえながら、引き続き適切な対応が必要である。</li> <li>・朝霞市は引き続き補助教員や支援員を配置し、きめ細かな対応を図っていくことが必要である。</li> <li>・基礎的・基本的な知識や技能だけでなく、これからの社会の最前線で活躍する能力を子供たちに習得させることのできる優れた教職員の採用・育成、学習環境整備などが求められる。</li> </ul>
------------	--

<p>中柱「質の高い教育を支える教育環境の充実」の小柱「快適な教育環境の整備充実」において、今後、増改築や学区変更など、市民に影響を及ぼす対応策を講じる必要があると判断した場合には、適切な時期に周知等を行い、市民に理解を得られるよう丁寧に進める必要がある。</p> <p>中柱「質の高い教育を支える教育環境の充実」の小柱「教職員の資質・能力の向上」において様々な主任会、あさか教師塾などの研修や研究開発学校の指定、教科等指導員の指定、教育奨励費受給者研修会などの教職員の資質・能力の向上に努めているが、今後も時代に即した教育方法の改善に向けた調査研究の充実を図る必要がある。</p> <p>中柱「確かな学力の育成」の小柱「確かな学力の育成」において、あさかスクールサポーター、低学年補助教員、小学校の理科支援員、小学校専任外国語講師、中学校英語指導助手など、様々な補助教員、支援員を活用し、きめ細かな対応を引き続き進めていく必要がある。</p>
--

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○主な取組「学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上」            家庭の崩壊や貧困問題も含め、さらに朝霞市は県内でも外国籍住民数も上位にあります。            当然学校に在籍児童・生徒も増えます。グローバルな視点を持ち地域・社会資源を取り組む際にも、朝霞市全庁的に協働の指針を共通理解して、住民と共有するようにと明示が必要だと思います。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上】学校の経営や生徒指導の状況等について地域住民や保護者等が熟識によって学校経営に参画するコミュニティ・スクールを推進していく中で、市民が子どもたちを育む当事者である意識の醸成を図り、併せて庁内の関係課との連携を図る必要がある。</p>

職員コメント	
--------	--

--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-2-1	生涯学習活動の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	生涯学習活動の推進
前期基本計画 の総括	<p>様々な世代を対象とした生涯学習推進体制の策定・提供基盤の構築が求められる。</p> <p>【生涯学習推進体制の充実】様々な世代を対象とした事業展開を実施する必要がある。</p> <p>【学習情報の提供と学習機会の充実】市民の求める学習プログラムは年々高度化する傾向にある。こうした要求に応えるため、市としても民間とのタイアップや地域の有識者、学校などの教育機関が一体となり、学習プログラムを設定していく必要がある。</p> <p>【団体、学習グループの支援とリーダーの育成・活用】市民や学習団体の主体的な学習活動を尊重、支援するとともに、活動の場を提供し、協働した事業展開が行っていきよう調整していく必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>様々な世代を対象とした生涯学習推進体制の策定・提供基盤の構築が求められる。</p> <p>【生涯学習推進体制の充実】様々な世代を対象とした事業展開を実施する必要がある。</p> <p>【学習情報の提供と学習機会の充実】</p> <p>市民の求める学習プログラムは年々高度化する傾向にある。こうした要求に応えるため、市としても民間とのタイアップや地域の有識者、学校などの教育機関が一体となり、学習プログラムを設定していく必要がある。</p> <p>【団体、学習グループの支援とリーダーの育成・活用】</p> <p>市民や学習団体の主体的な学習活動を尊重、支援するとともに、活動の場を提供し、協働した事業展開が行っていきよう調整していく必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p><b>【施設の有効的な活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の予約方法や利用時間帯等、柔軟に対応してほしい</li> <li>施設の備品等貸出について柔軟に対応してほしい</li> <li>施設は午前・午後・夜間でなく、時間で貸出する。</li> <li>広い部屋は、臨機応変にパーティションで仕切るなどして貸出する。</li> </ul> <p><b>【学習機会や活動場所の提供】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習活動のできる場所が不足している。</li> <li>生涯学習を担うべき市民の講座等、学習機会が少ない。</li> </ul> <p><b>【活動団体への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民等が企画する講座の補助金がいづらい</li> <li>活動団体のPR等、公平な対応をしてほしい</li> </ul> <p><b>【中高生等の居場所の確保】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高生の放課後の居場所が限られている</li> </ul> <p><b>【時代に沿った学習機会の提供】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習テーマに対してスポット的ではなく、組織的な学習活動を行う。</li> <li>SDGs学習を取り上げていく。</li> </ul> <p><b>【生涯学習の担い手支援と活動団体への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いに学びあい、教えあうような機会を提供する。</li> <li>パートナーシップカレッジの再開。</li> </ul> <p><b>【学習する場の整備・工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民センターを十分に活用する。</li> <li>空き家・空き室を学習場所として活用する。</li> </ul>
---------------------	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>特に公民館などの社会教育施設は、利用について有効的な活用を望む声が多いため、施設の利用方法など調整する必要がある。</li> <li>引き続き市民のニーズに応えた学習機会の提供、場所の確保のほか、活動団体の支援に努める。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特に利用者(市民)との生涯学習活動についての話し合いの場を充実させるを追記する。</li> <li>○ 主な取組「リーダーの育成・活用」 教育委員会担当課・教育施設にこだわらずに、全庁的体系化された施策になるようにしていただきたい。 学びと活動の反芻は座学のみではなく、年齢や障害の有無も超えて多様なリーダーが育つ施策が大切と考えます。</li> <li>○ 学びなおし・リカレント教育への支援が言及がありません。 学びなおしやリカレント教育の場の提供と金銭面での支援を検討していただきたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代への朝霞の魅力を伝え、自主的な学習や活動支援を行う。また、大学などの教育機関で行っている学習情報の提供に努める。</li> </ul>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-2-2	学びを支える環境の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	<p>学習しやすい環境整備の充実（公民館） 学習しやすい環境整備の充実（図書館） 学習しやすい環境整備の充実（博物館）</p>
前期基本計画 の総括	<p>地域のつながり・市民意識の醸成のため、学習サービス施設の拡充が求められる。 【サービスの充実】地域のコミュニティづくりという観点から地域の課題に寄り添い、地域住民が学習を通じて市民としての意識を高めたり、住民間の絆を深められるような学習プログラムの企画について検討を進めていく必要がある。 【施設管理の充実】自習スペースの拡充について検討する必要がある。</p> <p>書籍・資料の電子化や施設の修繕活動を通じて、より多くの市民が利用しやすい環境の構築が求められる。 【サービスの充実】ICT（情報通信技術）時代に適応した情報提供ができるよう、電子書籍や地域資料のデジタルライブラリー化の促進が求められる。 【施設管理の充実】施設全体の老朽化が顕著であるため、改修の必要性が高まっている。また、利用状況減少の原因分析を含め、利用実態に即した効果的な施設リニューアルが必要である。</p> <p>博物館利用者数の向上を目的とした、幅広い世代に訴求ができるような展示内容の充実を検討する必要がある。 【サービスの充実】行政の各部署との相互交流を通じ、専門性のバランスにも考慮した展示内容の充実が求められる。 【施設管理の充実】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>公民館は、学習の場としてだけでなく地域コミュニティを醸成する場としての事業展開が求められている。また、計画的に施設修繕を進め、誰でも快適に利用できる施設管理が求められている。</p> <p>図書館では、従来の紙媒体による図書館資料の充実を図りながら、ICT（情報通信技術）時代に適合した情報提供ができるよう、電子書籍やデジタルライブラリー化等の提供により、誰もがいつでもどこでも図書館サービスを利用できるように進めていく必要がある。施設管理についても、誰でも快適に利用できる施設管理を推進していく必要がある。</p> <p>博物館では、様々なニーズを勘案しながら、専門的な背景を持ちつつも、わかりやすい展示の充実に努めてまいります。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【施設の有効的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の予約方法や利用時間帯等、柔軟に対応してほしい</li> <li>・施設の備品等貸出について柔軟に対応してほしい</li> <li>・施設は午前・午後・夜間でなく、時間で貸出する。</li> <li>・広い部屋は、臨機応変にパーティションで仕切るなどして貸出する。</li> </ul> <p>【学習機会や活動場所の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習活動のできる場所が不足している。</li> <li>・生涯学習を担うべき市民の講座等、学習機会が少ない。</li> </ul> <p>【活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等が企画する講座の補助金がいづらい</li> <li>・活動団体のPR等、公平な対応をしてほしい</li> </ul> <p>【中高生等の居場所の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の放課後の居場所が限られている</li> </ul> <p>【時代に沿った学習機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習テーマに対してスポット的ではなく、組織的な学習活動を行う。</li> <li>・SDGs学習を取り上げていく。</li> </ul> <p>【生涯学習の担い手支援と活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに学びあい、教えあうような機会を提供する。</li> <li>・パートナーシップカレッジの再開。</li> </ul> <p>【学習する場の整備・工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターを十分に活用する。</li> <li>・空き家・空き室を学習場所として活用する。</li> </ul>	<p>利用者の実態（活動形態、年齢層、団体数など）に即した施設運営や講座等の開設が求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>別紙3に記載（320ページ）</p>	<p>利用者の実態（年齢層、団体数）に即した施設の改修や情報の発信が求められている。</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 生涯学習について、前期基本計画では公民館、図書館、博物館のそれぞれについて中柱が立てられていたが、後期基本計画の骨子（案）では一つの中柱へと整理されており、生涯学習に対する市の姿勢が後退したように感じている。各施設とも課題は様々に異なると思う。公民館、図書館、博物館のそれぞれで中柱を別立てし、課題を明らかにした上で、市民の知的支援に取り組むべきではないか。</p> <p>○ 中高校生などへの学習する場所の拡充整備の推進を追記。</p> <p>○ 各種補助金の充実整備に努めるを追記。</p> <p>○ 公民館の利用が既存団体の予約が先行して新規の団体が割り込めないなどの意見をいただいている。既存団体を開いていくこと、既存団体と新規団体の利用のバランスを取りながら新陳代謝を図っていくことなど社会教育事業として取り組んでいく必要がないか。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>生涯学習施設は、市民が行う生涯学習活動に対して、安心・安全な施設提供により、引き続き、学習機会の充実が図れるよう適切な支援を行っていく必要がある。また、全ての市民が生涯学習活動を行うことができるよう、生涯学習活動を行うための機会の提供や動機付けの機会を設けていく必要がある。</p>

職員コメント	<p>現状と課題において「生涯学習施設には学びを継続的に支援する専門的な職員などの配置が必要」とあるが、職員の配置という内部的な課題よりも、大学や研究機関、民間企業や市民団体などと連携し、市民の学びに応える環境整備に力を入れるべきではないか。その方が広がりを感じられる。</p> <p>配置を課題にするなら、専門的なスキルを保持するためのシステム、体制づくりを課題とすべきではないか。</p>
--------	--

<p>生涯学習施設に配置される職員については、職員の専門的知識・技術などの専門性を確保できる体制づくりを進めていくとともに、専門的な職員の配置をとおして、市民への継続的な学びの支援をとおして、質の高い学びの環境の充実を図っていく必要がある。</p>
--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-3-1	スポーツ・レクリエーション活動の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	スポーツ・レクリエーション活動の推進
前期基本計画 の総括	<p>様々な世代を対象としたスポーツ普及への事業施策の検討が求められる。                      【地域全体での推進体制の充実】 様々な世代を対象とした生涯スポーツの普及に向けた取り組み実施を検討する必要がある。                      【活動情報の提供の充実】                      【スポーツ事業の充実】 オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取り組みとその後のスポーツ普及への取り組みを検討していく必要がある。                      【団体、指導者の育成・支援と交流の促進】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>様々な世代を対象としたスポーツ普及への事業施策の検討が求められる。                      【地域全体での推進体制の充実】                      様々な世代を対象とした生涯スポーツの普及に向けた取り組み実施を検討する必要がある。                      【活動情報の提供の充実】                      【スポーツ事業の充実】                      オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取り組みとその後のスポーツ普及への取り組みを検討していく必要がある。                      【団体、指導者の育成・支援と交流の促進】</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】</p>
--------------------	--

<p>スポーツ団体等と連携し、より親しみやすい生涯スポーツ事業の開催及び活動場所の提供に努める。また、生涯スポーツを継承していくため、次世代の指導者育成に努め、スポーツレクリエーションの振興を図る。</p>
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【施設の有効的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の予約方法や利用時間帯等、柔軟に対応してほしい</li> <li>施設の備品等貸出について柔軟に対応してほしい</li> <li>施設は午前・午後・夜間でなく、時間で貸出する。</li> <li>広い部屋は、臨機応変にパーティションで仕切るなどして貸出する。</li> </ul> <p>【学習機会や活動場所の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習活動のできる場所が不足している。</li> <li>生涯学習を担うべき市民の講座等、学習機会が少ない。</li> </ul> <p>【活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民等が企画する講座の補助金がいづらい</li> <li>活動団体のPR等、公平な対応をしてほしい</li> </ul> <p>【中高生等の居場所の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高生の放課後の居場所が限られている</li> </ul> <p>【時代に沿った学習機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習テーマに対してスポット的ではなく、組織的な学習活動を行う。</li> <li>SDGs学習を取り上げていく。</li> </ul> <p>【生涯学習の担い手支援と活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いに学びあい、教えあうような機会を提供する。</li> <li>パートナーシップカレッジの再開。</li> </ul> <p>【学習する場の整備・工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民センターを十分に活用する。</li> <li>空き家・空き室を学習場所として活用する。</li> </ul>
---------------------	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>社会体育施設については、施設整備に努めるとともに、その利用も多く、利用について有効的な活用を望む声が多いため、施設の効果的な運営方法などを検討する必要がある。</li> <li>引き続き市民のニーズに応えたスポーツ教室等イベントの開催、また、どこでも生涯スポーツが楽しむことができる場所の提供に努めるほか、活動団体等の支援を図る。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-3-2	利用しやすい施設の提供

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	スポーツ施設の整備充実
前期基本計画 の総括	<p>利用者ニーズを考慮した、計画的なスポーツ施設の修繕が求められる。</p> <p>【施設の整備】各体育施設の設備等の状況と利用団体の要望等を把握し、計画的な修繕、改修に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【効率的な施設運営】利用者の視点を包含した、効率的な施設運営が求められる。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>利用者を考慮した、計画的なスポーツ施設の修繕が求められる。</p> <p>【施設の整備】各体育施設の整備等の状況と利用団体の要望等を把握し、計画的な修繕、改修に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【効率できる施設運営】利用者の視点を包含した、効率的な施設運営が求められる。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】</p>
--------------------	--

<p>スポーツ推進計画の目標である、スポーツ実施率55%を達成をすることにより、スポーツ施設の利用度が上がることから、安心・安全な施設の維持管理の必要性がある。</p>
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物が不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</p>	市民の声に耳を傾け、市民ニーズにあった施設整備に努める。
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【施設の有効的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の予約方法や利用時間帯等、柔軟に対応してほしい</li> <li>・施設の備品等貸出について柔軟に対応してほしい</li> <li>・施設は午前・午後・夜間でなく、時間で貸出する。</li> <li>・広い部屋は、臨機応変にパーティションで仕切るなどして貸出する。</li> </ul> <p>【学習機会や活動場所の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習活動のできる場所が不足している。</li> <li>・生涯学習を担うべき市民の講座等、学習機会が少ない。</li> </ul> <p>【活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等が企画する講座の補助金がいづらい</li> <li>・活動団体のPR等、公平な対応をしてほしい</li> </ul> <p>【中高生等の居場所の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の放課後の居場所が限られている</li> </ul> <p>【時代に沿った学習機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習テーマに対してスポット的ではなく、組織的な学習活動を行う。</li> <li>・SDGs学習を取り上げていく。</li> </ul> <p>【生涯学習の担い手支援と活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに学びあい、教えあうような機会を提供する。</li> <li>・パートナーシップカレッジの再開。</li> </ul> <p>【学習する場の整備・工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターを十分に活用する。</li> <li>・空き家・空き室を学習場所として活用する。</li> </ul>	限られた資源と財政状況の中、体育施設の計画的な改修又は修繕を行っていく。

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市には規模が大きい小学校が多い傾向にあると考えられる。今後の推移をとらえながら、引き続き適切な対応が必要である。</li> <li>・朝霞市は引き続き補助教員や支援員を配置し、きめ細かな対応を図っていくことが必要である。</li> </ul>	

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 武道館の今後のあり方の検討が始まっているのに記述がないのは問題。利用しやすい施設の運営で片付けられない課題ではないか。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>武道館を含む社会体育施設につきましては、その殆どが建築年数も古く老朽化していることから、順次改修工事を計画していますが、昨今の経済情勢の悪化により、大規模改修に係る工事費の確保が大変難しい状況です。今後も指定管理者と連携を図りながら、利用者の安全を第一として、必要な箇所について改修・修繕に取り組みながら施設の延命化を図って行きたいと考えます。</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-4-1	歴史や伝統の保護・活用

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	歴史や伝統の保護・活用
前期基本計画 の総括	<p>地域文化財の収集保管・後継者育成支援に加え、市民の文化財に対する保護意識・関心の向上に努める必要がある。</p> <p>【文化財の保護・活用】市民の文化財に対する保護意識の向上に努め、個人所有の歴史的住宅等の保全に対する協力体制を構築する必要がある。</p> <p>【郷土芸能の保護・支援】溝沼獅子舞や根岸野謡など郷土芸能への市民の関心を高めるとともに、後継者養成支援が必要である。</p> <p>【博物館資料活用】適切な地域文化財の調査・収集・保管を実施し、博物館資料として保存していくことが必要である。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>郷土芸能の支援については広報が効果的である。特に全戸配布の広報に記事がのることは効果的。各団体からの要望も多い。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】</p>
--------------------	--

<p>文化によって人間の生存が直接的に維持できるものではないか、内的健康を保つものとして、施策の重要性を認識している。</p>
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)		

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>今後の文化財保護行政の中で、市史編さんについて意見を求めた。</p> <p>(意見) 時間がかかるものなので留意が必要</p> <p>請負業者を入れる場合は地元ではない場合が多いので出版の際に大変なことが多い。</p> <p>前回の市史との違いをどうとるか。</p> <p>新しい史料が出てきている反面、前回の市史編さんの際に調査して古文書が散逸している場合もあるので、確認が必要。</p> <p>考古学については、未報告の遺跡の対処が必要になってくる。</p> <p>資料調査を基礎にするべき。</p> <p>学校現場として使いやすいものが良い。</p> <p>計画の中には、そのままの表記はできないので、うまく入れ込んでもらいたい。</p> <p>市史編さんは実施の予定があるのならやってもらいたい。</p> <p>あとに残るものなので編さんする意味はある。</p> <p>今後の計画の中で位置づけていってもらえればよいと思う。</p>	<p>調査研究成果の公開 公開手段の一つとして、書籍を刊行し、市民や他機関の継続的利用を支援 後日の使用に耐える成果</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>-</p>	<p>-</p>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-4-2	芸術文化の振興

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	芸術文化の振興
前期基本計画 の総括	次世代への芸術文化継承を目的とした、機会提供が求められる。 【芸術文化の活動の充実支援】芸術文化の後世への継承のため、世代間をつなぐ機会の拡充を図る必要がある。 【発表と鑑賞の機会の充実支援】公的機関等のイベントとの調整を図り、発表・鑑賞機会の場所を確保する必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
次世代への芸術文化継承を目的とした、機会提供が求められる。 【芸術文化の活動の充実支援】芸術文化の後世への継承のため、世代間をつなぐ機会の拡充を図る必要がある。 【発表と鑑賞の機会の充実支援】公的機関等のイベントとの調整を図り、発表・鑑賞機会の場所を確保する必要がある。

市民意識調査 (客観的データ)	・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】
--------------------	---

文化協会や活動グループと連携し、市民がより参加しやすい事業開催に努める。また、文化継承のため、次の世代への担い手育成のため、若手活動家の育成に努め、芸術文化の振興を図る。
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【施設の有効的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の予約方法や利用時間帯等、柔軟に対応してほしい</li> <li>・施設の備品等貸出について柔軟に対応してほしい</li> <li>・施設は午前・午後・夜間でなく、時間で貸出する。</li> <li>・広い部屋は、臨機応変にパーティションで仕切るなどして貸出する。</li> </ul> <p>【学習機会や活動場所の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習活動のできる場所が不足している。</li> <li>・生涯学習を担うべき市民の講座等、学習機会が少ない。</li> </ul> <p>【活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等が企画する講座の補助金がいづらい</li> <li>・活動団体のPR等、公平な対応をしてほしい</li> </ul> <p>【中高生等の居場所の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の放課後の居場所が限られている</li> </ul> <p>【時代に沿った学習機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習テーマに対してスポット的ではなく、組織的な学習活動を行う。</li> <li>・SDGs学習を取り上げていく。</li> </ul> <p>【生涯学習の担い手支援と活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに学びあい、教えあうような機会を提供する。</li> <li>・パートナーシップカレッジの再開。</li> </ul> <p>【学習する場の整備・工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターを十分に活用する。</li> <li>・空き家・空き室を学習場所として活用する。</li> </ul>
---------------------	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に公民館などの社会教育施設は、利用について有効的な活用を望む声が多いため、施設の利用方法など調整する必要がある。</li> <li>・引き続き市民のニーズに応えた学習機会の提供、場所の確保のほか、活動団体の支援に努める。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
3-4-3	地域文化によるまちづくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	地域文化によるまちづくり
前期基本計画 の総括	<p>地域意識を形成し、市民が地元へ愛着と誇りを持てるよう、共有できる「彩夏祭」などの地域独自の文化の普及、啓発促進が必要となる。</p> <p>【地域文化の発信】 【地域イベントの支援】 【地域間・都市間交流の推進】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>地域意識を形成し、市民が地元へ愛着と誇りを持てるよう、共有できる「彩夏祭」などの地域独自の文化の普及、啓発促進が必要となる。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「教育・文化」(55件)では、「彩夏祭への期待」、「小学校の生徒数のバラツキ是正」、「教育の充実への期待」、「彩夏祭への不満・改善提案」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>「地域文化」を重要でないと考えている割合が1割を超えている(14.1%)。また、「コミュニティ」においても同様の状況にある(10.6%)。「彩夏祭」のように、多くの期待の声が集まる事業があるため、今後、コミュニティの重要性を周知していくことが重要である。</p>
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市が好きな理由は、「交通の便がよい」の割合が48.2%で最も高く、続いて「イベントやお祭りが多い」(34.0%)、「住んでいる環境やまちなみがよい」(32.0%)となっている。「その他」には、「田舎すぎず、都会すぎず静かで良い」、「駅がきれいで、駅周辺のお店が充実している」などの記述があった。【問3・全体】</p>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>本市が好きな理由のうち、「イベントやお祭りが多い」の割合が3割を上回るなど(約34%)、地域文化がふるさと意識の醸成に大きく寄与している。一方で彩夏祭への不満・提案の声も寄せられており、さらなる充実と改善が求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自治会加入率の低下】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入世帯がなかなかコミュニティに入れない</li> <li>・コミュニティの必要性に欠ける</li> <li>・新規加入世帯が加入していない</li> </ul> <p>【自治会役員のなり手不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会役員のなり手が少ない</li> <li>・町内会役員の負担が多い</li> </ul> <p>【自治会の人員構成と意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の参加機会が少ない</li> <li>・世代間交流が少ない</li> </ul> <p>【自治会の存在意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会等の魅力がない</li> </ul> <p>【商店の衰退】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元のお店が少ない</li> <li>・商店街が廃れていっている</li> <li>・子供を連れては入れるお店が少ない</li> </ul> <p>【小規模起業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人事業所が地元で力を発揮する機会がないのではないかと</li> </ul> <p>【4大イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4大イベントの市民へのPRが少ない</li> </ul> <p>【大規模企業の誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用・活用が不十分</li> </ul> <p>【活性化した町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世帯の町内会への加入メリットを理解する</li> <li>・マンション組織への自治会への加入を義務化</li> </ul> <p>【多様なコミュニティの存在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生社会に向けて多国籍の人の交流の場をつくる</li> </ul> <p>【地元企業の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の農業と飲食店のコラボ</li> <li>・254バイパス周辺地区への企業誘致</li> </ul> <p>【小規模起業家への場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者・女性の起業支援</li> <li>・空き店舗を活用した販売スペースギャラリーの設置</li> <li>・個人事業者とスキルを求める</li> </ul> <p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツなどパブリックビューイングの開催</li> </ul> <p>【朝霞市特性を生かす】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居地域商業地域の区分の整理</li> <li>・朝霞市各コミュニティを現状の1.5倍にする</li> </ul>
---------------------	--

<p>4大イベントの市民へのPRが少ないとの意見があるなど、今後はより一層の普及・啓発が求められている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>		
<p>まちづくりの課題整理</p>		



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○&lt;現状と課題&gt;  ●市民が主役の朝霞市民まつり「彩夏祭」は、コミュニティ協議会加盟団体を中心とした実行委員会が運営する仕組みが確立されています。人口の流入が多い都心のベッドタウンである本市は、ふるさと意識が希薄になりがちで、独自の文化が育ちにくい土壌です。今後のまちづくりにおいては、ふるさと意識を形成し、市民が地元に着と誇りを持つよう、「彩夏祭」、「黒目川花まつり」、「朝霞アートマルシェ」、「どんぶり王選手権」「朝霞の森秋祭り」などの地域イベントに代表される市民が共有できる地域独自の文化を、いかに市民の間に根付かせていくかが課題です。また、図書館を地域文化の発信の拠点だという認識を持って、単に、生涯学習の場所だけでなく、市民の文化活動への支援や市民の啓蒙活動への支援組織としてハード面とソフト面の整備が必要です。</p> <p>&lt;主な取組&gt;  図書館を地域文化の発信の場所として整備する。</p> <p>○ 昨年、第7回を迎え、1万人以上の市民が参加する「朝霞の森 秋まつり」を追加されたい。</p>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <p>4大イベント以外にも様々な地域イベントが開催されるなど、地域独自の文化が育まれており、市民に対するさらなる普及・啓発が求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-1-1	住みよい環境づくりの推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	住みよい環境づくりの推進
前期基本計画 の総括	公園の整備等、生活環境の保全には、市民の意見交換を通じた施策の展開が求められる。また、環境公害に関する苦情への対応策の検討が必要となる。 【自然環境の保全と再生】 【生活環境の保全】 【動植物の適切な保護と管理】

考えられる市民・社会のニーズ
公園の整備等、生活環境の保全には、市民の意見交換を通じた施策の展開が求められる。また、環境公害に関する苦情への対応策の検討が必要となる。

市民意識調査 (客観的データ)	-
市民意識調査 (自由記述)	・「環境・コミュニティ」(37件)では、「自然環境の保護」、「ムクドリ対策強化」、「ごみ分別・収集への改善提案」、「喫煙対策強化」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】

朝霞市に残る「自然環境の保護」やごみ問題の意識が高く、「ムクドリ対策強化」や「喫煙対策強化」では、生活環境に対して改善が求められている。
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来できると思う活動は、「家庭ごみの減量・リサイクル活動」の割合が58.3%で最も高く、続いて「まちの美化・緑化活動」(43.6%)、「自然や環境を守る活動」(34.0%)となっている。「その他」には、「何に役立てるかわからない」などの記述があった。【問7・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>朝霞市に残る「自然環境の保護」や「自然環境の拡充」への意識が高く、「ポイ捨て対策」や「ムクドリ対策強化」では、生活環境に対して改善が求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑が豊かである。(朝霞は、畑、田んぼ、緑や川が3本も流れており、豊かだが、マンションや住宅になっていく)</li> <li>・今ある緑地の保全の推進をしていく</li> </ul> <p>【ごみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別(いろいろな材料が混在したり、汚れていたり、汚れていなかったりで、出す日が違うなど、判断が難しい。)</li> <li>・燃やすだけの処理方法はどうか。(燃やしてしまうと、焼却灰になってしまう)</li> <li>・集積所の管理を適切に(ごみ当番や管理が、特定の人に偏らないように)</li> </ul> <p>【生き物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様(たぬき、アライグマなど)な生き物が多い</li> <li>・駅前のムクドリ対策</li> </ul> <p>【動物との共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットから、野良にならない方策(ペットなど飼っていた動物が、野良にならないような方策)</li> </ul> <p>【ごみの減量・リサイクル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で、集積所の管理</li> </ul>
---------------------	---

<p>本市の魅力である豊かな自然環境を保全する大切さや多様な生物との共生が求められている。</p>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>○自然環境の保全 ○動植物の適切な保護と管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリ、クビアカツヤカミキリなどの特定外来の名前や実態が、わからない。市民に対する周知が必要。</li> <li>・最近温暖化のためか、川で熱帯魚も見受けられる。外来種の動物は、決して外に放さないという周知も必要。</li> <li>・植物であれば、公共で管理されている場所（花壇等）については、外来植物は避け在来種を植えて欲しい。</li> <li>・公用地の草刈りなどについては、例えばイネ科の植物が実（種）が出来てから刈り取ると、広範囲に繁殖を促してしまうことがあるので時期についてはよく検討して欲しい。</li> <li>・朝霞に残る斜面林などをなるべく保全していきたい。本来、あるべき姿の「自然」について、周知、啓発が必要。</li> </ul> <p>○生活環境の保全について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道東京朝霞線（陸上自衛隊朝霞駐屯地前）は、市境がはっきりわかるほど、朝霞側のみ雑草の繁茂がひどく、防犯上も危険なので、オリンピックを機に改善するかもしれないが、対応して欲しい。</li> <li>・電気、水道、ガスの節約やプラスチックゴミの減量について、また緑化保全など、市民への啓発が重要。</li> <li>・ヘリコプターの騒音（自衛隊）が最近多いように感じるがどうしたらよいか。</li> <li>・防災行政無線は全く内容が聞き取れないのでどうにかして欲しい。</li> <li>・ブロック塀の対策はすすんでいるのか、市内のブロック塀が早く生垣に代わって安全なまちになって欲しい。</li> </ul> <p>⇒「生活環境」となると、環境推進課の範疇に限らず、庁内のあらゆる部署に及ぶため、横の情報共有、連携が重要と思われた。</p>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <p>動植物の適切な保護と管理では、外来種への対策や適切な管理が求められている。また、自然環境の保全に関する市民への啓発が求められている。</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 朝霞基地跡地の緑の森の写真がマンションの宣伝によく使われています。「基地跡地の広大な緑地空間の保全と再生」も加えてください。</p> <p>○ 市内では宅地開発も進んでマンションや新築の戸建て住宅が増えているが、多くの豊かな自然が残されている。特に、基地跡地には豊かな自然が残されている。都市部には珍しい巨樹を含む樹林があり、多くの鳥が訪れている。『基地跡地の再生と保全』を加えて下さい。 また、多くの昆虫が光害で絶滅の危機に瀕しています。『河川や雑木林での光害対策』を加えて下さい。</p> <p>○ 第5章「都市基盤・産業振興」大柱3「緑・景観・環境共生」中柱1「まちの骨格となる緑づくり」の取り組みとの重なり合う部分があるため、双方の取り組みをどのように切り分けながらも連携させていくか検討する必要があると考えます。</p> <p>○ &lt;現状と課題&gt; ●本市の魅力である快適で住みよい環境を形成してきた黒目川などの河川や、雑木林、段丘斜面林などの自然環境をこれからも保全する必要があります。特に、市の中心に位置している基地跡地の自然環境は、将来「都市林」として保全する長期計画が必要です。また、安全安心の生活環境を保全するため、本市における水質、大気などの状況を継続的に捉えるとともに、騒音、振動、悪臭などの公害対策も引き続き取り組んでいく必要があります。また、ペットの適正飼育や動植物の保護管理、有害鳥獣・害虫などからの被害対応など、多様な生物と市民が共生するための対応が必要となります。</p> <p>&lt;主な取組&gt; 自然環境の保全と再生 水とみどりと土（土壌）の保全 生活環境の保全 動植物の適切な保護と管理</p> <p>○ 主な取組で、景観計画の活用なども書き込むべきではないか。環境対策と景観政策が協力しあい、活用できる制度を補完しあうことが必要。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>基地跡地など市街地に残された自然環境の保全と再生が求められている。環境対策においても、景観計画を活用し、お互いに補完しあうことが求められている。</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-1-2	低炭素・循環型社会の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	循環型社会の推進 低炭素社会の推進
前期基本計画 の総括	<p>【環境に配慮した取組の推進】市民のリサイクル意識醸成のため、3Rの実施を促すだけでなく、日々のライフスタイルを見直す契機となる情報発信を行政が先導的に実施する必要がある。</p> <p>【温室効果ガスの抑制の推進】財政状況を考慮した、継続可能な省エネ体制を構築し、エネルギー使用量の削減に努める必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【環境に配慮した取組の推進】市民のリサイクル意識醸成のため、3Rの実施を促すだけでなく、日々のライフスタイルを見直す契機となる情報発信を行政が先導的に実施する必要がある。</p> <p>【温室効果ガスの抑制の推進】財政状況を考慮した、継続可能な省エネ体制を構築し、エネルギー使用量の削減に努める必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑が豊かである。(朝霞は、畑、田んぼ、緑や川が3本も流れており、豊かだが、マンションや住宅になっていく)</li> <li>・今ある緑地の保全の推進をしていく</li> </ul> <p>【ごみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別(いろいろな材料が混在したり、汚れていたり、汚れていなかったりで、出す日が違うなど、判断が難しい。)</li> <li>・燃やすだけの処理方法はどうか。(燃やしてしまうと、焼却灰になってしまう)</li> <li>・集積所の管理を適切に(ごみ当番や管理が、特定の人に偏らないように)</li> </ul> <p>【生き物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様(たぬき、アライグマなど)な生き物が多い</li> <li>・駅前のムクドリ対策</li> </ul> <p>【動物との共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットから、野良にならない方策(ペットなど飼っていた動物が、野良にならないような方策)</li> </ul> <p>【ごみの減量・リサイクル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で、集積所の管理</li> </ul>	<p>身近なごみの問題について、市民は高い関心を持っていることがうかがえる。3Rの推進、ごみ集積場の自主管理など、ごみに関する基本的な考え方を啓発などにより周知し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていく必要がある。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>低炭素社会の推進における民間の事業者として実施している温暖化対策への取り組みについて申し上げますと、事業所各フロアの電球のLED化及び空調等を含めた機器を新しいものへの順次交換、3フロア以内のエレベーターの不使用による省エネ対策、夏季におけるエアコン使用においては、室内設定温度28度を目安するとともに、冷蔵庫の使用禁止を従業員等に周知されています。また、電気ポットの廃止や事業所で所有している車をハイブリット車に切り替えを行っているなど、様々な対策を実施することにより、温室効果ガスの排出抑制に積極的に取り組んでいます。</p> <p>なお、朝霞市では、職員自らが事務事業の実施に伴い排出される温室効果ガスの抑制、削減の取り組みとして、第3次朝霞市地球温暖化対策実施計画を策定されていますが、今後については、市域全体としての計画を策定することにより、深刻化している地球温暖化に対して、民間の事業所等を含めた全体としての計画が必要であると考えます。</p>	<p>地球温暖化対策として、市域全体での計画が求められている。</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>-</p>	<p>-</p>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 住民自ら二酸化炭素排出量削減に貢献したことが分かるように、公共施設や市当局の二酸化炭素排出量の数値だけではなく、市全体での二酸化炭素排出量の算定と公表を検討してほしいです。</p> <p>○&lt;現状と課題&gt; 環境に付加を与えない社会を構築するためには、市民・事業者・行政が共通認識の下、相互に連携を深め、環境に付加を与えない活動を推進するとともに、気候変動の原因となり得る化石エネルギーの大量消費の抑制に取り組むことが必要となります。</p> <p>&lt;主な取組&gt; 環境に配慮して取組の推進 化石エネルギーの大量消費抑制の推進</p> <p>(コメント) 温室効果ガスとは、暗黙には二酸化炭素ガスが想定されていると思いますが、温室効果ガスは、二酸化炭素ガスだけでなく、水蒸気やメタンは二酸化炭素ガス以上の温室効果を持っている温室効果ガスです。しかも、水蒸気は二酸化炭素ガスの50倍も空気中に存在しています。これらも抑制することが想定されているとは思えませんので、化石エネルギーの大量消費の抑制の方がいいと思います。これは、同時にプラスチック使用の抑制にも繋がります。また、エコロジー（生態学）の意味でのエコでもあります。 また、みどりの基本計画には、「温暖化防止」ではなく「気候変動の緩和」の文言が使われています。整合性に留意して下さい。</p>	<p>二酸化炭素排出削減への住民の貢献度が分かるように、市全体での排出量の算定と公共が求められている。 市が策定する個別計画での文言の統一が求められている。</p>
職員コメント	<p>現状と課題について 「環境に負荷を与えない社会」 ⇒環境への負荷を低減する社会 ※負荷ゼロはありえるのか また、現状の記載がありません。</p>	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-1-3	環境教育・環境学習の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	環境教育・環境学習の推進
前期基本計画 の総括	市民の環境意識を喚起させるような情報発信を、行政が先導的に実施する必要がある。 【市民などの環境意識の高揚】 【環境美化の推進】

考えられる市民・社会のニーズ
市民の環境意識を喚起させるような情報発信を、行政が先導的に実施する必要がある。

市民意識調査 (客観的データ)	-
市民意識調査 (自由記述)	-

-
-

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑が豊かである。(朝霞は、畑、田んぼ、緑や川が3本も流れており、豊かだが、マンションや住宅になっていく)</li> <li>・今ある緑地の保全の推進をしていく</li> </ul> <p>【ごみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別(いろいろな材料が混在したり、汚れていたり、汚れていなかったりで、出す日が違うなど、判断が難しい。)</li> <li>・燃やすだけの処理方法はどうなのか。(燃やしてしまうと、焼却灰になってしまう)</li> <li>・集積所の管理を適切に(ごみ当番や管理が、特定の人に偏らないように)</li> </ul> <p>【生き物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様(たぬき、アライグマなど)な生き物が多い</li> <li>・駅前のムクドリ対策</li> </ul> <p>【動物との共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットから、野良にならない方策(ペットなど飼っていた動物が、野良にならないような方策)</li> </ul> <p>【ごみの減量・リサイクル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で、集積所の管理</li> </ul>	<p>ごみの集積所の管理や分別の難しさが課題となっている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>○自然環境の保全 ○動植物の適切な保護と管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリ、クビアカツヤカミキリなどの特定外来の名前や実態が、わからない。市民に対する周知が必要。</li> <li>・最近温暖化のためか、川で熱帯魚も見受けられる。外来種の動物は、決して外に放さないという周知も必要。</li> <li>・植物であれば、公共で管理されている場所（花壇等）については、外来植物は避け在来種を植えて欲しい。</li> <li>・公用地の草刈りなどについては、例えばイネ科の植物が実（種）が出来てから刈り取ると、広範囲に繁殖を促してしまうことがあるので時期についてはよく検討して欲しい。</li> <li>・朝霞に残る斜面林などをなるべく保全していきたい。本来、あるべき姿の「自然」について、周知、啓発が必要。</li> </ul> <p>○生活環境の保全について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道東京朝霞線（陸上自衛隊朝霞駐屯地前）は、市境がはっきりわかるほど、朝霞側のみ雑草の繁茂がひどく、防犯上も危険なので、オリンピックを機に改善するかもしれないが、対応して欲しい。</li> <li>・電気、水道、ガスの節約やプラスチックゴミの減量について、また緑化保全など、市民への啓発が重要。</li> <li>・ヘリコプターの騒音（自衛隊）が最近多いように感じるがどうしたらよいか。</li> <li>・防災行政無線は全く内容が聞き取れないのでどうにかして欲しい。</li> <li>・ブロック塀の対策はすすんでいるのか、市内のブロック塀が早く生垣に代わって安全なまちになって欲しい。</li> </ul> <p>⇒「生活環境」となると、環境推進課の範疇に限らず、庁内のあらゆる部署に及ぶため、横の情報共有、連携が重要と思われた。</p>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <p>外来の動植物への対策が求められている。 斜面林などの保全が求められている。 資源の有効利用及び緑の保全などの啓発が求められている。</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○＜現状と課題＞</p> <p>●市全体の環境保全に向けて、市民一人ひとりの身近な環境への配慮が重要であり、環境保全への理解を進めることが必要となります。これには、水とみどりと土（土壌）の大切さを浸透させることが必要となります。また、生き物の多様性の保全にむけて、生き物の生活空間を極力破壊しない方策を検討する必要があります。</p>	<p>市民一人ひとりの身近な環境への配慮が重要で、水とみどりと土の大切さを浸透させ、環境保全への理解を進めることが求められている。生き物の生活空間の維持が求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-2-1	ごみの減量・リサイクルの推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	ごみの減量・リサイクルの推進
前期基本計画 の総括	<p>医療廃棄物の適正排出について、市民・医療機関に啓発することに加え、時代の変化やニーズに応じ、環境への配慮や処理経費を考慮した適切な処理方法を検討する必要がある。</p> <p>【排出抑制の推進】 【資源化の推進】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>医療廃棄物など、適正な処理が必要なものの排出については、市民や医療機関への啓発と併せ、より適切な処理方法について検討する必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が高く、5割を超えている取組は、「ごみ処理」(71.2%)、「市街地整備」(55.7%)、「保健・医療」(52.7%)の3項目である。【問12・満足度・全体】</p> <p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「環境・コミュニティ」(37件)では、「自然環境の保護」、「ムクドリ対策強化」、「ごみ分別・収集への改善提案」、「喫煙対策強化」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>市民の意識調査では、ごみ処理の分野について70以上の人が満足していると回答している。また、90%以上の人が重要視しているとも回答しており、市民が市に期待する役割の中でも、重要な取組と認識されている分野であると考えられる。</p>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・将来できると思う活動は、「家庭ごみの減量・リサイクル活動」の割合が58.3%で最も高く、続いて「まちの美化・緑化活動」(43.6%)、「自然や環境を守る活動」(34.0%)となっている。「その他」には、「何に役立てるかわからない」などの記述があった。【問7・全体】</p>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>青少年は、身近なごみ問題で貢献できる可能性があるとの意識を持っており、その意識をうまく実際の活動につなげていく必要があると考えられる。青少年の自発的な活動を促す仕掛けづくりなどが求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑が豊かである。(朝霞は、畑、田んぼ、緑や川が3本も流れており、豊かだが、マンションや住宅になっていく)</li> <li>・今ある緑地の保全の推進をしていく</li> </ul> <p>【ごみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別(いろいろな材料が混在したり、汚れていたり、汚れていなかったりで、出す日が違うなど、判断が難しい。)</li> <li>・燃やすだけの処理方法はどうか。(燃やしてしまうと、焼却灰になってしまう)</li> <li>・集積所の管理を適切に(ごみ当番や管理が、特定の人に偏らないように)</li> </ul> <p>【生き物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様(たぬき、アライグマなど)な生き物が多い</li> <li>・駅前のムクドリ対策</li> </ul> <p>【動物との共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットから、野良にならない方策(ペットなど飼っていた動物が、野良にならないような方策)</li> </ul> <p>【ごみの減量・リサイクル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で、集積所の管理</li> </ul>
---------------------	---

<p>身近なごみの問題について、市民は高い関心を持っていることがうかがえる。3Rの推進、ごみ集積場の自主管理など、ごみに関する基本的な考え方を啓発などにより周知し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていく必要がある。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング	別紙4に記載(321ページ)	生ごみの資源化について、資源循環社会の視点からの取り組みが求められている。また、ごみ収集方法の改善についても多くの意見が寄せられており、関心の高さがうかがえる。今後、ごみ収集の広域化についても検討していくこととなっており、改善のよい機会と捉えて、種々検討を行う必要があると考えられる。
まちづくりの課題整理	-	-



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-2-2	ごみ処理体制の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	ごみ処理体制の充実
前期基本計画 の総括	和光市とのごみ処理広域化に向け、新施設稼働までの期間、適切な維持管理により支障なく運転管理を実施する必要がある。  【収集・運搬の充実】 【計画的な施設整備の推進】

考えられる市民・社会のニーズ
ごみ処理広域化による新施設稼働開始までの間、計画的な工事により、現在の施設を安定的に稼働させる必要がある。

市民意識調査 (客観的データ)	・「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が高く、5割を超えている取組は、「ごみ処理」(71.2%)、「市街地整備」(55.7%)、「保健・医療」(52.7%)の3項目である。【問12・満足度・全体】 ・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。【問12・重要度・全体】
市民意識調査 (自由記述)	・「環境・コミュニティ」(37件)では、「自然環境の保護」、「ムクドリ対策強化」、「ごみ分別・収集への改善提案」、「喫煙対策強化」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】

市民の意識調査では、ごみ処理の分野について70%以上の人が満足していると回答している。また、90%以上の人が重要視しているとも回答しており、市民が市に期待する役割の中でも、重要な取組と認識されている分野であると考えられる。
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
-

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑が豊かである。(朝霞は、畑、田んぼ、緑や川が3本も流れており、豊かだが、マンションや住宅になっていく)</li> <li>・今ある緑地の保全の推進をしていく</li> </ul> <p>【ごみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別(いろいろな材料が混在したり、汚れていたり、汚れていなかったりで、出す日が違うなど、判断が難しい。)</li> <li>・燃やすだけの処理方法はどうなのか。(燃やしてしまうと、焼却灰になってしまう)</li> <li>・集積所の管理を適切に(ごみ当番や管理が、特定の人に偏らないように)</li> </ul> <p>【生き物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様(たぬき、アライグマなど)な生き物が多い</li> <li>・駅前のムクドリ対策</li> </ul> <p>【動物との共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットから、野良にならない方策(ペットなど飼っていた動物が、野良にならないような方策)</li> </ul> <p>【ごみの減量・リサイクル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で、集積所の管理</li> </ul>
---------------------	---

<p>身近なごみの問題について、市民は高い関心を持っていることがうかがえる。3Rの推進、ごみ集積場の自主管理など、ごみに関する基本的な考え方を啓発などにより周知し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていく必要がある。</p>
--

項目	意見等の内容
キーパーソン・ ミーティング	別紙4に記載(321ページ)

考えられる市民・社会のニーズ
生ごみの資源化について、資源循環社会の視点からの取り組みが求められている。また、ごみ収集方法の改善についても多くの意見が寄せられており、関心の高さがうかがえる。今後、ごみ収集の広域化についても検討していくこととなっており、改善のよい機会と捉えて、種々検討を行う必要があると考えられる。

まちづくりの 課題整理	-
----------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 和光市とのごみ処理広域化について住民に周知すること、それまでの市の施設の安定稼働と維持管理に理解と協力を求めることを盛り込んでもらいたいです。</p> <p>○&lt;主な取組&gt;  収集・運搬の充実  ゴミ収集の当番制の廃止の検討  計画的な施設整備の推進</p> <p>(コメント)  現状のゴミ収集の方式は、町内会によって異なるとは思いますが、大体は「当番制」になっているようです。この当番制には、いくつか問題点があります。ひとつは、核家族化した家庭で、遠隔地に親族がいる場合、ゴミ当番の間は、たとえ遠くの親族に用事があっても泊まり掛けの移動が出来ません。この場合、当番を代わってもらうにしても、どうしても一方的な依頼になってしまい、お互いの助け合いの関係にはなりません。もうひとつは、管理人のいないアパートの一人住まいでは、ほとんど当番を避ける場合が多いようですが、強制的に当番にするわけにはいきません。そこで、個人の当番制ではなく、行政が収集場所に時間を決めて収集容器等を配り、その後、回収をしていただきたく方式を検討していただきたく思います。この方式は、他の自治体でも行っているところもあると聞いています。</p>	<p>ごみ処理広域化について、さらに広報を進めていくことが求められている。また、ごみ集積所の自主管理について、今一度啓発を行うことも必要と考えられる。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-3-1	コミュニティ活動の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	コミュニティ活動の推進
前期基本計画 の総括	<p>地域意識の希薄化や市民の価値観の多様化、自治会・町内会が抱える課題などの動向を注視し、関係機関と連携を密にし、自治会・町内会の負担軽減や活動しやすい環境づくりを進めることが必要となる。</p> <p>【コミュニティづくりの推進】 【コミュニティ活動の活性化】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>地域意識の希薄化や市民の価値観の多様化、自治会・町内会が抱える課題などの動向を注視し、関係機関と連携を密にし、自治会・町内会の負担軽減や活動しやすい環境づくりを進めることが必要となる。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・近所との日頃の付き合いは、「会えばあいさつ程度はする」の割合が54.4%で最も高く、続いて「会えば立ち話をする」(21.3%)、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」(11.9%)となっている。【問4・全体】</p> <p>・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	-

<p>近所との日頃の付き合いは、あいさつ程度の付き合いは半数以上があるものの、親しく付き合っている割合が約1割にとどまるとともに、重要視していない割合も約1割と高い状況にある。</p> <p>一方で、人口減少・少子高齢化対策として、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」が38%を超えるなど、必要な要素であると考えられている。</p>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の地域との関わりは、「近所の人とあいさつをしている」の割合が80.4%で最も高く、続いて「近所の人と顔見知りである」(63.3%)となっている。「その他」には、「関わりを持っていない」などの記述があった。【問8・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>日頃の地域との関わりは、あいさつをする割合が8割を超えるとともに、近所の人と顔見知りである割合も6割を超える。一方で、関わりを持っていないとの回答もあるなど、より一層のコミュニティへの参加機会の創出が求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治会加入率の低下】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入世帯がなかなかコミュニティに入れない</li> <li>・コミュニティの必要性に欠ける</li> <li>・新規加入世帯が加入していない</li> </ul> </li> <li>【自治会役員のなり手不足】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会役員のなり手が少ない</li> <li>・町内会役員の負担が多い</li> </ul> </li> <li>【自治会の人員構成と意識】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の参加機会が少ない</li> <li>・世代間交流が少ない</li> </ul> </li> <li>【自治会の存在意義】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会等の魅力がない</li> </ul> </li> <li>【商店の衰退】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元のお店が少ない</li> <li>・商店街が廃れていっている</li> <li>・子供を連れては入れるお店が少ない</li> </ul> </li> <li>【小規模起業】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人事業所が地元で力を発揮する機会がないのではないか</li> </ul> </li> <li>【4大イベント】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4大イベントの市民へのPRが少ない</li> </ul> </li> <li>【大規模企業の誘致】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用・活用が不十分</li> </ul> </li> <li>【活性化した町内会】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世帯の町内会への加入メリットを理解する</li> <li>・マンション組織への自治会への加入を義務化</li> </ul> </li> <li>【多様なコミュニティの存在】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生社会に向けて多国籍の人の交流の場をつくる</li> </ul> </li> <li>【地元企業の活用】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の農業と飲食店のコラボ</li> </ul> </li> </ul>
---------------------	--

<p>人口の流出入が多い都心のベッドタウンである本市においては、転入世帯がコミュニティに入る機会の創出が求められている。特に、若い世帯やマンション組織の加入促進に向けて取り組む必要がある。また、自治会役員の負担が多いことから、担い手が不足しており、自治会・町内会への幅広い支援が求められている。</p>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング	別紙5に記載（324ページ）	
まちづくりの課題整理	<p>・自治会・町内会活動の経年比較において、「積極的に活動している」と「加入しているが活動はしていない」の割合は、減少傾向にあるが、一方、「加入してはいるが関心はある」の割合は、令和元年度は増加に転じていることから、加入率の向上や担い手不足の解消のため、自治会・町内会活動のより積極的なPRが求められる。</p>	<p>自治会・町内会に加入し、活動している割合が減少傾向にある一方で、加入してはいるが関心がある割合が増加に転じていることから、加入率の向上や担い手不足の解消のため、自治会・町内会活動のより積極的なPRが求められている。</p>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動施設の充実の一環として、空き家を活動場所として利用できるように、市が所有者と履行希望団体とをマッチングすることを求めます。</li> <li>○ 自治会・町内会等の活動を担う方たちの高齢化問題、世代交代の円滑な仕組み作りなどを追記されたい。</li> <li>○ 住民に多様な家族のあり方や生き方に関する知識と理解を深める機会を作り、互いに尊重しあって生きることのできる地域社会を目指す取り組みを求めます。</li> <li>○ 地縁型組織に加え、目的別組織である市民活動団体を位置づけたことは評価したい。一方で、地域福祉の推進、地域包括ケアの推進、防災活動の推進、その他様々な市民生活の詳細な課題解決のために市民活動団体を育成するために、人的資源を仲介したり、ノウハウを提供したりする支援機能が弱く、市民活動支援センターの運営の抜本的な改革が求められるのではないか。市民活動団体の支援機能の強化に関して、具体的な対応策が必要ではないか。</li> </ul>	<p>自治会・町内会の役員の高齢化や次世代の育成などについて、個別の事情や状況に合わせて柔軟で丁寧な対応が求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-3-2	活動施設の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	活動施設の充実
前期基本計画 の総括	【コミュニティ施設の利用促進】新規利用者を開拓し、利用率の向上および広く地域コミュニティの場として機能させることが求められる。

考えられる市民・社会のニーズ
【コミュニティ施設の利用促進】地域意識の希薄化や市民の価値観の多様化、自治会・町内会が抱える課題などの動向を注視し、関係機関と連携を密にし、自治会・町内会の負担軽減や活動しやすい環境づくりを進めることが必要となる。

市民意識調査 (客観的データ)	・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】 ・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】
--------------------	--

「コミュニティ」を重要視していない割合が1割を超えている。一方で、人口減少・少子高齢化対策において、地域づくりは必要な要素であると考えられている(38.3%)。
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自治会加入率の低下】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入世帯がなかなかコミュニティに入れない</li> <li>・コミュニティの必要性に欠ける</li> <li>・新規加入世帯が加入していない</li> </ul> <p>【自治会役員のなり手不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会役員のなり手が少ない</li> <li>・町内会役員の負担が多い</li> </ul> <p>【自治会の人員構成と意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の参加機会が少ない</li> <li>・世代間交流が少ない</li> </ul> <p>【自治会の存在意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会等の魅力がない</li> </ul> <p>【商店の衰退】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元のお店が少ない</li> <li>・商店街が廃れていっている</li> <li>・子供を連れては入れるお店が少ない</li> </ul> <p>【小規模起業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人事業所が地元で力を発揮する機会がないのではないか</li> </ul> <p>【4大イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4大イベントの市民へのPRが少ない</li> </ul> <p>【大規模企業の誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用・活用が不十分</li> </ul> <p>【活性化した町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世帯の町内会への加入メリットを理解する</li> <li>・マンション組織への自治会への加入を義務化</li> </ul> <p>【多様なコミュニティの存在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生社会に向けて多国籍の人の交流の場をつくる</li> </ul> <p>【地元企業の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の農業と飲食店のコラボ</li> </ul>	<p>人口の流入が多い都心のベッドタウンである本市においては、転入世帯がコミュニティに入る機会の創出が求められている。転入世帯や若い世帯をはじめ、だれでも利用しやすい施設の管理運営が求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング	別紙5に記載（324ページ）	
まちづくりの 課題整理		

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	

考えられる市民・社会のニーズ

職員コメント	<p>現状と課題 現状の記載がないがよろしいか。</p>
--------	----------------------------------

<p>市民センター、コミュニティセンター及び市民会館は、利用実績などから、コミュニティ活動の場として一定の成果を挙げているものと考えられる。この点を踏まえ、「今後も利用しやすい施設として活用し、老朽化する施設を適切に維持管理することが課題」との記載内容としている。</p>
--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-4-1	市民活動への支援

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	市民活動への支援
前期基本計画 の総括	<p>市民活動の周知・啓発活動を促進するとともに、支援する側のスキル向上を図り、様々なニーズに対応する団体育成・活動支援の実施が求められる。</p> <p>【市民活動の育成支援】 【市民活動の担い手育成】 【市民活動への参加促進】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>地域の課題解決に向けて、市民活動が担う役割は多く、今後も団体への支援を行いながら、活動を支える人材の発掘や育成を図り、より多くの方に参加してもらうことが必要である。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・コミュニティ活動への参加は、「積極的に活動している」の割合は「自治会・町内会活動」が10.5%で最も高く、続いて「清掃奉仕や福祉ボランティア活動」(10.3%)となっている。また、「加入しているが活動はしていない」の割合も「自治会・町内会活動」が34.7%で最も高い。「現在、加入してはいるが関心はある」の割合は「祭りや大会などの地域行事活動」が41.4%で最も高く、続いて「スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動」(40.2%)、「音楽・舞踊などの文化芸術活動」(34.8%)となっている。【問5・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
--------------------	---

<p>地域行事など、市民活動に関心を持っている割合は高い。地域活動を通じて、社会に貢献し、自分の生きがいを持てる地域づくりとなるよう、市民活動の輪を広げることが必要である。</p>
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治会加入率の低下】</li> <li>・転入世帯がなかなかコミュニティに入れない</li> <li>・コミュニティの必要性に欠ける</li> <li>・新規加入世帯が加入していない</li>   <li>【自治会役員のなり手不足】</li> <li>・町内会役員のなり手が少ない</li> <li>・町内会役員の負担が多い</li>   <li>【自治会の人員構成と意識】</li> <li>・若者の参加機会が少ない</li> <li>・世代間交流が少ない</li>   <li>【自治会の存在意義】</li> <li>・自治会等の魅力がない</li>   <li>【商店の衰退】</li> <li>・地元のお店が少ない</li> <li>・商店街が廃れていっている</li> <li>・子供を連れては入れるお店が少ない</li>   <li>【小規模起業】</li> <li>・個人事業所が地元で力を発揮する機会がないのではないか</li>   <li>【4大イベント】</li> <li>・4大イベントの市民へのPRが少ない</li>   <li>【大規模企業の誘致】</li> <li>・土地利用・活用が不十分</li>   <li>【活性化した町内会】</li> <li>・若い世帯の町内会への加入メリットを理解する</li> <li>・マンション組織への自治会への加入を義務化</li>   <li>【多様なコミュニティの存在】</li> <li>・多文化共生社会に向けて多国籍の人の交流の場をつくる</li>   <li>【地元企業の活用】</li> <li>・地元の農業と飲食店のコラボ</li> </ul>	

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	別紙5に記載（324ページ）

考えられる市民・社会のニーズ
<p>団体相互の連携・交流が図れる交流会のニーズが高い（参加者からのアンケート結果で9割）。また、団体が抱える問題・課題を把握・整理し、ニーズに合った支援が求められている。</p>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○市民活動団体の抱える問題・課題の把握・整理し、市民活動推進方針あるいは計画の作成 市民活動の支援策はいくつか用意されていますが、ニーズを十分に踏まえておらず、体系的になっていないとともに、量も不足しています。</p> <p>○市民活動支援の基準の作成 団体に対する支援が、職員によって異なっていますので、統一的な基準を提示してください。</p> <p>○市民活動支援の補助金の使いやすさの向上 4月の活動が対象になっていませんので改善してください。自治体によっては、4月の活動も対象にできるような措置を講じています。</p> <p>○ 市民活動団体と関係する行政部門との意見交換の場を設け、協働の拡大を検討していくを追記されたい。</p>	<p>団体が抱える問題・課題を把握・整理し、ニーズに合った支援を行うことが求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
4-4-2	市民活動環境の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	市民活動環境の充実
前期基本計画 の総括	【利用しやすい施設】市民活動の拠点の場として、市民活動支援ステーション・シニア活動センターを、より多くの方に利用していただけるように、施設内の設備、備品等の適切な維持管理に努め、市民活動の一層の活性化を図る。

考えられる市民・社会のニーズ
市民活動の拠点の場として、様々なニーズに対応できるように支援する側の資質向上を図るなど、市民活動の一層の活性化が求められている。

市民意識調査 (客観的データ)	・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠前から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】
市民意識調査 (自由記述)	-

地域活動を通じて社会に貢献し、自分の生きがいを持てる地域づくりとなるよう、市民活動の輪を広げることが必要である。
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【自治会加入率の低下】</li> <li>・転入世帯がなかなかコミュニティに入れない</li> <li>・コミュニティの必要性に欠ける</li> <li>・新規加入世帯が加入していない</li>   <li>【自治会役員のなり手不足】</li> <li>・町内会役員のなり手が少ない</li> <li>・町内会役員の負担が多い</li>   <li>【自治会の人員構成と意識】</li> <li>・若者の参加機会が少ない</li> <li>・世代間交流が少ない</li>   <li>【自治会の存在意義】</li> <li>・自治会等の魅力がない</li>   <li>【商店の衰退】</li> <li>・地元のお店が少ない</li> <li>・商店街が廃れていっている</li> <li>・子供を連れては入れるお店が少ない</li>   <li>【小規模起業】</li> <li>・個人事業所が地元で力を発揮する機会がないのではないか</li>   <li>【4大イベント】</li> <li>・4大イベントの市民へのPRが少ない</li>   <li>【大規模企業の誘致】</li> <li>・土地利用・活用が不十分</li>   <li>【活性化した町内会】</li> <li>・若い世帯の町内会への加入メリットを理解する</li> <li>・マンション組織への自治会への加入を義務化</li>   <li>【多様なコミュニティの存在】</li> <li>・多文化共生社会に向けて多国籍の人の交流の場をつくる</li>   <li>【地元企業の活用】</li> <li>・地元の農業と飲食店のコラボ</li> </ul>	

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング	別紙5に記載（324ページ）	団体相互の連携・交流が図れる交流会のニーズが高い（参加者からのアンケート結果で9割）。また、団体が抱える問題・課題を把握・整理し、ニーズに合った支援が求められている。
まちづくりの課題整理		

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館など市民活動の場所の拡充と使いやすさの改善 市主催のイベントの場合は、かなり前から公民館などの予約ができるのに対して、市民団体の予約期間が限定されており、数か月にわたる一連の活動の場所を確保することができない状況がありますので。</li> <li>○市民活動ステーションの事業の見直しと充実 特に、利用者懇談会・意見交換会（分野別）の実施と相談機能の充実。</li> <li>○ 「会議室の拡充整備」を追記する。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>団体相互の連携・交流が図れる交流会の他、相談機能の充実などが求められている。</p> <p>仮予約期間を現在よりも長くする場合、仮予約開始日をもっと早くする方法が想定されますが、利用団体の中には数か月先の活動予定が決まっていない団体もあり仮予約日程をおおまかに数多く押さえることなどが行われますと利用希望日時が重なるケースが増え、仮予約による空き日程も少なくなってしまうことが懸念されます。このことから、現行の仮予約期間が適切と考えており、利用者の理解も得られ定着していることから、仮予約期間を延長することは難しいものと考えております。</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-1-1	市街地の適正な利用

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	市街地の適正な利用
前期基本計画 の総括	都市計画や開発に関する各種制度の動向に注視しつつ、市街地と自然環境との調和を図りながら適切な土地利用が行われるようにしていく必要がある。  【住宅系利用】 【商業・業務系利用】 【工業系利用】

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画や開発に関する各種制度の動向に注視しつつ、市街地と自然環境との調和を図りながら適切な土地利用が求められている。</li> <li>【住宅系利用】</li> <li>・地域に応じた良好な住環境が求められている。</li> <li>【商業・工業系】</li> <li>・駅周辺など拠点となる地区においては買い物や交流の場などの機能充実が求められている。</li> <li>【工業系】</li> <li>・工業生産活動の維持や利便を増進する土地利用が求められている。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	・「やや不満である」と「不満である」を合わせた割合が高く、2割を超えている取組は、「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)の2項目である。【問12・満足度・全体】
--------------------	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の約2割(23.0%)が「土地利用」に不満を感じている。</li> </ul>
---

市民意識調査 (自由記述)	・「都市基盤・産業振興」(195件)では、「道路整備」、「公共交通(バス)の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】
------------------	--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市基盤・産業振興について99件の意見が寄せられ、土地利用関係は「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」などが求められている。</li> </ul>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)
---------------------	----------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みに統一性のあるまちが求められている。</li> <li>・自然環境にやさしい住宅の多いまちが求められている。</li> <li>・安心、安全なまちが求められている。</li> <li>・住宅環境の改善が求められている。</li> <li>・まちの魅力づくりが求められている。</li> <li>・魅力を活かした景観が求められている。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>(都市計画道路岡通線の事業認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催に当たっては、十分な周知を行ってほしい。</li> <li>・自転車道の整備予定など、市民の関心がありそうなことは、住民説明会で説明を行った方が良い。</li> </ul> <p>(景観づくり重点地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを公園通りで進めることが市民の方に景観づくりを理解していただくよい契機となる。</li> <li>・民有地を重点地区に指定することについて、指定後の維持管理を含めて、合意形成を進めた方が良い。</li> <li>・重点地区に対する市民の理解が必要不可欠である。理解を深めてもらえるような情報発信が必要である。</li> </ul> <p>(景観重要樹木の指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景観形成に資する取組になるので異論はない。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して指定することに意味がある。</li> <li>・公募に対する啓発方法を工夫した方が良い。</li> </ul>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の整備については、住民への十分な周知を行う必要がある。</li> <li>・景観については、市民の理解が必要不可欠であり、理解を深めてもらえるような情報が必要である。また、市民への啓発という意味で市が率先して推進することに意味がある。</li> </ul>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見る事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。</li> <li>・水道の管路の経年化率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で昼間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと住環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> </ul>	



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 本町2丁目周辺商業地域指定の見直し検討を追記する。 【理由】 朝霞駅前周辺の商業地域は衰退の一途をたどり、マンション街に変身しつつあります。良好な住環境の維持が欠かせません。今後、商業地域指定の再検討が必要になってきています。</p> <p>○ 部分的な開発によって複雑な道路が敷設されたり、袋小路ばかりが連なる箇所ができたりしている地区があります。地域の一体的な整備（歩道や公園の設置等）に民間事業者や地権者の協力を得ていく努力も盛り込んでもらいたいです。</p>	<p>・地域に応じた良好な住環境の維持が求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-1-2	市街地周辺の適正な利用

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	市街地周辺の適正な利用（市街化調整区域の整序）
前期基本計画 の総括	<p>住民協働のうえ、生産緑地の保全・景観維持に努める必要がある。</p> <p>【荒川近郊緑地保全区域などの大規模緑地】</p> <p>【周辺自然環境などと調和する施設地区】</p> <p>【計画的利用を促進すべき地区】都市計画等のまちづくりに関する制度を適正に運用するとともに、都市基盤の整備に関する各種計画を的確に定め、着実に実行していく必要がある。</p> <p>【集落地・農地など】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民協働のうえ、生産緑地の保全・景観維持に努める必要がある。</li> <li>【荒川近郊緑地保全区域などの大規模の緑地】</li> <li>・荒川河川敷などは引き続きレクリエーションの場として活用が求められている。</li> <li>【周辺自然環境などと調和すべき施設地区】</li> <li>・周辺の中央公園や青葉台公園などとの連続した土地の利用が求められる。</li> <li>【計画的利用を促進すべき地区】</li> <li>・都市計画等のまちづくりに関する制度を適正に運用するとともに、都市基盤の整備に関する各種計画を的確に定め、着実に実行していく。</li> <li>・市街地と自然環境との調和を図りながら適切な土地利用が行われるようにしていく必要がある。</li> <li>【集落地・農地など】</li> <li>・道路や排水施設の改善により環境の維持・向上を図る必要がある。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「やや不満である」と「不満である」を合わせた割合が高く、2割を超えている取組は、「道路交通」（44.9%）、「土地利用」（23.0%）の2項目である。【問12・満足度・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「都市基盤・産業振興」（195件）では、「道路整備」、「公共交通（バス）の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の約2割（23.0%）が「土地利用」に不満を感じている。</li> <li>【土地利用、米軍跡地の活用】</li> <li>・キャンプ朝霞跡地については、利用計画等に基づいた計画的な整備が求められる。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【土地利用、米軍跡地の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ朝霞跡地については、利用計画等に基づいた計画的な整備が求められる。</li> </ul>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)
---------------------	----------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みに統一性のあるまちが求められている。</li> <li>・自然環境にやさしい住宅の多いまちが求められている。</li> <li>・安心、安全なまちが求められている。</li> <li>・住宅環境の改善が求められている。</li> <li>・まちの魅力づくりが求められている。</li> <li>・魅力を活かした景観が求められている。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>(都市計画道路岡通線の事業認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催に当たっては、十分な周知を行ってほしい。</li> <li>・自転車道の整備予定など、市民の関心がありそうなことは、住民説明会で説明を行った方が良い。</li> </ul> <p>(景観づくり重点地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを公園通りで進めることが市民の方に景観づくりを理解していただくよい契機となる。</li> <li>・民有地を重点地区に指定することについて、指定後の維持管理を含めて、合意形成を進めた方が良い。</li> <li>・重点地区に対する市民の理解が必要不可欠である。理解を深めてもらえるような情報発信が必要である。</li> </ul> <p>(景観重要樹木の指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景観形成に資する取組になるので異論はない。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して指定することに意味がある。</li> <li>・公募に対する啓発方法を工夫した方が良い。</li> </ul>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の整備については、住民への十分な周知を行う必要がある。</li> <li>・景観については、市民の理解が必要不可欠であり、理解を深めてもらえるような情報が必要である。また、市民への啓発という意味で市が率先して推進することに意味がある。</li> </ul>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 基地跡地全体を文字通りの「朝霞の森」という認識で、長期的計画の下で、すこしずつ「公園用地」として購入し、最終的には「公園」ではなく、市民の生活に根ざした「都市林」として、整備する。現在の「朝霞の森」は「朝霞の森広場」でいいし、シンボルロード（仮称）も、「朝霞の森大通り」とか、「あさかの森の散策路」という位置づけで整備することを提案します。</p> <p>身近な地区の土地利用に係るルールづくりや快適な住環境の整備などを市民と行政の協働により実現する仕組みづくりが必要です。上尾市では、平成16年に街づくり推進条例を制定し、行政が市民の活動を支援し、成果を上げています。</p> <p>○＜現状と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市街化調整区域は、黒目川をはじめとする河川沿いの緑と水辺など優れた自然環境や優良な農地が残されており、これらができる限り保全しながら、地域の状況に応じて、市街地と自然環境との調和を図りながら適切な土地利用が行われるようにしていく必要があります。</li> <li>●基地跡地地区については、基地跡地利用計画に基づいた基地跡地と周辺の公共施設との連携の創出など、まちの顔となる魅力ある活用が必要です。特に、基地跡地は長期的の視野のもとで「公園用地」として国から取得し、「都市林」として保全する必要があります。</li> <li>●市内の緑地は、朝霞市緑化推進条例に基づく保護地区・保護樹木の指定や首都圏近郊緑地保全法に基づく荒川近郊緑地保全区域の指定があり、今後も都市環境の保全、景観の維持や防災機能など、緑地の持つ役割をふまえて点在する斜面林、屋敷林などの保全が必要となります。</li> </ul> <p>○プレーパーク常設化 朝霞の森のプレーパークは、朝霞市の目玉となりうる事業であるが、常設化されていない。子どもの居場所作り、大人のコミュニティづくりにも有用であり、プレーパークを常設化していつでも子ども・大人が自然の中で交流できる仕組みを検討していただきたい。</p> <p>○ 「現状と課題」の●基地跡地地区・・・基づいた基地跡地「の緑豊かな自然環境」と周辺の公共施設・・・の行に「」内の文字を挿入する。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な土地利用に関するルールづくりや快適な住環境の整備などを市民と行政の協働により実施する仕組みづくりが求められている。</li> <li>・市街化調整区域は、地域の実情に応じて、市街地と自然環境との調和を図りながら適切な土地利用が行われることが求められている。</li> <li>・基地跡地については、利用計画等に基づいた計画的な整備が求められる。</li> </ul>

職員コメント	
--------	--

--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-2-1	やさしさに配慮した道づくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	やさしさに配慮した道づくり
前期基本計画 の総括	歩道拡幅路線の用地交渉に努めるとともに、市が条例で歩行空間の確保等について定めるなど、先導的な安全対策の実施が求められる。  【全ての人にやさしい交通環境の整備】 【環境・景観に配慮した交通環境の整備】 【歩行者空間の整備】

考えられる市民・社会のニーズ
都市計画や開発に関する各種制度の動向に注視しつつ、市街地と自然環境との調和を図りながら適切な土地利用が行われるようにしていく必要がある。 【全ての人にやさしい交通環境の整備】公共交通機関を利用する際の移動の利便性及び安全性に配慮した駅舎や公共交通車両などの施設整備が求められている。 【環境・景観に配慮した交通環境の整備】地域の特性に応じて沿道空間と一体となった歩道、街路樹、ポケットパークなどの整備が求められている。 【歩行者空間の整備】高齢者や障害のある人など誰もが安心して移動できるような道路交通環境の整備が求められている。

市民意識調査 (客観的データ)	・「やや不満である」と「不満である」を合わせた割合が高く、2割を超えている取組は、「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)の2項目である。【問12・満足度・全体】 ・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】
市民意識調査 (自由記述)	・「都市基盤・産業振興」(195件)では、「道路整備」、「公共交通(バス)の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】

市民意識調査において、道路・橋梁については、重要度は高く満足度が低い取組項目であり、早急な取組が必要。
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	「道路整備」が求められている。
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【企業誘致に伴った道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致を考慮した道路整備</li> </ul> <p>【歩道整備、バリアフリー化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道と車道の段差解消</li> </ul> <p>【街路樹の多い街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木々（緑）が多い道づくり</li> </ul> <p>【坂道の一方通行化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂道が多く、歩行者や自転車での通行者が危険であるため、自動車のみ一方通行化し、歩行者、自転車のためのスペースを確保する。</li> </ul> <p>【注意喚起看板の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の注意表示（横断者注意等）の設置</li> </ul> <p>【新しい交通網の発達により、道路は狭くなっている】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段、移動手段が自動車ではなくなるため、現在の道路の広さは必要ない。むしろ道路は狭くなっている。</li> </ul>	<p>【歩道整備、バリアフリー化】が求められている。</p> <p>【街路樹の多い街】が求められている。</p> <p>【注意喚起看板の設置】が求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>-</p>	<p>・都市計画道路の整備については、住民への十分な周知を行う必要がある。          ・景観については、市民の理解が必要不可欠であり、理解を深めてもらえるような情報が必要である。また、市民への啓発という意味で市が率先して推進することの意味がある。</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>・分野ごとの取組の満足度・重要度調査によれば、「やや不満である」と「不満である」を合わせた高い割合となっているのは、「道路交通」（44.9%）、「土地利用」（23.0%）である。</p>	<p>市民の約4割（44.9%）が「やや不満である」、「不満である」と感じている。</p>



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 朝霞駅から市役所までの県道（駅前通り）の交通安全対策について、電柱があり、側溝の蓋の上を歩かせ、バスが通り、歩行者が安全に安心して歩けない。</p> <p>①市が大鉈を振り改善を進めていくことが重要だと思うがいかがか。</p> <p>②安全に安心して歩くことができれば商店も賑わうと思うがいかがか。</p> <p>③県道だから、市ではできない、と言ってほしくない。いかがか。</p> <p>○ さらなるバリアフリー化を進めること、歩行者の安全性を高めることを盛り込んでもらいたいです。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>朝霞駅から市役所までの県道（駅前通り）の交通安全対策が求められており、地元の皆さまのご意見をお聞きした上で、歩行者が安心して歩ける道路空間のあり方について、関係機関、交通事業者等と話し合っていく必要がある。</p>

職員コメント	
--------	--

--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-2-2	まちの骨格となる道路づくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	まちの骨格となる道路づくり
前期基本計画 の総括	【幹線道路網の整備】道路整備を進めるためには、多額の費用と時間を要することなどから、整備の優先順位を定め選択と集中を行い、計画的に事業を進める必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
整備の優先順位を定め、限られた財源の中で効果的に道路整備を進めることが求められている。

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「やや不満である」と「不満である」を合わせた割合が高く、2割を超えている取組は、「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)の2項目である。【問12・満足度・全体】</p> <p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「都市基盤・産業振興」(195件)では、「道路整備」、「公共交通(バス)の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

市民の約2割を超える方が「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)を課題と感じていると同時に、市民の8割を超える方が、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)を重要視している。
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	-
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>都市基盤・産業振興について約100件の意見が寄せられ、「道路整備」、「交通の利便性維持」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」などが求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)
---------------------	----------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観に配慮した統一性のある街並が求められている。</li> <li>・緑化や雨水利用などの環境に配慮した住宅政策が求められている。</li> <li>・道路整備に関して、歩道の整備、バリアフリーなどが求められている。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング	<p>(都市計画道路岡通線の事業認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催に当たっては、十分な周知を行ってほしい。</li> <li>・自転車道の整備予定など、市民の関心がありそうなことは、住民説明会で説明を行った方が良い。</li> </ul> <p>(景観づくり重点地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを公園通りで進めることが市民の方に景観づくりを理解していただくよい契機となる。</li> <li>・民有地を重点地区に指定することについて、指定後の維持管理を含めて、合意形成を進めた方が良い。</li> <li>・重点地区に対する市民の理解が必要不可欠である。理解を深めてもらえるような情報発信が必要である。</li> </ul> <p>(景観重要樹木の指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景観形成に資する取組になるので異論はない。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して指定することに意味がある。</li> <li>・公募に対する啓発方法を工夫した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の事業認可の際に、丁寧な事業説明や周知が求められている。</li> </ul>
まちづくりの 課題整理	-	-

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 都市計画道路のみが言及されており、交通量が多く、実質的な都市計画道路並みの役割を負っている道路に関する扱いが不明確でよいのか。歩道にすべきところと思われるところに相次いで民間の建築物が建ってしまい、危険な通行環境が一向に改善されない。</p> <p>○ 基地跡地公園・シンボルロード第1期整備事業で実施が先送りになった道路以外エリアの早期整備に向け取り組みますを追記する。</p> <p>○ 農業振興と連携し、都市農地貸借円滑化法の周知により、農業従事者を増やして市内の農地利用と保全に努めてもらいたいです。</p> <p>○ 中柱1「まちの骨格となるみどりづくり」          &lt;現状と課題&gt;          ●市内の民有緑地や農地は、相続等により減少傾向にあります。生物多様性の保全や良好な景観形成に寄与するみどりを、市民、事業者との連携や協働で保全し、質の維持・向上を図っていくことが必要です。担い手となる市民ポランティアの高齢化が進んでおり、参画する市民、事業者の裾野を広げていくことが求められています。          ●みどりの基本計画に基づき、生物多様性の保全や景観、多世代交流の観点から、みどりをさらに質の高いものとしていくことが求められており、減少が進むみどりを残すと同時に、人の集まる場所の緑化を進めていくことや魅力ある公園・里林（都市林）づくりを市民、事業者等との協働で進める必要があります。</p> <p>&lt;主な取組&gt;          武蔵野の原風景を継承するみどりや里林の保全          市民生活のうらおいとしての農地（畑や水田）の保全          計画的なみどりづくり</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>・都市計画道路以外についても、交通量の多い市内幹線道路の歩道の確保など安全で安心な道路整備が求められている。</p>

職員コメント	
--------	--

--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-2-3	良好な交通環境づくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	良好な交通環境づくり
前期基本計画 の総括	<p>道路整備を進めるためには、多額の費用と時間を要することなどから、整備の優先順位を定め選択と集中を行い、計画的に事業を進める必要がある。また、オリンピック・パラリンピックを見据えた交通標識の多言語化の対応も求められる。</p> <p>【安全・快適な道路の整備】 【公共交通網などの充実・整備】 【その他交通施設などの充実・整備】 【新たな公共交通システムの導入検討】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>道路整備を進めるためには、多額の費用と時間を要することから、整備の優先順位を定め、選択と集中の観点から計画的に事業を進める必要がある。 ユニバーサルデザインに配慮した交通標識等の多言語化を進める必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・住みつけたい理由は、「今の住まいに満足だから（住宅が広い、新しいなど）」の割合が22.3%で最も高く、続いて「通勤・通学に便利だから」（18.4%）、「買い物など日常生活が便利だから」（17.3%）、「地域になじみや愛着があるから」（14.7%）となっている。「その他」には、「交通の便が良い」、「子供たちが近くに住んでいる」などの記述があった。【問2・全体】</p> <p>・「やや不満である」と「不満である」を合わせた割合が高く、2割を超えている取組は、「道路交通」（44.9%）、「土地利用」（23.0%）の2項目である。【問12・満足度・全体】</p> <p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」（90.2%）、「防災・消防」（89.2%）、「保健・医療」（87.0%）、「安全・安心」（84.5%）、「生活」（84.2%）、「道路交通」（83.9%）、「市街地整備」（83.6%）、「子育て支援・青少年育成」（81.5%）、「高齢者支援」（80.8%）、「学校教育」（80.2%）の10項目である。【問12・重要度・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「都市基盤・産業振興」（195件）では、「道路整備」、「公共交通（バス）の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>満足度では約4割（44.9%）の市民が不満を抱えているが、住み続けたい理由では、「通勤・通学に便利だから」や「交通の便が良い」との意見もある。満足度や利便性などは個々人の移動需要に応じて変動するが、市民の約8割（83.9%）が「道路交通」を重要であると考えている。</p>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市が好きな理由は、「交通の便がよい」の割合が48.2%で最も高く、続いて「イベントやお祭りが多い」(34.0%)、「住んでいる環境やまちなみがよい」(32.0%)となっている。「その他」には、「田舎すぎず、都会すぎず静かで良い」、「駅がきれいで、駅周辺のお店が充実している」などの記述があった。【問3・全体】</p>
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ
<p>青少年アンケートにおける朝霞市が好きな理由は、「交通の便がよい」が約5割(48.2%)で最も高く、自由記述においても「道路整備」や「公共交通(バス)の充実」、「交通の利便性維持」等の意見が多数あることから、「道路交通」分野の維持、改善が求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)
---------------------	----------------

<p>道路の拡張や歩車道の分離、段差解消など、改修工事を伴う歩行空間の整備が求められるとともに、より効果的な路面表示の設置など、ソフト面による交通安全の対策が求められる。 本市の公共交通ネットワークの形成や、市内循環バスを含めた路線バスの更なる利便性向上など、利用しやすい公共交通網の整備が求められる。</p>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング		
まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、人口構成の変化により公共交通機関の重要性が高まると考えられ、市内公共交通網のあり方の検討を進めることが重要である。</li> <li>・公共施設のインフラ資産の更新・維持管理の効率的な運営に向けた検討が求められる。</li> </ul>	<p>高齢化等による人口構成の変化に伴い、公共交通機関の重要性が高まることが予測され、市内公共交通網の在り方の検討が求められている。公共施設等インフラ資産の更新・維持管理の効率的な運営に向けた検討が求められている。</p>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-3-1	まちの骨格となる緑づくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	まちの骨格となる緑づくり
前期基本計画 の総括	<p>民有地や公有地ともに緑化の推進や緑地の保全に向けた取組を進めていくうえで、民間活動を活用した賑わいのある公園づくり（Park-PFI等）を検討する必要がある。</p> <p>【武蔵野の原風景を継承する緑の保全】 【市民生活のうるおいとしての農地の保全】 【計画的な緑づくり】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>民有地や公有地ともに緑化の推進や緑地の保全に向けた取組を進めていくうえで、民間活動を活用した賑わいのある公園づくり（Park-PFI等）を検討する必要がある。</p> <p>【武蔵野の原風景を継承する緑の保全】 【市民生活のうるおいとしての農地の保全】 【計画的な緑づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市みどりの基本計画及び花とみどりのまちづくり構想に基づいた、的確な施策の推進が求められている。</li> <li>・市民の持つ知識や経験、意見を幅広く集約し、環境や緑化活動に生かしていくことが求められている。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	-
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「都市基盤・産業振興」（195件）では、「道路整備」、「公共交通（バス）の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の約2割（23.0%）が「土地利用」に不満を感じている。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物が不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の約2割(23.0%)が「土地利用」に不満を感じている。。</li> </ul>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【少子高齢化社会に向けた行政と市民との協働体制の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意見を取り入れた公園を造れば、開設後もいっそうの市民協力が得られると思う。</li> <li>・樹木を計画的に植える。(樹木の成長には、長い年月を要するので)</li> <li>・公園の利用が少ない今、汚れや老朽化が見てとれるので、少しでも綺麗に保つようにするべき。</li> <li>・今回の懇談会のような市民の意見を反映させることが出来る条例等があった方がよいのでは。</li> <li>・国有財産である基地跡地等、国から無償で返却してもらえるように、行政・市民が協力していく。</li> </ul> <p>【行政と市民との協働による公園管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地跡地のみどりを大切に次世代に伝える。</li> <li>・公園の規制の見直し</li> <li>・地域住民とボランティア団体・住民との話し合い</li> <li>・子ども達の希望、アイデアの掘り起こし</li> <li>・学校の協力</li> <li>・行政、NPO法人の充実</li> <li>・基地跡地を散策できる森に無償取得して解放する。</li> <li>・黒目川の遊歩道に草が生い茂り、通り難いので草刈りをしてもらいたい</li> <li>・基地跡地の無償取得を穂坂代議士に取り組んでもらう</li> <li>・朝霞の森の利用率を高める一助としてトイレを設置する。</li> <li>・子ども達が自然を学ぶ環境の整備</li> <li>・空き家の土地を所有者に働きかけて子どもの遊び場にする固定資産税免除</li> </ul>
---------------------	---

<p>市民に愛され、次世代に継承できるよう市内に残る貴重な緑の保全や緑を創出するため、市民の関心を高めていくことや、多様化する市民ニーズを踏まえた、行政と市民による協働での取組を進めて行くことが求められている。</p>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-3-2	うるおいのある生活環境づくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	うるおいのある生活環境づくり
前期基本計画 の総括	<p>生物多様性の保全や良好な景観形成の担い手となる市民ボランティアの高齢化への対策も検討する必要がある。</p> <p>【水と緑のネットワークの充実】 【水と緑のうるおいのある市街地の形成】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>生物多様性の保全や良好な景観形成の担い手となる市民ボランティアの高齢化への対策も検討する必要がある。</p> <p>【水と緑のネットワークの充実】 【水と緑のうるおいのある市街地の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市みどりの基本計画及び花とみどりのまちづくり構想に基づいた、的確な施策の推進が求められている。</li> <li>・市民の持つ知識や経験、意見を幅広く集約し、環境や緑化活動に活かしていくことが求められている。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	-
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「都市基盤・産業振興」(195件)では、「道路整備」、「公共交通(バス)の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>回答者361人の内、195件(54.0%)と政策分野別で「都市基盤・産業振興」の分野が最も多くの意見があり、今後のまちづくりにおいて、米軍跡地の活用や公園整備の必要性が高いことが考えられる。</p>
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物が不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</p>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>公園やスポーツ施設が充実していないというご意見が約3割(26.8%)あり、公園の充実に関する意見も多数あることから、より一層の公園整備の充実が求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【少子高齢化社会に向けた行政と市民との協働体制の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意見を取り入れた公園を造れば、開設後もいっそうの市民協力が得られると思う。</li> <li>・樹木を計画的に植える。(樹木の成長には、長い年月を要するので)</li> <li>・公園の利用が少ない今、汚れや老朽化が見てとれるので、少しでも綺麗に保つようにするべき。</li> <li>・今回の懇談会のような市民の意見を反映させることが出来る条例等があった方がよいのでは。</li> <li>・国有財産である基地跡地等、国から無償で返却してもらえるように、行政・市民が協力していく。</li> </ul> <p>【行政と市民との協働による公園管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地跡地のみどりを大切に次世代に伝える。</li> <li>・公園の規制の見直し</li> <li>・地域住民とボランティア団体・住民との話し合い</li> <li>・子ども達の希望、アイデアの掘り起こし</li> <li>・学校の協力</li> <li>・行政、NPO法人の充実</li> <li>・基地跡地を散策できる森に無償取得して解放する。</li> <li>・黒目川の遊歩道に草が生い茂り、通り難いので草刈りをしてもらいたい</li> <li>・基地跡地の無償取得を穂坂代議士に取り組んでもらう</li> <li>・朝霞の森の利用率を高める一助としてトイレを設置する。</li> <li>・子ども達が自然を学ぶ環境の整備</li> <li>・空き家の土地を所有者に働きかけて子どもの遊び場にする固定資産税免除</li> </ul>
---------------------	---

<p>市民に愛され、次世代に継承できるよう市内に残る貴重な緑の保全や緑を創出するため。市民の関心を高めていくことや、多様化する市民ニーズを踏まえた、行政と市民による協働での取組を進めて行くことが求められている。</p>
---

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の整備については、住民への十分な周知を行う必要がある。</li> <li>・景観については、市民の理解が必要不可欠であり、理解を深めてもらえるような情報が必要である。また、市民への啓発という意味で市が率先して推進することに意味がある。</li> </ul>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○＜主な取組＞ 水とみどりのネットワークの充実 水とみどりのうるおいのある市街地の形成</p> <p>○ 市道8号線仮称シンボルロード緑地保金を市民や事業者などと連携を取って進めますを追記する。</p> <p>○ 都市街区には豊かな環境を残した公園が多くあります。河川部には公園はありますが、川に入って行ける公園はありません。 水辺に恵まれている朝霞ならではの親水公園があればと思います。 『水辺の再生』を加えて下さい。</p>	<p>○自然の緑や水辺、植栽空間と、オープンスペースに加えて、緑や水辺にすむ生き物やこれらを支える土壌、そして緑や水辺を守り育む市民の活動等、幅広い概念を表す言葉として「みどり」を用いることとしている。</p> <p>○維持管理など市民、事業者等との協働により進めていくことが求められている。</p> <p>○親水公園の整備が求められている。</p>
職員コメント	<p>現状と課題 「ポテンシャル」 ⇒言いかえが必要ではないか。</p>	<p>第5次朝霞市総合計画後期基本計画骨子（案）第5章 都市基盤・産業振興 大柱 3 緑・景観・環境共生 中柱 2 うるおいのある生活環境づくりの現状と課題 の文中の表現について修正が求められている。</p>

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-3-3	まちの魅力を生み出す景観づくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	まちの魅力を生み出す景観づくり
前期基本計画 の総括	景観向上のため、市内の無電柱化をすすめるとともに、生物多様性の保全や良好な景観形成の担い手となる市民ボランティアの高齢化への対策も検討する必要がある。 【まちのうるおいとなる景観形成】 【地域資源を生かした景観形成】

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観向上のため、市内の無電柱化を進めるとともに、生物多様性の保全や良好な景観形成の担い手となる市民ボランティアの高齢化への対策が求められている。</li> <li>【まちのうるおいとなる景観形成】</li> <li>・駅周辺では本市の玄関口にふさわしい景観形成が求められている。</li> <li>【地域資源を生かした景観形成】</li> <li>・景観計画に基づき、届出制を活用した施設づくりの誘導や、地区の特性を活かした協働による景観づくりが求められている。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市が好きな理由は、「交通の便がよい」の割合が48.2%で最も高く、続いて「イベントやお祭りが多い」(34.0%)、「住んでいる環境やまちなみがよい」(32.0%)となっている。「その他」には、「田舎すぎず、都会すぎず静かが良い」、「駅がきれいで、駅周辺のお店が充実している」などの記述があった。【問3・全体】</p> <p>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</p>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>・約3割(32%)が「住んでいる環境やまちなみがよい」と朝霞市が好きな理由を答えている一方、約3割(29.3%)が「住んでいる環境やまちなみが良くない」と朝霞市が嫌いな理由を答えている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)
---------------------	----------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みに統一性のあるまちが求められている。</li> <li>・自然環境にやさしい住宅の多いまちが求められている。</li> <li>・安心、安全なまちが求められている。</li> <li>・住宅環境の改善が求められている。</li> <li>・まちの魅力づくりが求められている。</li> <li>・魅力を活かした景観が求められている。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング	<p>(都市計画道路岡通線の事業認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催に当たっては、十分な周知を行ってほしい。</li> <li>・自転車道の整備予定など、市民の関心がありそうなことは、住民説明会で説明を行った方が良い。</li> </ul> <p>(景観づくり重点地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを公園通りで進めることが市民の方に景観づくりを理解していただくよい契機となる。</li> <li>・民有地を重点地区に指定することについて、指定後の維持管理を含めて、合意形成を進めた方が良い。</li> <li>・重点地区に対する市民の理解が必要不可欠である。理解を深めてもらえるような情報発信が必要である。</li> </ul> <p>(景観重要樹木の指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景観形成に資する取組になるので異論はない。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して指定することに意味がある。</li> <li>・公募に対する啓発方法を工夫した方が良い。</li> </ul>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観については、市民の理解が必要不可欠であり、理解を深めてもらえるような情報が必要である。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して推進することに意味がある。</li> </ul>
まちづくりの 課題整理	-	-

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 街の景観を演出する街路樹の素敵な樹形を保全するため、街路樹の管理計画を策定するを追記する。</li> <li>○ 「にぎわい」の場（景観）をわざわざ人工的に作らないでほしい。いいところに人は集まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性を活かした景観の保全・創出が求められている。</li> </ul>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-3-4	循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり
前期基本計画 の総括	既存で実施している事業については、積極的に市民に情報発信をし、理解を促す必要がある。 【環境に配慮した施設などの整備】 【雨水流出抑制の推進】

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存で実施している事業は、積極的に市民に情報発信をして理解を促すことが求められている。</li> <li>【景観に配慮した施設などの整備】</li> <li>・環境に配慮した持続可能な社旗を構築するうえで循環型社会の構築は早急に取り組むべき課題となっている。</li> <li>【雨水流出抑制の推進】</li> <li>・健全な水環境の維持や再構築のため、宅地等への浸透施設の設置などの推進が求められている。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みに統一性のあるまちが求められている。</li> <li>・自然環境にやさしい住宅の多いまちが求められている。</li> <li>・安心、安全なまちが求められている。</li> <li>・住宅環境の改善が求められている。</li> <li>・まちの魅力づくりが求められている。</li> <li>・魅力を活かした景観が求められている。</li> </ul>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>(都市計画道路岡通線の事業認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催に当たっては、十分な周知を行ってほしい。</li> <li>・自転車道の整備予定など、市民の関心がありそうなことは、住民説明会で説明を行った方がよい。</li> </ul> <p>(景観づくり重点地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを公園通りで進めることが市民の方に景観づくりを理解していただくよい契機となる。</li> <li>・民有地を重点地区に指定することについて、指定後の維持管理を含めて、合意形成を進めた方がよい。</li> <li>・重点地区に対する市民の理解が必要不可欠である。理解を深めてもらえるような情報発信が必要である。</li> </ul> <p>(景観重要樹木の指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景観形成に資する取組になるので異論はない。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して指定することに意味がある。</li> <li>・公募に対する啓発方法を工夫した方がよい。</li> </ul>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の整備については、住民への十分な周知を行う必要がある。</li> <li>・景観については、市民の理解が必要不可欠であり、理解を深めてもらえるような情報が必要である。また、市民への啓発という意味で市が率先して推進することに意味がある。</li> </ul>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、地球環境問題や持続可能性への関心が日本社会全体で高まっており、朝霞市においても、引き続き持続可能な社会の実現に向けた取組が必要であると考えられる。</li> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見ると事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。</li> <li>・水道の管路の経年化率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で昼間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと住環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくりが求められている。</li> </ul>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ コンクリートは景観を破壊するだけでなく、生き物の多様性（特に土壌の中の生き物）を破壊し、また、「内水氾濫」の大きな原因になっているので、使用を必要最小限にする工夫が必要です。</p> <p>○&lt;現状と課題&gt;</p> <p>●健全な水環境の維持や再構築のため道路の舗装は最小限にする、特に、会社や公共の駐車場は原則として舗装なしとする。どうしても舗装が必要な場合にも、透水性舗装を検討する。会社や公共の駐車場の舗装に対しては、市の雨水管の使用料を課す事を検討する必要があります。公共施設・宅地等への浸透施設の設置、地下水の涵養を図るための施設の普及などの推進に取り組む必要があります。</p> <p>&lt;主な取組&gt;</p> <p>環境に配慮した施設などの整備  雨水流出抑制の推進のため、道路・会社や公共の駐車場の舗装を抑制する</p>	<p>・人や生き物にやさしく環境面への配慮が行き届いたまちづくりが求められている。</p>
職員コメント	<p>現状と課題  現状の記載がないがよろしいか。</p>	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-4-1	特性に応じた市街地づくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	特性に応じた市街地づくり
前期基本計画 の総括	<p>土地区画整理事業は、地権者や権利者から十分な理解を得て事業化を行う必要があること、費用と時間がかかることから長期的な事業計画の検討が必要である。また、市民の視点からわかりやすい事業説明の情報発信を推進する必要がある。</p> <p>【土地区画整理事業を実施している地区】 【土地区画整理事業の完了地区】 【基盤整備の検討地区】 【地域にふさわしいまちづくりに向けた活動の推進】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>土地区画整理事業について、関係権利者と十分な協議を行うことや、市民の視点で丁寧な情報発信を行うことが求められている。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・住みつけたい理由は、「今の住まいに満足だから（住宅が広い、新しいなど）」の割合が22.3%で最も高く、続いて「通勤・通学に便利だから」（18.4%）、「買い物など日常生活が便利だから」（17.3%）、「地域になじみや愛着があるから」（14.7%）となっている。「その他」には、「交通の便が良い」、「子供たちが近くに住んでいる」などの記述があった。【問2・全体】</p> <p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」（90.3%）、「防災・消防」（89.2%）、「保健・医療」（87.1%）、「安全・安心」（84.5%）、「生活」（84.2%）、「道路交通」（84.0%）、「市街地整備」（83.6%）、「子育て支援・青少年育成」（81.5%）、「高齢者支援」（80.9%）、「学校教育」（80.2%）の10項目で、8割を超えている。【問12・満足度・全体】</p> <p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」（90.2%）、「防災・消防」（89.2%）、「保健・医療」（87.0%）、「安全・安心」（84.5%）、「生活」（84.2%）、「道路交通」（83.9%）、「市街地整備」（83.6%）、「子育て支援・青少年育成」（81.5%）、「高齢者支援」（80.8%）、「学校教育」（80.2%）の10項目である。【問12・重要度・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「都市基盤・産業振興」（195件）では、「道路整備」、「公共交通（バス）の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>住みつけたい理由は、「通勤・通学に便利だから」（18.4%）、「買い物など日常生活が便利だから」（17.3%）など交通便利性や生活利便性などを重要視している。</p> <p>また、「都市基盤・産業振興」への関心が高く、「道路整備」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」など、バランスのとれたまちづくりを求めている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画による統一性のある街並が求められている。</li> <li>・土地区画整理事業などの制度を利用した安心、安全なまちづくりを求めている。</li> </ul>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>(都市計画道路岡通線の事業認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催に当たっては、十分な周知を行ってほしい。</li> <li>・自転車道の整備予定など、市民の関心がありそうなことは、住民説明会で説明を行った方が良い。</li> </ul> <p>(景観づくり重点地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを公園通りで進めることが市民の方に景観づくりを理解していただくよい契機となる。</li> <li>・民有地を重点地区に指定することについて、指定後の維持管理を含めて、合意形成を進めた方が良い。</li> <li>・重点地区に対する市民の理解が必要不可欠である。理解を深めてもらえるような情報発信が必要である。</li> </ul> <p>(景観重要樹木の指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景観形成に資する取組になるので異論はない。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して指定することに意味がある。</li> <li>・公募に対する啓発方法を工夫した方が良い。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>景観づくり重点地区や景観重要樹木の指定について、丁寧な協議と情報発信が求められている。</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見る事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。</li> <li>・水道の管路の経年化率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で昼間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと住環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> </ul> <p>・分野ごとの取組の満足度・重要度調査によれば、「やや不満である」と「不満である」を合わせた高い割合となっているのは、「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)である。</p>
------------	---

<p>市民の多くが、「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)について課題と考えている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 朝霞駅南口商店街を通過する県道99号線の一方通行化、電線・電柱の地中化に取り組みますを追記する。</p>	<p>県道99号線の一方通行化、電線・地中化が求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-5-1	上水道の整備・充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	上水道の整備・充実
前期基本計画 の総括	土地区画整理事業は、地権者や権利者から十分な理解を得て事業化を行う必要があること、費用と時間がかかることから 長期的な事業計画の検討が必要である。 【安全・安心な水の供給】 【水道事業の健全運営】

考えられる市民・社会のニーズ
水道施設の老朽化更新や耐震化については、計画的に事業を進めていくことが求められています。

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【よりおいしい水を供給する継続的に供給される】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害・停電等への対策・備え</li> </ul> <p>【市民の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の満足度調査をする。</li> </ul> <p>【料金・経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートメーターにより検診等を効率化する。</li> <li>・料金の値上げをわかりやすく説明するべき。</li> </ul> <p>【水道部としての取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化率46%。</li> <li>・耐用年数を超えた水道管が20%ある。</li> </ul> <p>【PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の水道経営のページがわかりにくい。</li> <li>・市民が安心して水道水を飲めるようPRする。</li> </ul>
---------------------	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時においても安定した水道水の供給できる管路網が求められている。</li> <li>・耐震化や老朽管更新事業は多額の費用と時間を要すことから、投資資産および財源資産の将来予測を適切に行うとともに、経営状況をわかりやすく説明することが求められている。</li> </ul>
--

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の整備については、住民への十分な周知を行う必要がある。</li> <li>・景観については、市民の理解が必要不可欠であり、理解を深めてもらえるような情報が必要である。また、市民への啓発という意味で市が率先して推進することに意味がある。</li> </ul>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-5-2	公共下水道の整備

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	公共下水道の整備
前期基本計画 の総括	上下水道設備をはじめとしたインフラの維持更新には膨大なコストを要することから、将来を見据えた安定的かつ効率的な事業運営に努めていく必要がある。 【汚水排水施設の整備】 【雨水浸水対策の推進】

考えられる市民・社会のニーズ
下水道施設の老朽化が進んでいることから、計画的に更新事業を進めていくことが求められています。

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【災害への備え・対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の耐震化</li> <li>・各家庭の防災意識の向上を図る→・災害時に下水道施設が利用できなくなる可能性もあるため、食料などの備蓄だけでなく、適切な下水処理が各家庭で行えるように備える</li> <li>・防災訓練の実施</li> <li>・雨水は総合治水による管理を行い、豪雨災害に備えるとともに、河川への負担を考慮する</li> <li>・国や県との協働</li> </ul> <p>【インフラの維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の耐震化</li> <li>・下水道管の計画的な布設</li> <li>・既設下水道管の計画的な更新やメンテナンス</li> <li>・国や県との協働</li> </ul> <p>【下水道の普及率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道普及率の向上</li> <li>・浄化槽使用から、下水道管接続への転換促進</li> <li>・区域外地区への下水道管の布設・接続</li> </ul>	<p>地震や豪雨時における下水道施設の備えや、下水道施設の計画的な更新及び下水道普及率の向上が求められている。</p> <p>災害によって下水道施設に被害が出た場合、トイレが利用できなくなるため、各家庭でのトイレ対策の必要性を啓発することが求められている。</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	

考えられる市民・社会のニーズ

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見ると事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。</li> <li>・水道の管路の経年化率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で昼間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと住環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> </ul>
------------	---

<p>汚水管と雨水管で約440kmの管渠整備が完了しており、今後法定耐用年数である50年を迎える管渠が発生し、更新時期を迎える管路が急増することから計画的に維持管理をすることが求められている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント	<p>下水道インフラが今後一斉に老朽化し、更新に係る費用が膨大になることが見込まれる。今後の対応が急務である。</p>	<p>汚水管と雨水管で約4.40kmの管渠整備が完了しており、今後法定耐用年数である50年を迎える管渠が発生し、更新時期を迎える管路が増加することから計画的に維持管理をすることが求められている。</p>

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-6-1	災害や犯罪に強いまちづくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	災害や犯罪に強いまちづくり
前期基本計画 の総括	<p>関係部署と連携を図り、ネット配信など適時適切な災害情報の配信に努める必要がある。</p> <p>【災害（地震・火災・水害）に強いまちづくり】</p> <p>【避難場所・避難道路の確保】</p> <p>【市街地における防犯機能の向上】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部署と連携を図り、ネット配信などの随時適切な災害情報の配信に努める必要がある。</li> <li>【災害（地震・火災・水害）に強いまちづくり】</li> <li>重要な都市施設であるインフラ等について、災害時に被害を最小限に抑えられるよう必要な補修・改修等が求められている。</li> <li>【避難場所・避難道路の確保】</li> <li>避難場所の機能向上や避難道路の整備が求められている。</li> <li>【市街地における防犯の向上】</li> <li>犯罪の起きる環境（状況）に着目し、安全・安心な環境づくりが求められている。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が55.9%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち（避難時に個室がつけられる。トイレの数を増やす等）」などの記述があった。【問15・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「災害対策・防犯・市民生活」(41件)では、「街灯の増設要望」、「防災無線が聞こえない」、「安全・安心のまちづくりへの期待」、「防犯カメラの設置要望」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の約9割(85.4%)が「安全・安心」を重要視している。</li> <li>まちづくりの方向性は「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が6割(55.9%)となっている。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物に不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前のシャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</p>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・約3割(32%)が「住んでいる環境やまちなみがよい」と朝霞市が好きな理由を答えている一方、約3割(29.3%)が「住んでいる環境やまちなみが良くない」と朝霞市が嫌いな理由を答えている。</li> <li>・まちづくりの方向性は「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が6割(61.0%)となっている。</li> </ul>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)
---------------------	----------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みに統一性のあるまちが求められている。</li> <li>・自然環境にやさしい住宅の多いまちが求められている。</li> <li>・安心、安全なまちが求められている。</li> <li>・住宅環境の改善が求められている。</li> <li>・まちの魅力づくりが求められている。</li> <li>・魅力を活かした景観が求められている。</li> <li>・利用しやすい交通が求められている。</li> <li>・空き家対策が求められている。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>(都市計画道路岡通線の事業認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催に当たっては、十分な周知を行ってほしい。</li> <li>・自転車道の整備予定など、市民の関心がありそうなことは、住民説明会で説明を行った方が良い。</li> </ul> <p>(景観づくり重点地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを公園通りで進めることが市民の方に景観づくりを理解していただくよい契機となる。</li> <li>・民有地を重点地区に指定することについて、指定後の維持管理を含めて、合意形成を進めた方が良い。</li> <li>・重点地区に対する市民の理解が必要不可欠である。理解を深めてもらえるような情報発信が必要である。</li> </ul> <p>(景観重要樹木の指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景観形成に資する取組になるので異論はない。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して指定することに意味がある。</li> <li>・公募に対する啓発方法を工夫した方が良い。</li> </ul>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の整備については、住民への十分な周知を行う必要がある。</li> <li>・景観については、市民の理解が必要不可欠であり、理解を深めてもらえるような情報が必要である。また、市民への啓発という意味で市が率先して推進することに意味がある。</li> </ul>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都直下地震等、首都圏での災害の発生に備え、各種訓練の実施や市内の救急救助体制を検討することが求められる。</li> <li>・近年激甚な災害が各地で頻発している状況をふまえ、重要な都市基盤であるインフラ等について、災害時に被害を最小限にとどめるよう関係機関と連携して必要な改修・整備を行うことが重要である。</li> <li>・災害時の大規模停電（ブラックアウト）による被害や災害復旧活動への影響を防ぐため、道路の無電柱化及び緊急輸送道路や幹線道路等の整備を検討することが求められる。</li> </ul> <p>・朝霞市の人口1千人あたりの刑法犯認知件数は、埼玉県平均より低いものの、比較自治体の中では比較的高い水準にあることから、防犯対策の強化が求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏での災害の発生に備え、各種訓練の実施や救急救助体制を検討するが求められている。</li> <li>・重要な都市施設であるインフラ等について、災害時に被害を最小限に抑えられるよう必要な補修・改修等が求められている。</li> <li>・道路の無電柱化及び緊急輸送道路や幹線道路等の整備が求められている。</li> </ul>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 今後の人口減少において、マンションが乱立する朝霞市が空き家問題をどうとらえて向き合っていくのかを感じられる計画や意志を知りたいと感じました。</p> <p>○ &lt;現状と課題&gt;</p> <p>● 都市化の進展による土地利用の変化に伴い雨水の浸透機能が低下し、集中豪雨時に浸水被害が頻発するなど、水循環の変化による問題が生じています。浸水被害の軽減や地下水の涵養を図るため雨水の流出を抑制する必要があります。</p> <p>● 集中豪雨の際の内水氾濫を軽減するために、道路の舗装は最小限にし、会社や公共の駐車場は原則舗装なしにすることを検討する必要があります。</p> <p>● 少子化・高齢化の進行、建築物の老朽化及び社会的ニーズの変化などに伴い、空き家の戸数は、今後、増加することが考えられるため、市民の安全・安心な生活環境を確保することが必要です。</p> <p>&lt;主な取組&gt;</p> <p>災害(地震火災水害)に強いまちづくり  市内の舗装を最小限にし、内水氾濫の軽減を図る  避難場所避難道路の確保  市街地における防犯機能の向上</p>	<p>・地域における防災対策が進み、地震・火災など災害の被害を最小限に抑えられるまちが求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-6-2	全ての人にやさしいまちづくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	全ての人にやさしいまちづくり
前期基本計画 の総括	オリンピック・パラリンピック見据えた外国人来訪者にも対応した、表示・標識等の多言語対応の強化・ユニバーサルデザインの促進が必要となる。 【コンパクトで利便性の高い生活環境整備】 【身近な生活空間のユニバーサルデザイン化の推進】 【ライフステージに合わせた住環境形成】 【公営住宅の確保】

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックを見据えた外国人来訪者にも対応した、表示・標識等の多言語対応の強化・ユニバーサルデザインの促進が必要となる。</li> <li>【コンパクトで利便性の高い生活環境整備】</li> <li>・高齢者や障害のある人なども誰もが便利に暮らしやすい都市機能の集約と、アクセスしやすい交通ネットワークの形成が求められている。</li> <li>【身近な生活空間のユニバーサルデザイン化の推進】</li> <li>・全ての人々が円滑に移動できるような公共交通機関・施設の整備などが求められている。</li> <li>【ライフステージに合わせた住環境の形成】</li> <li>・多様な生活様式に応じて住宅を選択できるような必要な支援策の検討が求められている。</li> <li>【公営住宅の確保】</li> <li>・高齢者や低所得者などに市が借り上げた公営住宅の提供が求められている。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高く、8割を超えている取組は、「ごみ処理」(90.2%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.0%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(83.9%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.8%)、「学校教育」(80.2%)の10項目である。【問12・重要度・全体】</li> </ul>
--------------------	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の約9割(85.4%)が「安全・安心」を重要視している。</li> </ul>
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物が不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</p> <p>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前のシャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</p>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・約3割(32%)が「住んでいる環境やまちなみがよい」と朝霞市が好きな理由を答えている。</li> <li>・まちづくりの方向性は「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が6割(61.0%)となっている。</li> </ul>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙6に記載(326ページ)
---------------------	----------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みに統一性のあるまちが求められている。</li> <li>・自然環境にやさしい住宅の多いまちが求められている。</li> <li>・安心、安全なまちが求められている。</li> <li>・住宅環境の改善が求められている。</li> <li>・まちの魅力づくりが求められている。</li> <li>・魅力を活かした景観が求められている。</li> <li>・利用しやすい交通が求められている。</li> <li>・空き家対策が求められている。</li> </ul>
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>(都市計画道路岡通線の事業認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会の開催に当たっては、十分な周知を行ってほしい。</li> <li>・自転車道の整備予定など、市民の関心がありそうなことは、住民説明会で説明を行った方が良い。</li> </ul> <p>(景観づくり重点地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを公園通りで進めることが市民の方に景観づくりを理解していただくよい契機となる。</li> <li>・民有地を重点地区に指定することについて、指定後の維持管理を含めて、合意形成を進めた方が良い。</li> <li>・重点地区に対する市民の理解が必要不可欠である。理解を深めてもらえるような情報発信が必要である。</li> </ul> <p>(景観重要樹木の指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の景観形成に資する取組になるので異論はない。</li> <li>・市民への啓発という意味で市が率先して指定することに意味がある。</li> <li>・公募に対する啓発方法を工夫した方が良い。</li> </ul>	
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、人口構成の変化により公共交通機関の重要性が高まると考えられ、市内公共交通網のあり方の検討を進めることが重要である。</li> <li>・公共施設のインフラ資産の更新・維持管理の効率的な運営に向けた検討が求められる。</li> </ul> <p>・分野ごとの取組の満足度・重要度調査によれば、「やや不満である」と「不満である」を合わせた高い割合となっているのは、「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての人にやさしく、配慮の行き届いたまちが求められている。</li> </ul>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○現状と課題            取り組み→取組（2か所）</p>	
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-7-1	魅力ある商業機能の形成

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	魅力ある商工業機能の形成
前期基本計画 の総括	市との連携を強化し、より魅力的な産業機能の確立及び空き店舗の解決に向けた対策が求められる。 【総合的な商店街活性化の促進】 【商店街の機能向上】 【事業者間の交流・連携の促進】 【既存工業の活性化】

考えられる市民・社会のニーズ
商工会や商店街等と連携し、空き店舗の活用に向けた対策を検討することが求められる。

市民意識調査 (客観的データ)	・住みつけたい理由は、「今の住まいに満足だから(住宅が広い、新しいなど)」の割合が22.3%で最も高く、続いて「通勤・通学に便利だから」(18.4%)、「買い物など日常生活が便利だから」(17.3%)、「地域になじみや愛着があるから」(14.7%)となっている。「その他」には、「交通の便が良い」、「子供たちが近くに住んでいる」などの記述があった。【問2・全体】 ・市外に移りたい理由は、「買い物など日常生活が不便だから」の割合が15.6%で最も高く、続いて「地域になじみや愛着がないから」(11.1%)となっている。「その他」には、「ポイ捨て、歩きタバコが多く環境が悪い」、「保育園に入れない」などの記述があった。【問3・全体】
市民意識調査 (自由記述)	・「都市基盤・産業振興」(195件)では、「道路整備」、「公共交通(バス)の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】

住みつけたい理由として「買い物など日常生活が便利」という割合が17.3%である一方、市外に移りたい理由の「買い物など日常生活が不便だから」という割合が15.6%となっており、少子高齢化や市民のライフスタイルの変化に伴った市内の買い物環境の更なる充実と利便性の向上が求められている。
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物に不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</li> <li>・まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。「その他」には、「駅前シャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。【問6・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>少子高齢化や市民のライフスタイルの変化に伴った市内の買い物環境の更なる充実と利便性の向上、魅力ある個店の創業支援などが求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【駅前・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul> <p>【自治会・町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p>【祭り・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>
---------------------	---

<p>空き店舗等の有効な活用や、魅力ある店舗の創業支援などに取り組む必要があります。</p>
--

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>○事業承継について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継をしていきたいとは考えるが、継ぐ後継者がいない。</li> <li>・店舗兼住宅が足かせになっており、親族以外の選択肢が難しい。</li> <li>・事業承継せず、事業整理するという選択もあると思うが、やめることの難しさもある。そのような相談ができるような場が必要</li> <li>・人手不足や従業員の働き方改革など、売り上げは増えないのに経費が増え、経営者でいることのメリットがないと感じる。</li> <li>・事業承継については、商業部会でも大きな課題と捉えており、今年度、商工会理事会で、「事業承継創造委員会」を設置し、具体的に課題や対応策について協議していこうと検討中なので、行政としても、商工会と一緒に考えてほしい。</li> <li>・「自分の代で終わり」という人は結構多い。「まあまあ繁盛している」程度だと、下の代が承継してくれようとならない(特に飲食店)。</li> </ul> <p>○商工会のイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店をPRできる場は多いが、産業フェアなど工業部会や建設部会などもPRできるようなイベントを実施する必要がある。</li> <li>・昔は毎月やっていたようなイベントが、やり手がどんどん減っていつている。何とか引き継いでくれる人が出てきてくれれば嬉しい。</li> <li>・中小の店舗が参加できる、市全体として盛り上がりのあるようなイベントができればいい。</li> <li>・他市町村の商店会との意見交換をしてみたい。</li> <li>・小売店が一同に集まるイベント等ができればいい。</li> <li>・商店会で中学生等に向けた職業体験の実施</li> </ul> <p>○空き店舗について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗兼住宅が多いので、営業をしなくなったとしてもそこを使ってもらおうというのは考えにくい。</li> <li>・空いている単独店舗などは、従前営業していた業種と同じ業種を引っ張ってくるのもいいのではないかな。</li> <li>・空いている店舗の場所などをホームページで紹介したり、広報で店舗建物の所有者に情報提供を求めたりしてもいいのではないかな。</li> <li>・市で強いルールを作っていく必要。そのルールのもと商店会と行政で協力して、空き店舗に相談していつてはどうか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業向けの補助金があるとよい</li> <li>・店舗向けリフォーム補助金があると店舗リニューアルのきっかけになる。</li> <li>・大手スーパーの店舗内に市内事業者の商品を置いてもらうなど、市内産業の活性化に協力できないかな。</li> <li>・市内の空いた土地に大手ショッピングモールなど来るとありがたい。</li> <li>・街並みがおしゃれになるとよい</li> </ul> <p>・地元のことを考えた活動が多いと感じているが、知らない人が多く、情報発信の難しさを感じている。地域の人向けに、市内のことを紹介する広報やwebなどがあればいいのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京に近いことから、最低賃金を東京の水準に上げていかないと人材が集まりにくいから、何か対策等があるとよい。</li> <li>・共働きの多い地域であるため、子育て支援として子ども食堂などが充実していけばよいと感じている。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>店舗経営の安定化や店主の高齢化、後継者不足に対応した相談の充実や後継者の育成、経営計画の作成支援などに取り組む必要があります。</p>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○現状と課題 取組む→取り組む</p> <p>○ 「商店街」の賑わいは1950～60年代のものと認識しています。時代は変わり「商店街活性化」の発想から転換し、街の魅力、賑わい、住みたい街などの観点から商業も含め、総合的にまちづくりを考えていくことを打ち出す必要を感じます。 「朝霞で商店街の賑わいを取り戻す」のは困難だと思います。「現状と課題」の全面書き換えを検討してください。</p> <p>○ 新規店舗の資金面での支援が不可欠であると考えます。融資や補助金制度の拡充を検討してもらいたいです。</p> <p>○ 地域コミュニティの核である商店街の活性化に道遊びを取り入れるのが良いと考えます。</p>	<p>起業に関する相談・セミナーのより一層利用しやすい環境づくりや、資金面での助成制度など起業時や起業後においても継続的な支援について取組んでいく必要があります。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-7-2	中小企業の経営基盤の強化

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	中小企業の経営基盤の強化
前期基本計画 の総括	市との連携を強化し、中小企業の安定経営を保持する取り組みに努める必要がある。 【情報収集と相談機能の充実】 【人材育成と組織強化の支援】 【経営への支援】

考えられる市民・社会のニーズ
中小企業の経営安定を支援するため、商工会と連携し経営相談等の支援策を充実させていく必要があります。

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【駅前・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul> <p>【自治会・町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p>【祭り・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>	<p>空き店舗等の有効な活用や、魅力ある店舗の創業支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>○事業承継について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継をしていきたいとは考えるが、継ぐ後継者がいない。</li> <li>・店舗兼住宅が足かせになっており、親族以外の選択肢が難しい。</li> <li>・事業承継せず、事業整理するという選択もあると思うが、やめることの難しさもある。そのような相談ができるような場が必要</li> <li>・人手不足や従業員の働き方改革など、売り上げは増えないのに経費が増え、経営者でいることのメリットがないと感じる。</li> <li>・事業承継については、商業部会でも大きな課題と捉えており、今年度、商工会理事会で、「事業承継創造委員会」を設置し、具体的に課題や対応策について協議していこうと検討中なので、行政としても、商工会と一緒に考えてほしい。</li> <li>・「自分の代で終わり」という人は結構多い。「まあまあ繁盛している」程度だと、下の代が承継してくれようとならない(特に飲食店)。</li> </ul> <p>○商工会のイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店をPRできる場は多いが、産業フェアなど工業部会や建設部会などもPRできるようなイベントを実施する必要がある。</li> <li>・昔は毎月やっていたようなイベントが、やり手がどんどん減っていつている。何とか引き継いでくれる人が出てきてくれれば嬉しい。</li> <li>・中小の店舗が参加できる、市全体として盛り上がりのあるようなイベントができればいい。</li> <li>・他市町村の商店会との意見交換をしてみたい。</li> <li>・小売店が一同に集まるイベント等ができればいい。</li> <li>・商店会で中学生等に向けた職業体験の実施</li> </ul> <p>○空き店舗について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗兼住宅が多いので、営業をしなくなったとしてもそこを使ってもらおうというのは考えにくい。</li> <li>・空いている単独店舗などは、従前営業していた業種と同じ業種を引っ張ってくるのもいいのではないか。</li> <li>・空いている店舗の場所などをホームページで紹介したり、広報で店舗建物の所有者に情報提供を求めたりしてもいいのではないか。</li> <li>・市で強いルールを作っていく必要。そのルールのもと商店会と行政で協力して、空き店舗に相談していつてはどうか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家向けの補助金があるとよい</li> <li>・店舗向けリフォーム補助金があると店舗リニューアルのきっかけになる。</li> <li>・大手スーパーの店舗内に市内事業者の商品を置いてもらうなど、市内産業の活性化に協力できないか。</li> <li>・市内の空いた土地に大手ショッピングモールなど来るとありがたい。</li> <li>・街並みがおしゃれになるとよい</li> </ul> <p>・地元のことを考えた活動が多いと感じているが、知らない人が多く、情報発信の難しさを感じている。地域の人の向けに、市内のことを紹介する広報やwebなどがあればよいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京に近いことから、最低賃金を東京の水準にあげていかないと人材が集まりにくいと、何か対策等があるとよい。</li> <li>・共働きが多い地域であるため、子育て支援として子ども食堂などが充実していけばよいと感じている。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>店舗経営の安定化や店主の高齢化、後継者不足に対応した相談の充実や後継者の育成、経営計画の作成支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見ると事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。</li> <li>・水道の管路の経年率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で屋間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> </ul>
------------	---

<p>市内事業者の大多数を占める小規模事業者・中小企業において、厳しい景況感にあり、経営基盤の弱体化が懸念されます。また、事業者、従業員の高齢化も進んでおり、事業承継や人材不足の解消など総合的な操業継続の支援に取組む必要があります。</p>
--

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○現状と課題 取組む→取り組む</p> <p>○ 個人事業主やフリーランスでの働き方などを支援するためのレンタルオフィスの設置・誘致や事業の依頼者と請負者を結ぶシステム構築の検討をお願いします。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>市内事業者の同業種企業による連携の取組は進んでいないのが現状で、関係団体だけでなく民間事業者とも連携した連携推進の取組が必要です。 施策5-8-1「産業育成のための連携強化」に関連)</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-7-3	企業誘致の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	(該当なし)
前期基本計画 の総括	

考えられる市民・社会のニーズ

市民意識調査 (客観的データ)	
--------------------	--

--

市民意識調査 (自由記述)	
------------------	--

--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【駅前・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul> <p>【自治会・町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p>【祭り・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>	<p>空き店舗等の有効な活用や、魅力ある店舗の創業支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>○事業承継について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継をしていきたいとは考えるが、継ぐ後継者がいない。</li> <li>・店舗兼住宅が足かせになっており、親族以外の選択肢が難しい。</li> <li>・事業承継せず、事業整理するという選択もあると思うが、やめることの難しさもある。そのような相談ができるような場が必要</li> <li>・人手不足や従業員の働き方改革など、売り上げは増えないのに経費が増え、経営者でいることのメリットがないと感じる。</li> <li>・事業承継については、商業部会でも大きな課題と捉えており、今年度、商工会理事会で、「事業承継創造委員会」を設置し、具体的に課題や対応策について協議していこうと検討中なので、行政としても、商工会と一緒に考えてほしい。</li> <li>・「自分の代で終わり」という人は結構多い。「まあまあ繁盛している」程度だと、下の代が承継してくれようとならない(特に飲食店)。</li> </ul> <p>○商工会のイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店をPRできる場は多いが、産業フェアなど工業部会や建設部会などもPRできるようなイベントを実施する必要がある。</li> <li>・昔は毎月やっていたようなイベントが、やり手がどんどん減っていつている。何とか引き継いでくれる人が出てきてくれれば嬉しい。</li> <li>・中小の店舗が参加できる、市全体として盛り上がりのあるようなイベントができればいい。</li> <li>・他市町村の商店会との意見交換をしてみたい。</li> <li>・小売店が一同に集まるイベント等ができればいい。</li> <li>・商店会で中学生等に向けた職業体験の実施</li> </ul> <p>○空き店舗について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗兼住宅が多いので、営業をしなくなったとしてもそこを使ってもらおうというのは考えにくい。</li> <li>・空いている単独店舗などは、従前営業していた業種と同じ業種を引っ張ってくるのもいいのではないかな。</li> <li>・空いている店舗の場所などをホームページで紹介したり、広報で店舗建物の所有者に情報提供を求めたりしてもいいのではないかな。</li> <li>・市で強いルールを作っていく必要。そのルールのもと商店会と行政で協力して、空き店舗に相談していつてはどうか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業向けの補助金があるとよい</li> <li>・店舗向けリフォーム補助金があると店舗リニューアルのきっかけになる。</li> <li>・大手スーパーの店舗内に市内事業者の商品を置いてもらうなど、市内産業の活性化に協力できないかな。</li> <li>・市内の空いた土地に大手ショッピングモールなど来るとありがたい。</li> <li>・街並みがおしゃれになるとよい</li> </ul> <p>・地元のことを考えた活動が多いと感じているが、知らない人が多く、情報発信の難しさを感じている。地域の人向けに、市内のことを紹介する広報やwebなどがあればいいのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京に近いことから、最低賃金を東京の水準にあげていかないと人材が集まりにくいから、何か対策等があるとよい。</li> <li>・共働きが多い地域であるため、子育て支援として子ども食堂などが充実していけばよいと感じている。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>店舗経営の安定化や、店主の高齢化や後継者不足に対応した相談の充実、後継者の育成、経営計画の作成支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 企業誘致が柱立てされ、取組に期待しているが、今後の企業誘致の見込みはあるのか。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>都心に近く、交通利便性が良い本市は、企業の立地条件としては優れているものの市域の宅地利用が進行する中で、産業利用に適した土地が不足し、新規企業の立地や事業拡大等による市内事業者の市内移転も困難となっていることから、産業利用に適した用地創出の検討が必要です。</p> <p>また、立地条件から、住宅都市としての性格の強い本市においては、企業や店舗の誘致を進めるに当たって、市民のニーズに合った誘致を進める必要があります。</p>

職員コメント	<p>現状と課題 文章に区切りを、設けた方がわかりやすいと思います。</p>
--------	--

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-7-4	都市農業の振興

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	都市農業の振興
前期基本計画 の総括	遊休農地の活用として、利用希望者が簡単に農地の借用できるような仕組みを構築するとともに、農業体験の場を提供することで市民の認知度を向上させることが求められる。 【都市農業の振興】 【農地の保全】

考えられる市民・社会のニーズ
市民が農業を体験できる場を提供することなどにより、農業に対する理解を深めることが求められている。

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【駅前・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul> <p>【自治会・町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p>【祭り・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>	<p>優良農地の保全や耕作していない農地の再生等により、農地を保全していくことが求められている。</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営の現状について、家族経営であり、外的な影響に弱く非常に厳しい状況である。また、労働条件については、労働力の確保が難しい状況であり、生産方式や経営管理の合理化を図り改善を図っていく必要がある。</li> <li>・におい等近隣住民からの苦情に対応するため、猛暑でも牛舎の窓を開けることができず飼育に影響が出るなど、近隣住民との距離が近い都市農業特有の問題がある。</li> <li>・農業経営改善計画の認定により、今後5年間の農業経営の目標を達成するため、或いは定期的な振り返りを行い、農業経営の改善を行っていくが、資金面も含め様々な点から市に支援してもらいたい。</li> <li>・当該農家は後継者が就農しているが、市全体を見れば後継者不足は深刻となっている。朝霞市の農業が衰退しないようこれまで以上に、市、農協及び生産者の連携を深め支援を強化してほしい。</li> <li>・家族経営で後継者を中心に経営し、経営自体は成り立っているが、定められた休日や、さらに経営を安定させるための労働力の確保は難しい状況にある。</li> <li>・農業経営改善計画の認定により、今後5年間の農業経営の目標を達成するため、或いは定期的な振り返りを行い、農業経営の改善を行っていくが、資金面も含め様々な点から市に支援してもらいたい。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>農業経営の安定・生産性の向上・地産地消の拡大など農業振興のための総合的な取り組みを進めることが求められている。</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見る事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。</li> <li>・水道の管路の経年化率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で昼間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと住環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> </ul>
------------	--

<p>市内事業者の大多数を占める小規模事業者・中小企業において、厳しい景況感にあり、経営基盤の弱体化が懸念されます。また、事業者、従業員の高齢化も進んでおり、事業承継や人材不足の解消など総合的な操業継続の支援に取組む必要があります。 (施策5-7-2「中小企業の経営基盤の強化」の記載内容の再掲)</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○現状と課題            取り組み→取組</p> <p>○ 低リスクで農業参入できるように、農地貸借の促進、技術指導の充実を図ってほしいです。</p>	<p>農業経営基盤強化の促進を図るため、新たな農業経営者の育成や確保に取り組む必要があります。</p> <p>(施策5-8-1「産業育成のための連携強化」の現状と課題、小柱4「農業経営基盤強化のための連携」の再掲)</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-8-1	産業育成のための連携強化

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	産業育成のための連携強化
前期基本計画 の総括	市との連携を強化し、より魅力的な産業機能の確立及び空き店舗の解決に向けた対策が求められる。 【情報の収集と発信】 【市民と事業者の連携促進】 【地域に密着した産業の振興】 【新たな農業経営強化の促進】

考えられる市民・社会のニーズ
商工会や商店街等と連携し、空き店舗の活用に向けた対策を検討することが求められる。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)

市民意識調査 (客観的データ)	-
市民意識調査 (自由記述)	-

-
-

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【駅前・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul> <p>【自治会・町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p>【祭り・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>	<p>空き店舗等の有効な活用や、魅力ある店舗の創業支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>○事業承継について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継をしていきたいとは考えるが、継ぐ後継者がいない。</li> <li>・店舗兼住宅が足かせになっており、親族以外の選択肢が難しい。</li> <li>・事業承継せず、事業整理するという選択もあると思うが、やめることの難しさもある。そのような相談ができるような場が必要</li> <li>・人手不足や従業員の働き方改革など、売り上げは増えないのに経費が増え、経営者でいることのメリットがないと感じる。</li> <li>・事業承継については、商業部会でも大きな課題と捉えており、今年度、商工会理事会で、「事業承継創造委員会」を設置し、具体的に課題や対応策について協議していこうと検討中なので、行政としても、商工会と一緒に考えてほしい。</li> <li>・「自分の代で終わり」という人は結構多い。「まあまあ繁盛している」程度だと、下の代が承継してくれようとならない(特に飲食店)。</li> </ul> <p>○商工会のイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店をPRできる場は多いが、産業フェアなど工業部会や建設部会などもPRできるようなイベントを実施する必要がある。</li> <li>・昔は毎月やっていたようなイベントが、やり手がどんどん減っていつている。何とか引き継いでくれる人が出てきてくれれば嬉しい。</li> <li>・中小の店舗が参加できる、市全体として盛り上がりのあるようなイベントができればいい。</li> <li>・他市町村の商店会との意見交換をしてみたい。</li> <li>・小売店が一同に集まるイベント等ができればいい。</li> <li>・商店会で中学生等に向けた職業体験の実施</li> </ul> <p>○空き店舗について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗兼住宅が多いので、営業をしなくなったとしてもそこを使ってもらおうというのは考えにくい。</li> <li>・空いている単独店舗などは、従前営業していた業種と同じ業種を引っ張ってくるのもいいのではないか。</li> <li>・空いている店舗の場所などをホームページで紹介したり、広報で店舗建物の所有者に情報提供を求めたりしてもいいのではないか。</li> <li>・市で強いルールを作っていく必要。そのルールのもと商店会と行政で協力して、空き店舗に相談していつてはどうか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業向けの補助金があるとよい</li> <li>・店舗向けリフォーム補助金があると店舗リニューアルのきっかけになる。</li> <li>・大手スーパーの店舗内に市内事業者の商品を置いてもらうなど、市内産業の活性化に協力できないか。</li> <li>・市内の空いた土地に大手ショッピングモールなど来るとありがたい。</li> <li>・街並みがおしゃれになるとよい</li> </ul> <p>・地元のことを考えた活動が多いと感じているが、知らない人が多く、情報発信の難しさを感じている。地域の人向けに、市内のことを紹介する広報やwebなどがあればいいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京に近いことから、最低賃金を東京の水準に上げていかないと人材が集まりにくいと、何か対策等があるとよい。</li> <li>・共働きの多い地域であるため、子育て支援として子ども食堂などが充実していけばよいと感じている。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>市内事業者の同業種企業による連携推進の取組が必要です。 産・学・官の連携と異業種交流の体制づくりの支援について検討する必要があります。</p>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-8-2	起業・創業の支援

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	起業・創業の支援
前期基本計画 の総括	市との連携を強化し、中小企業の安定経営を保持する取り組みに努める必要がある。 【支援体制の充実】 【人材の育成】 【新たな産業の創出】

考えられる市民・社会のニーズ
中小企業の経営安定を支援するため、商工会と連携し経営相談等の支援策を充実させていく必要があります。 (施策5-7-2「中小企業の経営基盤の強化」の記載内容の再掲)

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【駅前・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul> <p>【自治会・町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p>【祭り・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>	<p>空き店舗等の有効な活用や、魅力ある店舗の創業支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>○事業承継について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継をしていきたいとは考えるが、継ぐ後継者がいない。</li> <li>・店舗兼住宅が足かせになっており、親族以外の選択肢が難しい。</li> <li>・事業承継せず、事業整理するという選択もあると思うが、やめることの難しさもある。そのような相談ができるような場が必要</li> <li>・人手不足や従業員の働き方改革など、売り上げは増えないのに経費が増え、経営者でいることのメリットがないと感じる。</li> <li>・事業承継については、商業部会でも大きな課題と捉えており、今年度、商工会理事会で、「事業承継創造委員会」を設置し、具体的に課題や対応策について協議していこうと検討中なので、行政としても、商工会と一緒に考えてほしい。</li> <li>・「自分の代で終わり」という人は結構多い。「まあまあ繁盛している」程度だと、下の代が承継してくれようとならない(特に飲食店)。</li> </ul> <p>○商工会のイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店をPRできる場は多いが、産業フェアなど工業部会や建設部会などもPRできるようなイベントを実施する必要がある。</li> <li>・昔は毎月やっていたようなイベントが、やり手がどんどん減っていつている。何とか引き継いでくれる人が出てきてくれれば嬉しい。</li> <li>・中小の店舗が参加できる、市全体として盛り上がりのあるようなイベントができればいい。</li> <li>・他市町村の商店会との意見交換をしてみたい。</li> <li>・小売店が一同に集まるイベント等ができればいい。</li> <li>・商店会で中学生等に向けた職業体験の実施</li> </ul> <p>○空き店舗について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗兼住宅が多いので、営業をしなくなったとしてもそこを使ってもらおうというのは考えにくい。</li> <li>・空いている単独店舗などは、従前営業していた業種と同じ業種を引っ張ってくるのもいいのではないか。</li> <li>・空いている店舗の場所などをホームページで紹介したり、広報で店舗建物の所有者に情報提供を求めたりしてもいいのではないか。</li> <li>・市で強いルールを作っていく必要。そのルールのもと商店会と行政で協力して、空き店舗に相談していつてはどうか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業向けの補助金があるとよい</li> <li>・店舗向けリフォーム補助金があると店舗リニューアルのきっかけになる。</li> <li>・大手スーパーの店舗内に市内事業者の商品を置いてもらうなど、市内産業の活性化に協力できないか。</li> <li>・市内の空いた土地に大手ショッピングモールなど来るとありがたい。</li> <li>・街並みがおしゃれになるとよい</li> </ul> <p>・地元のことを考えた活動が多いと感じているが、知らない人が多く、情報発信の難しさを感じている。地域の人向けに、市内のことを紹介する広報やwebなどがあればいいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京に近いことから、最低賃金を東京の水準に上げていかないと人材が集まりにくいいため、何か対策等があるとよい。</li> <li>・共働きの多い地域であるため、子育て支援として子ども食堂などが充実していけばよいと感じている。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>店舗経営の安定化や、店主の高齢化や後継者不足に対応した相談の充実、後継者の育成、経営計画の作成支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○現状と課題 取組んで→取組んで</p>	
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-9-1	勤労者支援の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	勤労者支援の充実
前期基本計画 の総括	子育て支援施策との連携を図りつつ、外で働けない母親の就労支援を実施するなど、様々なライフスタイルに応える必要がある。 【労働相談の充実】 【労働関係法令の啓発】

考えられる市民・社会のニーズ
雇用形態が多様化する中において、相談体制の整備などによる勤労者支援を充実していく取組が必要です。

市民意識調査 (客観的データ)	・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠前から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】
--------------------	---

人口減少・少子高齢化対策として、「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」の割合が高いことから、就職に関する相談・セミナーのより一層利用しやすい環境づくりが求められています。(施策5-9-2「雇用の促進」に関連)
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	-
青少年アンケート (自由記述)	-	-
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【駅前・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul> <p>【自治会・町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p>【祭り・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>	<p>空き店舗等の有効活用や、魅力ある店舗の創業支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>○事業承継について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継をしていきたいとは考えるが、継ぐ後継者がいない。</li> <li>・店舗兼住宅が足かせになっており、親族以外の選択肢が難しい。</li> <li>・事業承継せず、事業整理するという選択もあると思うが、やめることの難しさもある。そのような相談ができるような場が必要</li> <li>・人手不足や従業員の働き方改革など、売り上げは増えないのに経費が増え、経営者でいることのメリットがないと感じる。</li> <li>・事業承継については、商業部会でも大きな課題と捉えており、今年度、商工会理事会で、「事業承継創造委員会」を設置し、具体的に課題や対応策について協議していこうと検討中なので、行政としても、商工会と一緒に考えてほしい。</li> <li>・「自分の代で終わり」という人は結構多い。「まあまあ繁盛している」程度だと、下の代が承継してくれようとならない(特に飲食店)。</li> </ul> <p>○商工会のイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店をPRできる場は多いが、産業フェアなど工業部会や建設部会などもPRできるようなイベントを実施する必要がある。</li> <li>・昔は毎月やっていたようなイベントが、やり手がどんどん減っていつている。何とか引き継いでくれる人が出てきてくれれば嬉しい。</li> <li>・中小の店舗が参加できる、市全体として盛り上がりのあるようなイベントができればいい。</li> <li>・他市町村の商店会との意見交換をしてみたい。</li> <li>・小売店が一同に集まるイベント等ができればいい。</li> <li>・商店会で中学生等に向けた職業体験の実施</li> </ul> <p>○空き店舗について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗兼住宅が多いので、営業をしなくなったとしてもそこを使ってもらおうというのは考えにくい。</li> <li>・空いている単独店舗などは、従前営業していた業種と同じ業種を引っ張ってくるのもいいのではないか。</li> <li>・空いている店舗の場所などをホームページで紹介したり、広報で店舗建物の所有者に情報提供を求めたりしてもいいのではないか。</li> <li>・市で強いルールを作っていく必要。そのルールのもと商店会と行政で協力して、空き店舗に相談していつてはどうか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業向けの補助金があるとよい</li> <li>・店舗向けリフォーム補助金があると店舗リニューアルのきっかけになる。</li> <li>・大手スーパーの店舗内に市内事業者の商品を置いてもらうなど、市内産業の活性化に協力できないか。</li> <li>・市内の空いた土地に大手ショッピングモールなど来るとありがたい。</li> <li>・街並みがおしゃれになるとよい</li> </ul> <p>・地元のことを考えた活動が多いと感じているが、知らない人が多く、情報発信の難しさを感じている。地域の人向けに、市内のことを紹介する広報やwebなどがあればいいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京に近いことから、最低賃金を東京の水準にあげていかないと人材が集まりにくいいため、何か対策等があるとよい。</li> <li>・共働きの多い地域であるため、子育て支援として子ども食堂などが充実していけばよいと感じている。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>店舗経営の安定化や、店主の高齢化や後継者不足に対応した相談の充実、後継者の育成、経営計画の作成支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○現状と課題 取組み→取組 取組み→取組</p>	
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
5-9-2	雇用の促進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	雇用の促進
前期基本計画 の総括	多様な働き方への対応やワークライフバランスの推進事業の周知方法の改善することに加え、地域経済の活性化を通じた 歳入の確保を実施する必要がある。 【雇用の促進】 【就職希望者に対する支援の充実】

考えられる市民・社会のニーズ
暮らしやすく働きやすいまちの実現に向けて、多様な働き方への対応やワーク・ライフ・バランスの推進の重要性を市内企業に認識してもらう必要があります。地域における雇用の確保について、関係機関と連携し推進していく必要があります。

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	
青少年アンケート (自由記述)	-	
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【駅前・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul> <p>【自治会・町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul> <p>【祭り・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>	<p>空き店舗等の有効な活用や、魅力ある店舗の創業支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>○事業承継について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継をしていきたいとは考えるが、継ぐ後継者がいない。</li> <li>・店舗兼住宅が足かせになっており、親族以外の選択肢が難しい。</li> <li>・事業承継せず、事業整理するという選択もあると思うが、やめることの難しさもある。そのような相談ができるような場が必要</li> <li>・人手不足や従業員の働き方改革など、売り上げは増えないのに経費が増え、経営者でいることのメリットがないと感じる。</li> <li>・事業承継については、商業部会でも大きな課題と捉えており、今年度、商工会理事会で、「事業承継創造委員会」を設置し、具体的に課題や対応策について協議していこうと検討中なので、行政としても、商工会と一緒に考えてほしい。</li> <li>・「自分の代で終わり」という人は結構多い。「まあまあ繁盛している」程度だと、下の代が承継してくれようとならない(特に飲食店)。</li> </ul> <p>○商工会のイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店をPRできる場は多いが、産業フェアなど工業部会や建設部会などもPRできるようなイベントを実施する必要がある。</li> <li>・昔は毎月やっていたようなイベントが、やり手がどんどん減っていつている。何とか引き継いでくれる人が出てきてくれば嬉しい。</li> <li>・中小の店舗が参加できる、市全体として盛り上がりのあるようなイベントができればいい。</li> <li>・他市町村の商店会との意見交換をしてみたい。</li> <li>・小売店が一同に集まるイベント等ができればいい。</li> <li>・商店会で中学生等に向けた職業体験の実施</li> </ul> <p>○空き店舗について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗兼住宅が多いので、営業をしなくなったとしてもそこを使ってもらおうというのは考えにくい。</li> <li>・空いている単独店舗などは、従前営業していた業種と同じ業種を引っ張ってくるのもいいのではないか。</li> <li>・空いている店舗の場所などをホームページで紹介したり、広報で店舗建物の所有者に情報提供を求めたりしてもいいのではないか。</li> <li>・市で強いルールを作っていく必要。そのルールのもと商店会と行政で協力して、空き店舗に相談していつてはどうか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家向けの補助金があるとよい</li> <li>・店舗向けリフォーム補助金があると店舗リニューアルのきっかけになる。</li> <li>・大手スーパーの店舗内に市内事業者の商品を置いてもらうなど、市内産業の活性化に協力できないか。</li> <li>・市内の空いた土地に大手ショッピングモールなど来るとありがたい。</li> <li>・街並みがおしゃれになるとよい</li> </ul> <p>・地元のことを考えた活動が多いと感じているが、知らない人が多く、情報発信の難しさを感じている。地域の人向けに、市内のことを紹介する広報やwebなどがあればいいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京に近いことから、最低賃金を東京の水準にあげていかないと人材が集まりにくいと、何か対策等があるとよい。</li> <li>・共働きが多い地域であるため、子育て支援として子ども食堂などが充実していけばよいと感じている。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>店舗経営の安定化や、店主の高齢化や後継者不足に対応した相談の充実、後継者の育成、経営計画の作成支援などに取り組む必要があります。 (施策5-7-1「魅力ある商業機能の形成」の記載内容の再掲)</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所数は減少傾向にあり、特に第2次産業においては産業全体から見ると事業者比率の内訳としても減少傾向にあることから、減少の傾向が顕著であることがうかがえる。</li> <li>・水道の管路の経年率が高いため、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> <li>・単独世帯割合が高いことから、市内に長期間定住している人が少ない可能性があり、今後人口の定着を図るには、様々な住宅ニーズの把握が必要と考えられる。</li> <li>・昼夜間人口比率が低いことから、通勤や通学で屋間に市外に出る市民が多く、市内での雇用の受け皿が少ない可能性がある。</li> <li>・空き家は増加傾向にあり、適正な管理がされないと環境に悪影響を及ぼすおそれがあることから、対策の検討が必要である。</li> <li>・下水道管は老朽化に伴い更新時期を迎えることから、計画的に更新することが必要と考えられる。</li> </ul>
------------	---

<p>市内事業者の大多数を占める小規模事業者・中小企業において、厳しい景況感にあり、経営基盤の弱体化が懸念されます。また、事業者、従業員の高齢化も進んでおり、事業承継や人材不足の解消など総合的な操業継続の支援に取組む必要があります。 (施策5-7-2「中小企業の経営基盤の強化」の記載内容の再掲)</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-1-1	人権教育・啓発活動

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	人権教育・啓発活動
前期基本計画 の総括	<p>学校内外における人権教育の機会提供の充実が求められる。</p> <p>【学校教育における人権教育の推進】学校施設では学生が能動的に研修参加できる機会が少ないため、人権教育・人権啓発の更なる推進が求められる。</p> <p>【社会教育における人権教育の推進】研修会・講演会等の開催日程、周知の方法など見直す必要が考えられる。</p> <p>【人権啓発活動の推進】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>・学校内外における人権教育の機会提供の充実が求められる。</p> <p>【学校教育における人権教育の推進】学校施設では学生が能動的に研修参加できる機会が少ないため、人権教育・人権啓発の更なる推進が求められる。</p> <p>【社会教育における人権教育の推進】研修会・講習会等の開催日程、周知の方法など見直す必要が考えられる。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【地域でのつながりづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等等、その他、多様性がみとめられていない。</li> <li>・自治体、町内会の役割、活動が不十分ではないか。</li> <li>・市民どうしのつながりがうすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6章の大柱2の「男女平等」でニーズを検討している。</li> </ul>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権教育・人権啓発」について、文部科学省の管轄の人権教育と法務省の管轄の人権啓発が常に情報共有し、密接な関係性を築いていく必要があると思うので、関係部署の横のつながりの充実を図ってほしい。</li> <li>・「人権教育・人権啓発」について、個別具体的事業としての人権教室について対象者や回数などの充実を図っていくために協力していきたい。例えば、幼稚園や保育園の実施も検討し、小さい時から人権に触れる機会を提供していきたい。</li> <li>・事業評価として、推進の結果や目標数値については、具体的な数字も必要であり、また、数値以外の評価があれば、事業協力をすすめる中でやりがいが出てくると思う。</li> <li>・男女が平等に活躍できる社会に向けては、男性中心型労働慣行を見直し、社会全体の働き方を変えなければならない。そのためには、意思決定の場への女性の参画を拡大する必要がある。女性リーダーを育てるシステムを構築し、まずは市役所から実践、市内事業所へも広めてほしい。</li> <li>・性の多様性が尊重される社会に向けては、児童期から学校教育の中で意識づけをしていくことが非常に大切と思われる。小学校から、授業の中で外部講師等を招いて学ぶ時間を設けてほしい。</li> <li>・市の事業について、よりわかりやすく市民が関心を持てるように、また全ての市民に情報が行き届くように、内容や周知方法を工夫した広報活動を心がけてほしい。</li> <li>・女性活躍推進については、社会全体の見直しが必要であり、女性管理職を集め意見を出し合い育成していく、可視化することが必要。</li> <li>・男女平等については、人によって考え方に相違があるため、一人ひとりの個性を認める社会、特性と個性を大事にし、チャンスが平等にあることを認識できる社会が必要である。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権教育・人権啓発」について、文部科学省の管轄の人権教育と法務省の管轄の人権啓発が常に情報共有し、密接な関係性を築いていく必要があると思うので、関係部署の横のつながりの充実を図ってほしい。</li> <li>・「人権教育・人権啓発」について、個別具体的事業としての人権教室について対象者や回数などの充実を図っていくために協力したい。幼少期からの人権教育を提供したい。</li> <li>・「人権教育・人権啓発」について、よりわかりやすく市民が関心を持てるように、また全ての市民に情報が行き届くように、内容や周知方法を工夫した広報活動を心がけてほしい。</li> <li>・事業評価として、推進の結果や目標数値については、具体的な数字も必要であり、また、数値以外の評価があれば、事業協力の中でやりがいが出てくる。</li> </ul>

まちづくりの課題整理	-
------------	---

-
---



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 抜本的な見直しが必要で、動員中心・有名人を呼ぶ講師選定ではなく教育効果に重点を置いた内容と講師選定に変えて行く必要がある。</li> <li>○ 市民に分かりづらい、未消化のカタカナ表記をする場合には、漢字ルビをつける。</li> </ul> <p>ドメスティックバイオレンス（DV 家庭内暴力）</p>	
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-1-2	問題解決に向けた支援体制の充実

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	問題解決に向けた支援体制の充実
前期基本計画 の総括	<p>人権侵害の事案は増加傾向にあることから、人権相談においては、相談者が相談しやすい環境を作ることや、相談体制の充実を図るとともに、国、県等の関係機関や庁内関係各課との連携を強化する必要がある。</p> <p>【人権施策の推進体制】 【人権問題について、国、県、関係機関との連携】 【相談や連携による問題解決の支援】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>人権侵害の事案は増加傾向にあることから、人権相談においては、相談者が相談しやすい環境を作ることや、相談体制の充実を図るとともに、国、県等の関係機関や庁内関係各課との連携の強化を求められている。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【地域でのつながりづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等、その他、多様性がみとめられていない。</li> <li>・自治体、町内会の役割、活動が不十分ではないか。</li> <li>・市民どうしのつながりがうすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6章の大柱2の「男女平等」でニーズを検討している。</li> </ul>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権教育・人権啓発」について、文部科学省の管轄の人権教育と法務省の管轄の人権啓発が常に情報共有し、密接な関係性を築いていく必要があると思うので、関係部署の横のつながりの充実を図ってほしい。</li> <li>・「人権教育・人権啓発」について、個別具体的事業としての人権教室について対象者や回数などの充実を図っていくために協力していきたい。例えば、幼稚園や保育園の実施も検討し、小さい時から人権に触れる機会を提供していきたい。</li> <li>・事業評価として、推進の結果や目標数値については、具体的な数字も必要であり、また、数値以外の評価があれば、事業協力をすすめる中でやりがいが出てくると思う。</li> <li>・男女が平等に活躍できる社会に向けては、男性中心型労働慣行を見直し、社会全体の働き方を変えなければならない。そのためには、意思決定の場への女性の参画を拡大する必要がある。女性リーダーを育てるシステムを構築し、まずは市役所から実践、市内事業所へも広めてほしい。</li> <li>・性の多様性が尊重される社会に向けては、児童期から学校教育の中で意識づけをしていくことが非常に大切と思われる。小学校から、授業の中で外部講師等を招いて学ぶ時間を設けてほしい。</li> <li>・市の事業について、よりわかりやすく市民が関心を持てるように、また全ての市民に情報が行き届くように、内容や周知方法を工夫した広報活動を心がけてほしい。</li> <li>・女性活躍推進については、社会全体の見直しが必要であり、女性管理職を集め意見を出し合い育成していく、可視化することが必要。</li> <li>・男女平等については、人によって考え方に相違があるため、一人ひとりの個性を認める社会、特性と個性を大事にし、チャンスが平等にあることを認識できる社会が必要である。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権教育・人権啓発」について、文部科学省の管轄の人権教育と法務省の管轄の人権啓発が常に情報共有し、密接な関係性を築いていく必要があると思うので、関係部署の横のつながりの充実を図ってほしい。</li> <li>・「人権教育・人権啓発」について、個別具体的事業としての人権教室について対象者や回数などの充実を図っていくために協力したい。幼少期からの人権教育を提供したい。</li> <li>・「人権教育・人権啓発」について、よりわかりやすく市民が関心を持てるように、また全ての市民に情報が行き届くように、内容や周知方法を工夫した広報活動を心がけてほしい。</li> <li>・事業評価として、推進の結果や目標数値については、具体的な数字も必要であり、また、数値以外の評価があれば、事業協力の中でやりがいが出てくる。</li> </ul>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 人権を制約されがちな人々へのアフーマティブアクションや自己決定の支援など、具体的な人権確保策が必要ではないか。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>人権を制約されがちな人々へのアフーマティブアクションや自己決定の支援など、具体的な人権確保策等が求められている。</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-2-1	男女平等の意識づくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	男女平等の意識づくり
前期基本計画 の総括	LGBT、性の多様性について正しい理解の促進・人権意識の醸成に加え、市内イベント開催時には、男女平等意識に配慮した運営を実施するとともに、職員のスキルアップも求められる。 【積極的な情報の提供及び教育・学習体系の確立】 【自己実現へ向けた学習機会の提供及び情報提供】 【性と生殖に関する健康と権利の尊重】

市民意識調査 (客観的データ)	・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】
--------------------	---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

考えられる市民・社会のニーズ
LGBTQ、性の多様性について正しい理解の促進・人権意識の醸成に加え、市内イベント開催時には、男女平等に配慮した運営を実施するとともに、職員のスキルアップも求められる。 【積極的な情報の提供及び教育・学習体系の確立】固定的役割分業意識や社会情勢の変化により人権課題について、迅速かつ正しい情報がどの年代にも行き届くことが求められる。 【自己実現へ向けた学習機会の提供及び情報提供】社会のあらゆる分野において、誰もがその個性と能力が発揮できるための能力開発のための学習機会の情報提供が求められる。 【性と生殖に関する健康と権利の尊重】誰もが持ち合わせている性や生殖に関し、自身の健康や権利を理解し、相手を尊重できるといった男女が対等な関係である意識醸成が求められている。

男女平等に関する関心は、約9割について性別によらず個々の能力や個性が発揮される社会の実現は必要であると考えられている。
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【地域でのつながりづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等、その他、多様性がみとめられていない。</li> <li>・自治体、町内会の役割、活動が不十分ではないか。</li> <li>・市民どうしのつながりがうすい。</li> </ul>	<p>性別による固定的な役割分業意識がまだまだ根強く残っており、地域のコミュニティも希薄となり、どのような人が近くに住んでいるのかもわからないといった状況も見受けられる。地域をつなぐことで、女性視点で捉える防災への備え、誰もが持ち合わせている性の多様性の理解、そして、男女が対等な関係で、参画できる地域社会をつくることで、地域力の向上につながっていくための周知啓発が求められている。</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権教育・人権啓発」について、文部科学省の管轄の人権教育と法務省の管轄の人権啓発が常に情報共有し、密接な関係性を築いていく必要があると思うので、関係部署の横のつながりの充実を図ってほしい。</li> <li>・「人権教育・人権啓発」について、個別具体的事業としての人権教室について対象者や回数などの充実を図っていくために協力していきたい。例えば、幼稚園や保育園の実施も検討し、小さい時から人権に触れる機会を提供していきたい。</li> <li>・事業評価として、推進の結果や目標数値については、具体的な数字も必要であり、また、数値以外の評価があれば、事業協力をすすめる中でやりがいが出てくると思う。</li> <li>・男女が平等に活躍できる社会に向けては、男性中心型労働慣行を見直し、社会全体の働き方を変えなければならない。そのためには、意思決定の場への女性の参画を拡大する必要がある。女性リーダーを育てるシステムを構築し、まずは市役所から実践、市内事業所へも広めてほしい。</li> <li>・性の多様性が尊重される社会に向けては、児童期から学校教育の中で意識づけをしていくことが非常に大切と思われる。小学校から、授業の中で外部講師等を招いて学ぶ時間を設けてほしい。</li> <li>・市の事業について、よりわかりやすく市民が関心を持てるように、また全ての市民に情報が行き届くように、内容や周知方法を工夫した広報活動を心がけてほしい。</li> <li>・女性活躍推進については、社会全体の見直しが必要であり、女性管理職を集め意見を出し合い育成していく、可視化することが必要。</li> <li>・男女平等については、人によって考え方に相違があるため、一人ひとりの個性を認める社会、特性と個性を大事にし、チャンスが平等にあることを認識できる社会が必要である。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>少しずつではあるものの、女性が活躍できる場面が増えてきているが、まだまだ、男性中心型労働慣行となっていることや、児童期からにおいて、男女平等や性の多様性に関する人権課題を学校教育から積極的に学び進めていくことが重要であることが考えられている。そのため、市役所が率先し固定観念を払拭し、男女平等の推進に関する意識をさらに促進することから始め、特に若年層向けに人権教育の取り組みを進めることが求められている。</p>

まちづくりの課題整理	-
------------	---

-
---



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 市執行部における意思決定にかかわる役職の女性職員の配置目標などを決定し、市当局が男女平等と共同参画を実践する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>○ 市議会としても女性議員を増やすために、女性議員と市民との対話の機会などを作る努力が必要であると考えます。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>男女平等社会の実現を促進するために、市役所職員自らが率先して、男女平等に関する正しい理解を深め、市民に発信していくモデルとなることが求められている。</p>

職員コメント	<p>現状と課題  「～感じている人や不平等を感じている人など～」  ⇒「など」とは？  感じている人や不平等などを感じている人  また、「性の多様化」に関する記述に、背景の記載がありません。</p>
--------	--

<p>文中：「～感じている人や不平等を感じている人など」の部分、  「～根強く残っており、日々の生活の中で、無理解や偏見による不平等や生きづらさを抱えている人がいます。」に修正します。また、「性の多様性」の記述として「誰もが持ち合わせている性の指向や自認に関しての無理解や偏見による差別をなくしていくため、「性の多様性」の正しい理解に向けた取組が求められています。」と追記します。</p>
--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-2-2	男女平等が実感できる生活の実現

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	男女平等が実感できる生活の実現
前期基本計画 の総括	<p>異性間の暴力に対する啓発活動・相談体制の拡充に加え、男女共同参画に対する施策展開の検討が求められる。</p> <p>【異性間の暴力の根絶】DV等の暴力に関し、身近なこと意識し誰もが「気づき」の意識を持てるよう引き続きセミナー開催や情報紙等にて周知啓発が必要である。</p> <p>【政策や方針の立案及び決定過程への男女共同参画の推進】どの場所においても、性別に捉われない、男女共同参画及び女性の活躍を推進できるよう、引き続き機運を醸成する必要がある。</p> <p>【地域団体や事業所における男女共同参画の推進】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>異性間やパートナーからの暴力に対する啓発活動・相談体制の拡充に加え、男女共同参画に対する施策展開の検討が求められる。</p> <p>【異性間やパートナーからの暴力の根絶】配偶者等からの暴力に関し、誰もが身近なことできているという「気づき」の意識を持てるよう引き続きセミナーの開催や情報紙等にて周知啓発が必要である。</p> <p>【政策や方針の立案及び決定過程への男女共同参画の推進】あらゆる分野において性別に捉われない男女共同参画及び女性の活躍を推進できるよう、引き続き意識醸成を図ることが求められている。</p> <p>【地域団体や事業所における男女共同参画の推進】地域団体や市内事業所に対し、性別に捉われない個人が認められる社会の実現を促進するための積極的な情報提供と意識醸成が求められる。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】</p> <p>・人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.6%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.3%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。【問16・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	-

男女平等に関する社会の実現では、約9割の方が対等で生きやすい地域社会の実現が必要であると考えられている。
--

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	
青少年アンケート (自由記述)	

考えられる市民・社会のニーズ

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【地域でのつながりづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等、その他、多様性がみとめられていない。</li> <li>・自治体、町内会の役割、活動が不十分ではないか。</li> <li>・市民どうしのつながりがうすい。</li> </ul>
---------------------	---

<p>性別による固定的な役割分業意識がまだまだ根強く残っており、地域のコミュニティも希薄となり、どのような人が近くに住んでいるのかもわからないといった状況も見受けられる。地域をつなぐことで、女性視点で捉える防災への備え、誰もが持ち合わせている性の多様性の理解、そして、男女が対等な関係で、参画できる地域社会をつくることで、地域力の向上につながっていくための周知啓発が求められている。また、地域力が養えれば、暴力の根絶に近づくことから、地域団体を含む機関にDV関連の周知啓発が求められている。</p>
---

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権教育・人権啓発」について、文部科学省の管轄の人権教育と法務省の管轄の人権啓発が常に情報共有し、密接な関係性を築いていく必要があると思うので、関係部署の横のつながりの充実を図ってほしい。</li> <li>・「人権教育・人権啓発」について、個別具体的事業としての人権教室について対象者や回数などの充実を図っていくために協力していきたい。例えば、幼稚園や保育園の実施も検討し、小さい時から人権に触れる機会を提供していきたい。</li> <li>・事業評価として、推進の結果や目標数値については、具体的な数字も必要であり、また、数値以外の評価があれば、事業協力をすすめる中のやりがいが出てくると思う。</li> <li>・男女が平等に活躍できる社会に向けては、男性中心型労働慣行を見直し、社会全体の働き方を変えなければならない。そのためには、意思決定の場への女性の参画を拡大する必要がある。女性リーダーを育てるシステムを構築し、まずは市役所から実践、市内事業所へも広めてほしい。</li> <li>・性の多様性が尊重される社会に向けては、児童期から学校教育の中で意識づけをしていくことが非常に大切と思われる。小学校から、授業の中で外部講師等を招いて学ぶ時間を設けてほしい。</li> <li>・市の事業について、よりわかりやすく市民が関心を持てるように、また全ての市民に情報が行き届くように、内容や周知方法を工夫した広報活動を心がけてほしい。</li> <li>・女性活躍推進については、社会全体の見直しが必要であり、女性管理職を集め意見を出し合い育成していく、可視化することが必要。</li> <li>・男女平等については、人によって考え方に相違があるため、一人ひとりの個性を認める社会、特性と個性を大事にし、チャンスが平等にあることを認識できる社会が必要である。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>少しずつではあるものの、女性が活躍できる場面が増えてきているが、まだまだ、男性中心型労働慣行となっていることや、児童期からにおいて、男女平等や性の多様性に関する人権課題を学校教育から積極的に学び進めていくことが重要であることが考えられている。そのため、市が率先し固定観念を払拭し、男女平等の推進に関する意識をさらに促進することから始め、特に若年層向けに人権教育の取り組みを進めることが求められている。また、DVIに関する知識も若年層から意識醸成を図ることで、暴力の根絶を図っていくことが求められている。</p>

まちづくりの課題整理	-
------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○＜現状と課題＞の中で、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）になっています。漢字ルビがついているのは、高く評価いたしますが、これはワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の相乗調和）の方がより、適切な日本語訳だと思います。</p>	<p>内閣府男女共同参画局の表記に基づき、このままの表記とします。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-3-1	外国人市民が暮らしやすいまちづくり

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	外国人市民が暮らしやすいまちづくり
前期基本計画 の総括	市内における国際交流協力団体が取り組んできた実績を踏まえ、このような団体の持つノウハウと情報を生かしながら多文化共生に対する理解の推進に取り組む必要がある。 【外国人市民が暮らしやすい環境づくり】 【市民団体の育成・支援】

考えられる市民・社会のニーズ
市内における国際交流団体が取り組んできた実績を踏まえ、このような団体の持つノウハウと情報を生かしながら多文化共生に対する理解の推進に取り組む必要がある。 【外国人市民が暮らしやすい環境づくり】 【市民団体の育成・支援】

市民意識調査 (客観的データ)	・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】
市民意識調査 (自由記述)	・「構想推進のために」(47件)では、「外国人へのマナー徹底」、「市政のコストダウン」、「マイノリティーに優しいまちづくり」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】

多文化共生を重要視していない割合が1割を超えている(13.3%)。また、外国人へのマナー徹底などの意見もあることから、お互いの文化の違いを理解しながら、外国人市民が地域コミュニティに入りやすい仕組みづくりが求められている。
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)		

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報「あさか」は、外国人市民世帯を含め全世帯に配布されているが、外国人市民世帯では、日本語の内容を理解することが難しいので、今後外国語表記の広報紙を作成したらどうか。</li> <li>・アパート等の所有者・管理会社は、物件の管理を第一と考えており、地域コミュニティへの認識が低い。よって、所有者及び管理会社の地域コミュニティへの認識を高めていく必要があるのではないか。</li> <li>・地域の中で生活していくうえでは、「ゴミの分別」など細かいルールがあるが、国や地域によっては「ごみの分別」というルールがない国もある。外国人には、細かいルールを教えるよりよりも、最低限守ってもらいたいルールを決めるのが良いのではないか。</li> <li>・日本人は、昔から外国人との交流が少なく、「外国人とコミュニケーションを形成する。」という意識が低いので、日本人側の意識を改善する必要がある。</li> <li>・現在の朝霞市多文化推進サポーター制度は、外国人の生活に密着した制度とは言えないので、今後制度の充実及び活用の見直しが必要である。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>外国人市民を支援する取り組みとして、情報の多言語化や多文化推進サポーターなどの充実が求められている。</p> <p>外国人市民が生活する中において、地域社会のルールやマナーを守れるようにお互いの文化や生活習慣の違いを理解しながら、コミュニティを形成できるよう支援する必要がある。</p>

まちづくりの課題整理	
------------	--

--



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 日本への永住権を持っている外国人市民に対し、地方参政権(市議会議員選挙等)の付与の検討を迫記してください。</p>	<p>外国人市民が有する権利義務のあり方については、法整備などを含めた国の動向を注視していく必要がある。</p>
職員コメント	<p>現状と課題 今後、外国人市民が増えていくことへの認識、課題の記載がありませんが、当該視点が必要ではないでしょうか。</p>	<p>本市における外国人市民の人口は増加傾向にあり、今後もさらに増加することが想定されることから、現状と課題に位置付けます。</p>

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-3-2	多文化共生への理解の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	多文化共生への理解の推進
前期基本計画 の総括	<p>多文化推進サポーターは、行政からの依頼に基づき事前に日程調整を行い活動するものであるため、窓口などで急遽通訳が必要になった場合など、突発的な対応ができないこともあり、活動件数が少ないことが課題である。また、多文化推進サポーターが幅広く活躍できるような仕組みを検討する必要がある。</p> <p>【交流・啓発活動の推進】 【学習機会の充実】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>多文化推進サポーターは、行政からの依頼に基づき事前に日程調整を行い活動するものであるため、窓口などで急遽通訳が必要になった場合など、突発的な対応ができないこともあり、活動件数が少ないことが課題である。また、多文化推進サポーターが幅広く活躍できるような仕組みを検討する必要がある。</p> <p>【交流・啓発活動の推進】 【学習機会の充実】</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「構想推進のために」(47件)では、「外国人へのマナー徹底」、「市政のコストダウン」、「マイノリティーに優しいまちづくり」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>多文化共生を重要視していない割合が1割を超えている(13.3%)。また、外国人へのマナー徹底などの意見もあることから、お互いの文化の違いを理解しながら、外国人市民が地域コミュニティに入りやすい仕組みづくりが求められている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)		

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報「あさか」は、外国人市民世帯を含め全世帯に配布されているが、外国人市民世帯では、日本語の内容を理解することが難しいので、今後外国語表記の広報紙を作成したらどうか。</li> <li>・アパート等の所有者・管理会社は、物件の管理を第一と考えており、地域コミュニティへの認識が低い。よって、所有者及び管理会社の地域コミュニティへの認識を高めていく必要があるのではないか。</li> <li>・地域の中で生活していくうえでは、「ゴミの分別」など細かいルールがあるが、国や地域によっては「ごみの分別」というルールがない国もある。外国人には、細かいルールを教えるよりよりも、最低限守ってもらいたいルールを決めるのが良いのではないか。</li> <li>・日本人は、昔から外国人との交流が少なく、「外国人とコミュニケーションを形成する。」という意識が低いので、日本人側の意識を改善する必要がある。</li> <li>・現在の朝霞市多文化推進サポーター制度は、外国人の生活に密着した制度とは言えないので、今後制度の充実及び活用の見直しが必要である。</li> </ul>	<p>外国人市民を支援する取り組みとして、情報の多言語化や多文化推進サポーターなどの充実が求められている。 外国人市民が生活する中において、地域社会のルールやマナーを守れるようにお互いの文化や生活習慣の違いを理解しながら、コミュニティを形成できるよう支援する必要がある。</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中学校における日本語指導の充実と、母国語や母国文化の尊重を進めることを盛り込んでもらいたいです。</li> <li>○ 市内在住の外国人が自国の文化を伝え、市民と一緒に楽しむ機会の創出を検討してほしいです。</li> </ul>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>小中学校における日本語指導の充実と母国語や母国文化の尊重を進めることが求められている。</p> <p>また、外国人市民が地域コミュニティに参加しやすい環境整備が求められており、多文化推進サポーターや市内の関係団体との連携や支援が必要となっている。</p>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-4-1	市民参画と協働の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	参画と協働の仕組みの検討 市民参画と協働の推進
前期基本計画 の総括	<p>時代の潮流に即した、市民との協働参画の場の見直し・継続的实施に向けた検討が求められる。 【条例制定の検討】市民の関心をより高め、市民が主体的に進めていく機運を醸成する必要がある。 【参画と協働の仕組みの検討】一時的な議論の場を設けるだけでなく、市民が継続して意見発信できるような参画システムの構築が必要となる。協働指針の策定から10年が経過したことから、市民参画と協働を時代に合った形で推進していくことが求められる。</p> <p>会議進行の適正化・職員への啓発だけでなく、市が発信する情報を市民がどのように理解しているか、意見を反映しているかの状況がわかるような仕組みづくりが求められる。</p> <p>【市政への市民参画】 【参画の機会の充実】 【まちづくりに関する情報の提供】 【市民ニーズの把握】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【市民の主体的なまちづくりに向けた機運の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに対する市民の関心を高めること。</li> <li>・市民が主体的にまちづくりを進めていく機運を醸成していくこと。</li> </ul> <p>【参画と協働の仕組みの検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意見がどう反映されたか、検討結果を追えるようにすること。</li> </ul> <p>【職員への啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参画と協働に対する職員の理解を深めること。</li> </ul> <p>【審議会等の運用における改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運用効率化の観点での審議会等の会議体の統廃合。</li> <li>・会議進行の円滑化、適正化。</li> </ul>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・市への意見や要望の伝達手段は、「市役所の担当課へ行くか、または電話をする」の割合が39.7%で最も高く、続いて「市が開く各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする」(13.8%)、「市のホームページの「お問い合わせ」を利用する」(13.5%)となっている。「その他」には、「どうしたら良いかわからない」、「窓口に行ったけど、意見を聞いてくれない」、「意見が出来ると思っていませんでした」などの記述があった。【問9・全体】</p> <p>・市民の意見や要望が市政に反映されているかどうかについては、「わからない」の割合が45.5%で最も高く、続いて「ある程度反映されている」(27.8%)、「あまり反映されていない」(16.8%)、「反映されていない」(6.2%)となっている。【問10・全体】</p> <p>・まちづくりの役割分担は、「市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う」の割合が49.7%で最も高く、続いて「まちづくりは行政が主体となって行う」(19.0%)、「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせると、市民が中心で行う」(5.2%)となっている。【問13・全体】</p> <p>・まちづくりに対する意欲は、「時間があれば参加したい」の割合が59.2%で最も高く、続いて「あまり参加したくない」(15.8%)、「わからない」(13.7%)、「参加したくない」(5.6%)、「積極的に参加したい」(4.3%)となっている。「積極的に参加したい」と「時間があれば参加したい」を合わせた「参加したい」割合が6割を超えている。【問14・全体】</p>
--------------------	--

<p>【まちづくりへの市民の参加について協働を求める意向がある】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの役割分担は、「市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う」の割合が最も高く、5割近くに上っている。</li> <li>・一方で、「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせると、市民が中心で行う」割合は、平成16年以降、増加している。</li> </ul> <p>【6割近くの市民がまちづくりに対し参画する意欲がある】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに対する意欲は、「時間があれば参加したい」の割合が最も高く、「積極的に参加したい」と合わせると、6割近くの市民が「まちづくりに参加したい」と意欲を持っている。</li> </ul>
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙7に記載 (329ページ)	<p>【市民が主役のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の持っている力を活用し、まちづくりに取り入れていくこと。</li> </ul> <p>【役割の明確化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等と議会と市長（行政）の役割と、お互いの関係を明確にすること。</li> </ul> <p>【災害への備え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助への理解を深め、災害等の緊急時に対応するための体制を構築すること。</li> </ul>

項目	意見等の内容
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>1. 団体の目標（目指すあり方・理想の姿）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域をつくるチームカアップ講座（平成29年度政策企画課主催）の受講生の有志により結成した団体で、習得したファシリテーション・スキルを生かし、ワークショップの企画・開催・運営等を行う。</li> <li>・ 埼玉県の中で朝霞をもっと光らせたいと思い活動している。</li> </ul> <p>2. 現在の状況（目標に対する現在の到達点）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あさか100との名称は、地域の中で100人以上とのつながりをつくっていかう、という意味を込めて付けたが、なかなか人とのつながりを増やせてない状況が続いている。</li> <li>・ 本年11月に市民企画講座としてファシリテーション講座を主催する予定であり、そこで関心を持つ人とのつながりを増やすことを期待している。</li> </ul> <p>3. 市への意見（目標実現のために求めたい支援等）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議スペースの充実（さいたま市市民活動サポートセンターのように、予約不要で使える場所が増えると良い。コミュニティ活性化も図られる。）</li> <li>・ 広報（市の広報チャネルを使って自分達が開催するイベントが周知できるとよい。）</li> <li>・ 協働の推進（市の事業でファシリテーターとしての活用してほしい。市民活動団体の活躍の機会を与えてほしい。）</li> </ul> <p>前期基本計画「第6章 基本構想を推進するために 4 市民参画・協働」に関連する施策の見直しに当たっては、後期基本計画の施策として下記に取り組むことを検討してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 協働推進指針の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の視点の充実が必要</li> <li>・ 市民と市との協働を、どのような目的で、何を、どこまでに行うのか、その目標に対して、それぞれが何を担うのかなど、戦略的な全体構想を明確にする必要がある</li> </ul> </li> <li>2 協働マニュアルの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民も市職員も協働に関する理解を深め、協働をより効果的、効率的に進めるために必要</li> </ul> </li> <li>3 自治基本条例の制定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が主役のまちづくりを進めるとともに、市民（法人等を含む）と市長（行政）と議会の役割と、お互いの関係を明確にするために必要</li> <li>・ 緊急時に対応するためにも必要</li> </ul> </li> <li>4 市の政策立案・実施への市民参画の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会や委員会などの公募委員の増加</li> <li>・ 公募委員などを対象にした関連事項の勉強会（十分な情報提供）</li> <li>・ 重要な政策に関しては多人数の市民懇談会やワークショップを開催</li> <li>・ 政策の企画立案段階での市民と市の意見交換会の開催</li> <li>・ パブリックコメントの実施前後の説明会の開催</li> <li>・ 政策実施団体の募集</li> </ul> </li> <li>5 市民の市政提案制度</li> <li>6 協働推進課・協働推進委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所全体として協働を推進するためには、その専門部署と専門委員会が必要</li> </ul> </li> <li>7 協働事業の協働面の評価</li> </ol>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【市民活動団体の活動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用しやすい会議スペース。</li> <li>・ 市の広報チャネルの活用。</li> </ul> <p>【市民活動団体の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の事業を協働で実施。</li> </ul> <p>【市民参画と協働に係る規定の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協働推進指針の見直し。</li> <li>・ 協働マニュアルの作成。</li> <li>・ 自治基本条例の制定。</li> </ul> <p>【市の計画、主要な施策の決定過程への市民参画の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会等の公募委員を増やすこと。</li> <li>・ 公募委員等を対象にした事前説明会の開催（十分な情報提供）。</li> <li>・ 市の様々な計画、施策に係る市民懇談会やワークショップの開催。</li> <li>・ 施策の企画立案段階での市民と市の意見交換会の開催。</li> <li>・ 市民の提案制度の充実、政策実施団体の募集。</li> </ul> <p>【協働の推進体制の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協働推進課・協働推進委員会の設置</li> <li>・ 協働事業の協働面の評価</li> </ul>

<p>まちづくりの課題整理</p>	<p>-</p>
-------------------	----------

<p>-</p>
----------



項目	意見等の内容
パブリック・コメント	別紙8に記載(332ページ)

職員コメント	-
--------	---

考えられる市民・社会のニーズ
<p>【機会の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが多い朝霞市において、子どもの声を聴く機会の充実。</li> <li>・子育て世代が多い朝霞市において、親の声を聴く機会の充実。</li> <li>・参画しやすい開催形態、時間帯や場所に変える工夫。</li> </ul> <p>【全庁での推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の様々な計画、施策に関する多人数の市民懇談会やワークショップなどの開催。</li> <li>・市の様々な計画、施策の策定において、できる限り早期の企画立案段階での市民との意見交換の実施。</li> </ul> <p>【仕組みの検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が市に意見、提案できる仕組みの充実。</li> <li>・自治基本条例の制定のほか協働指針の見直しなどを求める声が上がっていることから、市民参画・協働における課題の一つとして、自治や協働のあり方を定める指針、条例等について幅広く検討していくこと。</li> </ul> <p>【周知・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属機関の設置や審議事項、開催方法、資料公開のルール化などの明示。</li> <li>・パブリック・コメント、ワークショップ、社会調査など多様な市民の意見集約・参加の手法の例示。</li> </ul> <p>【人材育成・主権者教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の中で課題を発見し、行動できる市民の育成。</li> <li>・新たに市民活動や協働に関わる市民を増やすため、行政知識の習得や市民協働型行政運営に対応できる人材の育成。</li> </ul>

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-4-2	情報提供の充実と市民ニーズの把握

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	情報提供の充実と市民ニーズの把握
前期基本計画 の総括	<p>まちづくりに関する情報提供の方法の改善を図るとともに、市民意見の反映状況がよりわかりやすい運営の方法を検討する必要がある。</p> <p>【まちづくりに関する情報の提供】新たな情報提供手段の可能性を踏まえつつ、それぞれの特性に応じ、効果的な情報提供を図る必要がある。</p> <p>【市民ニーズの把握】市民が市に意見を届けやすいと感じられるよう、市民からのご意見が市の施策等に反映された状況が分かるような方策を検討する必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>まちづくりに関する情報提供の方法の改善を図るとともに、市民意見の反映状況がよりわかりやすい運営の方法を検討する必要がある。</p> <p>【まちづくりに関する情報の提供】新たな情報提供手段の可能性を踏まえつつ、それぞれの特性に応じ、効果的な情報提供を図る必要がある。</p> <p>【市民ニーズの把握】市民が市に意見を届けやすいと感じられるよう、市民からのご意見が市の施策等に反映された状況が分かるような方策を検討する必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・市政に対する関心は、「いくらか関心がある」の割合が58.0%で最も高く、続いて「あまり関心がない」(22.9%)、「非常に関心がある」(13.7%)、「まったく関心がない」(4.4%)となっている。「非常に関心がある」と「いくらか関心がある」を合わせた「関心がある」の割合が7割を超えている。【問6・全体】</p> <p>・市政に関心がない理由は、「行政にまかせておけばよいから」の割合が27.3%で最も高く、続いて「市民の意向などが反映されていないと思うから」(26.3%)、「自分の生活には関係ないと思うから」(16.3%)、「転居してきたばかりだから」(11.3%)となっている。「その他」には、「自分の生活に関係している実感がない」、「毎日忙しすぎて考えている暇がない」、「現状に対してあまり不満がない」などの記述があった。【問7・全体】</p> <p>・市政情報入手媒体は、「市の広報紙」の割合が88.8%で最も高く、続いて「自治会の集会や回覧」(23.9%)、「市のホームページ」(20.9%)、「掲示板」(12.8%)となっている。【問8・全体】</p> <p>・まちづくりの役割分担は、「市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う」の割合が49.7%で最も高く、続いて「まちづくりは行政が主体となって行う」(19.0%)、「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる」(16.0%)、「まちづくりは住民が自ら行うものであり、市民が中心で行う」(5.2%)となっている。【問13・全体】</p> <p>・まちづくりに対する意欲は、「時間があれば参加したい」の割合が59.2%で最も高く、続いて「あまり参加したくない」(15.8%)、「わからない」(13.7%)、「参加したくない」(5.6%)、「積極的に参加したい」(4.3%)となっている。「積極的に参加したい」と「時間があれば参加したい」を合わせた「参加したい」割合が6割を超えている。【問14・全体】</p>
--------------------	--

<p>・市政に対して関心を持つ市民が7割を超えている(71.70%)。また、市政に関する情報の入手媒体は「市の広報紙」が9割近く(88.8%)を占めており、情報提供を行うための重要なツールであり、市民が欲している情報を把握し、情報発信していくことが求められている。</p>
--

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<p>・朝霞市のまちづくりへの興味や関心は、「とてもある」(11.3%)、「少しある」(45.6%)を合わせた“興味・関心がある”の割合が56.9%となっている。一方、「あまりない」(29.0%)、「まったくない」(14.1%)を合わせた“興味・関心がない”の割合が43.1%となっている。【問1・全体】</p>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<p>・市政への関心を持たない若年層の割合が4割以上(43.1%)を占めている状況である。若年層は主にインターネットを通じて情報収集する場面が多いと考えられることから、SNSなどを活用した情報発信を積極的に行うことが求められている。</p>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙7に記載(329ページ)
---------------------	----------------

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ ミーティング		
まちづくりの 課題整理		

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○パブコメを活かすために 市民からの貴重な意見を市政に活かすために次のことをパブリックコメントに取り入れるよう提案します。 ◆2010年1月に実施された「朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本整備計画（素案）」のパブリックコメントにおいて、聞き置くだけのアライブづくりのパブコメから本当に市民の意見を市政に取り入れようとする試みが実施され、パブコメに参加した58名の市民からは高い評価を受けました。</p> <p>今回のパブコメにおいても2010年1月に実施された先進的事例を水平展開し、実施されたい。</p> <p>●2010年1月に実施されたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出意見382件に全てに個別に回答を行い、提出者全員に回答書を送付した。</li> <li>・パブコメ参加者を対象とした説明会を後日開催し、意見交換を行い、出された意見を整備計画書に反映させた。</li> </ul> <p>【具体的提案事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①提出者全員に個別事項毎の回答を郵送で行うこと。</li> <li>②パブコメ参加者を対象とした説明会を開催し、意見交換を行い、骨子案、素案に反映させること。</li> <li>③貴策定委員会においてパブコメ参加者と意見交換をする場を設けること。</li> </ol> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市の学校教育はどうなっているか。教師は忙し過ぎないか、いじめはないか、外国人の子供はどうしているか。</li> <li>・全国的に福祉関係職員の給料が安いという問題を聞く。朝霞市の福祉関係の職員の実情を調査したか。このことは、市の福祉関係の事業に大きく関わっているはずだ。</li> <li>・老人は、大きな格差はなく、福祉制度を利用できているか、いない例があるのか。</li> <li>・福祉関係職員の給料が安いと聞く。</li> <li>・各障害者のノーマライゼーションに支障は今あるか、ないか。市役所も制度通りに障害者雇用をしているか。</li> </ul> <p>などなど、広報で市民に明らかにしていただきたい。</p> <p>以上のことを分かりやすくすれば、市民も市政に興味を持ち、進んで参加する手掛かりになるでしょう。市民としてのレベルも自ずと上がるでしょう。</p> <p>確かに、このようなことは、市役所としては面倒で好まない。自分たちが計画し、自分たちが自分の計画を評価しているのが無難でしょう。市民は、市政は分からないまま黙ってついてくのが理想だ。</p> <p>このような風潮は、全自治体の、日本国民の特徴である。さて、朝霞市は、こんな消極的市民から脱却させてもらいたいものだ。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリック・コメント提出者全員に個別事項毎の回答を郵送で行うこと。</li> <li>・パブリック・コメント提出者を対象とした説明会を開催し、意見交換を行い、骨子案、素案に反映させること。</li> <li>・パブリック・コメント実施課とパブリック・コメント提出者との間で意見交換ができる場を設けること。</li> </ul>

職員コメント	-
--------	---

-
---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-5-1	総合計画の推進

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	総合計画の推進 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進
前期基本計画 の総括	より効果的な行政評価・活動指標の見直し、実施が求められる。 【行政評価の推進】施策を効果的に進捗させられる行政評価手法を検討し、さらに改善を図ることが求められる。 【積極的な行政改革の推進】活動指標のような定性的な結果ではなく、定量的に測れる成果指標の設定が求められる。  【まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進】近隣市では、現行の総合戦略を1年延長することで、次期総合戦略と総合計画後期基本計画の開始年を合わせるとともに、次期総合戦略を後期基本計画の重点施策と位置付け、集約を図ることについて検討している。施策をより効果的に推進できるよう、本市も検討する余地がある。

考えられる市民・社会のニーズ
より効果的な行政評価・活動指標の見直し、実施が求められる。  【行政評価の推進】施策を効果的に進捗させられる行政評価手法を検討し、さらに改善を図ることが求められる。  【積極的な行政改革の推進】活動指標のような定性的な結果ではなく、定量的に測れる成果指標の設定が求められる。  【まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進】近隣市では、現行の総合戦略を1年延長することで、次期総合戦略と総合計画後期基本計画の開始年を合わせるとともに、次期総合戦略を後期基本計画の重点施策と位置付け、集約を図ることについて検討している。施策をより効果的に推進できるよう、本市も検討する余地がある。

市民意識調査 (客観的データ)	-
市民意識調査 (自由記述)	-

-
-

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【総合計画のPDCA】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期のPDCA? (どのようなPDCAで進行管理が行われているのか)。</li> <li>・分野別施策のTotal管理? (予算、実行性等) 分野別の施策でもその分野だけに留めず、分野を横断して推進していくことが求められる。</li> </ul>	<p>分野を横断して施策を推進することが必要であると考えられている。</p>

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>1. 団体の目標（目指すあり方・理想の姿）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域をつくるチームカアップ講座（平成29年度政策企画課主催）の受講生の有志により結成した団体で、習得したファシリテーション・スキルを生かし、ワークショップの企画・開催・運営等を行う。</li> <li>・ 埼玉県の中で朝霞をもっと光らせたいと思い活動している。</li> </ul> <p>2. 現在の状況（目標に対する現在の到達点）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あさか100との名称は、地域の中で100人以上とのつながりをつくってこよう、という意味を込めて付けたが、なかなか人ととのつながりを増やせてない状況が続いている。</li> <li>・ 本年11月に市民企画講座としてファシリテーション講座を主催する予定であり、そこで関心を持つ人とのつながりを増やすことを期待している。</li> </ul> <p>3. 市への意見（目標実現のために求めたい支援等）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議スペースの充実（さいたま市市民活動サポートセンターのように、予約不要で使える場所が増えると良い。コミュニティ活性化も図られる。）</li> <li>・ 広報（市の広報チャンネルを使って自分達が開催するイベントが周知できるとよい。）</li> <li>・ 協働の推進（市の事業でファシリテーターとしての活用してほしい。市民活動団体の活躍の機会を与えてほしい。）</li> </ul> <p>前期基本計画「第6章 基本構想を推進するために 4 市民参画・協働」に関連する施策の見直しに当たっては、後期基本計画の施策として下記に取り組むことを検討してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 協働推進指針の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の視点の充実が必要</li> <li>・ 市民と市との協働を、どのような目的で、何を、どこまでに行うのか、その目標に対して、それぞれが何を担うのかなど、戦略的な全体構想を明確にする必要がある</li> </ul> </li> <li>2 協働マニュアルの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民も市職員も協働に関する理解を深め、協働をより効果的、効率的に進めるために必要</li> </ul> </li> <li>3 自治基本条例の制定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が主役のまちづくりを進めるとともに、市民（法人等を含む）と市長（行政）と議会の役割と、お互いの関係を明確にするために必要</li> <li>・ 緊急時に対応するためにも必要</li> </ul> </li> <li>4 市の政策立案・実施への市民参画の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会や委員会などの公募委員の増加</li> <li>・ 公募委員などを対象にした関連事項の勉強会（十分な情報提供）</li> <li>・ 重要な政策に関しては多人数の市民懇談会やワークショップを開催</li> <li>・ 政策の企画立案段階での市民と市の意見交換会の開催</li> <li>・ パブリックコメントの実施前後の説明会の開催</li> <li>・ 政策実施団体の募集</li> </ul> </li> <li>5 市民の市政提案制度</li> <li>6 協働推進課・協働推進委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所全体として協働を推進するためには、その専門部署と専門委員会が必要</li> </ul> </li> <li>7 協働事業の協働面の評価</li> </ol>
まちづくりの課題整理	

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議スペースの充実（さいたま市市民活動サポートセンターのように、予約不要で使える場所が増えると良い。コミュニティ活性化も図られる。）</li> <li>・ 広報（市の広報チャンネルを使って開催するイベントが周知できるとよい。）</li> <li>・ 協働の推進（市民活動団体の活躍の機会を与えてほしい。）</li> </ul> <p>後期基本計画の施策として下記に取り組むことを検討してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 協働推進指針の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の視点の充実</li> <li>・ 市民と市との協働を、どのような目的で、何を、どこまでに行うのか、その目標に対して、それぞれが何を担うのかなど、戦略的な全体構想を明確にする。</li> </ul> </li> <li>2 協働マニュアルの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民も市職員も協働に関する理解を深め、協働をより効果的、効率的に進めるため。</li> </ul> </li> <li>3 自治基本条例の制定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が主役のまちづくりを進めるとともに、市民（法人等を含む）と市長（行政）と議会の役割と、お互いの関係を明確にするため。</li> <li>・ 緊急時に対応するため。</li> </ul> </li> <li>4 市の政策立案・実施への市民参画の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会や委員会などの公募委員の増加</li> <li>・ 公募委員などを対象にした関連事項の勉強会（十分な情報提供）</li> <li>・ 重要な政策に関しては多人数の市民懇談会やワークショップを開催</li> <li>・ 政策の企画立案段階での市民と市の意見交換会の開催</li> <li>・ パブリックコメントの実施前後の説明会の開催</li> <li>・ 政策実施団体の募集</li> </ul> </li> <li>5 市民の市政提案制度</li> <li>6 協働推進課・協働推進委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所全体として協働を推進するためには、その専門部署と専門委員会が必要</li> </ul> </li> <li>7 協働事業の協働面の評価</li> </ol>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-5-2	公平・適正な負担による財政基盤の強化

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	公平・適正な負担による財政基盤の強化
前期基本計画 の総括	<p>収納率の向上を含め、計画的・効果的な財政運営の検討が求められる。</p> <p>【計画的な財政運営】歳入歳出の両面の観点から、効果的な財政運営を意識する必要がある。</p> <p>【効果的な財政運営】自主財源の根幹をなす市税の収納率を向上するため、新たな滞納を発生させない取組を継続的に実施する必要がある。</p> <p>【税込などの確保】納付方法の啓発や滞納者に対する相談業務等を通じ、収納率の向上を図る必要がある。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>収納率の向上を含め、計画的・効果的な財政運営の検討が求められる。</p> <p>【計画的な財政運営】歳入歳出の両面の観点から、効果的な財政運営を意識する必要がある。</p> <p>【効果的な財政運営】自主財源の根幹をなす市税の収納率を向上するため、新たな滞納を発生させない取組を継続的に実施する必要がある。</p> <p>【税込などの確保】納付方法の啓発や滞納者に対する相談業務等を通じ、収納率の向上を図る必要がある。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・行政サービスの維持・充実の考え方については、「収入増につながる施策を充実させることなどにより対応すべき」の割合が46.0%で最も高く、続いて「行政サービスをある程度廃止、縮小することにより対応していくべき」(20.7%)、「行政サービス維持・充実のために市民の負担が増えるのは仕方がない」(14.8%)、「わからない」(12.9%)となっている。「その他」には、「市議会議員数の削減など市の支出を抑える」、「都内(職場)へのアクセスが良い点を全面的にアピールし、新たな市民を増やすべき」、「市に頼らない生き方の推進(災害時や自立、健康)」などの記述があった。【問11・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「構想推進のために」(47件)では、「外国人へのマナー徹底」、「市政のコストダウン」、「マイノリティーに優しいまちづくり」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>効率的で安定した行政サービスを実施するための財政運営が求められている。</p>
--

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【財政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税出ている方が入ってくる方より少ない。</li> <li>・企業誘致の費用と税収のバランス（企業誘致はバランスへの配慮が重要）。</li> <li>・経常収支比率が高まる中で、出来る事の優先順位を（つける必要がある）。</li> <li>・ふるさと納税を増やす施策？</li> </ul>	<p>ふるさと納税など歳入の確保や、事業の優先順位付けなどによる歳出の効率化が求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経常収支比率が高いことから、より一層の財政運営の効率化が必要である。(p.6)</li> <li>・ 歳入の約6割を自主財源で賄っているものの、経常収支比率は高い水準となっており、財政は硬直化の傾向にある。(p.15)</li> <li>・ 扶助費は急速に増加しており、また今後も減少する要因がないため、引き続き厳しい財政状況にある。(p.15)</li> <li>・ 高齢化、人口構成の変化により公共交通機関の重要性が高まると考えられ、市内公共交通網のあり方の検討を進めることが重要である。(p.17)</li> <li>・ 公共施設のインフラ資産の更新・維持管理の効率的な運営に向けた検討が求められる。(p.18)</li> </ul>	<p>扶助費などの経常経費が増加し財政の硬直化が進んでいる状況のなか、効率的な財政運営が求められている。</p>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 市民負担の話とともに、歳出面の事業の絞り込み、補助金の確保、資産・負債の管理、債務負担行為などのガバナンスなど多面的に対策を行う必要があるのではないか。また財政調整基金の確保水準、将来負担比率の目指す水準なども掲げるべきではないか。</p>	<p>事業の絞り込みや補助金の確保など単年度でのやりくりが必要であると同時に、将来の市民のために確保していく基金や、将来の市民の負担になる地方債などの負債についても総合的に統制することが必要である。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-5-3	公共施設の効果的・効率的な管理運営

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	公共施設の効果的・効率的な管理運営
前期基本計画 の総括	各施設が抱える維持管理上の課題や解決策等を庁内関係課で共有し、安定化及び質的向上を目指す必要がある。 【総合的・計画的な公共施設の管理】 【効果的・効率的な公共施設の運営】

考えられる市民・社会のニーズ
各施設が抱える維持管理上の課題や解決策を庁内関係課で共有し、安定化及び質的向上を目指す必要がある。 【総合的・計画的な公共施設の管理】安全・安心に公共施設を利用できる。 【効果的・効率的な公共施設の運営】 公共施設の利用状況や市民ニーズ等を的確に捉え、管理運営経費の削減を図りながら、より良い市民サービスの提供につなげるなど、効果的・効率的な運営が求められている。

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)		
青少年アンケート (自由記述)		
分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【公共施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館のように自由に出入りできない人がが多い（つまり施設が少ない）。</li> <li>・公共施設が少なく行事ができない事が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の増設が求められている。</li> </ul>

項目	意見等の内容
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>1. 団体の目標（目指すあり方・理想の姿）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域をつくるチームカアップ講座（平成29年度政策企画課主催）の受講生の有志により結成した団体で、習得したファシリテーション・スキルを生かし、ワークショップの企画・開催・運営等を行う。</li> <li>・ 埼玉県の中で朝霞をもっと光らせたいと思い活動している。</li> </ul> <p>2. 現在の状況（目標に対する現在の到達点）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あさか100との名称は、地域の中で100人以上とのつながりをつくっていかう、という意味を込めて付けたが、なかなか人とのつながりを増やせてない状況が続いている。</li> <li>・ 本年11月に市民企画講座としてファシリテーション講座を主催する予定であり、そこで関心を持つ人とのつながりを増やすことを期待している。</li> </ul> <p>3. 市への意見（目標実現のために求めたい支援等）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議スペースの充実（さいたま市市民活動サポートセンターのように、予約不要で使える場所が増えると良い。コミュニティ活性化も図られる。）</li> <li>・ 広報（市の広報チャンネルを使って自分達が開催するイベントが周知できるとよい。）</li> <li>・ 協働の推進（市の事業でファシリテーターとしての活用してほしい。市民活動団体の活躍の機会を与えてほしい。）</li> </ul> <p>前期基本計画「第6章 基本構想を推進するために 4 市民参画・協働」に関連する施策の見直しに当たっては、後期基本計画の施策として下記に取り組むことを検討してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 協働推進指針の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の視点の充実が必要</li> <li>・ 市民と市との協働を、どのような目的で、何を、どこまでに行うのか、その目標に対して、それぞれが何を担うのかなど、戦略的な全体構想を明確にする必要がある</li> </ul> </li> <li>2 協働マニュアルの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民も市職員も協働に関する理解を深め、協働をより効果的、効率的に進めるために必要</li> </ul> </li> <li>3 自治基本条例の制定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が主役のまちづくりを進めるとともに、市民（法人等を含む）と市長（行政）と議会の役割と、お互いの関係を明確にするために必要</li> <li>・ 緊急時に対応するためにも必要</li> </ul> </li> <li>4 市の政策立案・実施への市民参画の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会や委員会などの公募委員の増加</li> <li>・ 公募委員などを対象にした関連事項の勉強会（十分な情報提供）</li> <li>・ 重要な政策に関しては多人数の市民懇談会やワークショップを開催</li> <li>・ 政策の企画立案段階での市民と市の意見交換会の開催</li> <li>・ パブリックコメントの実施前後の説明会の開催</li> <li>・ 政策実施団体の募集</li> </ul> </li> <li>5 市民の市政提案制度</li> <li>6 協働推進課・協働推進委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所全体として協働を推進するためには、その専門部署と専門委員会が必要</li> </ul> </li> <li>7 協働事業の協働面の評価</li> </ol>

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティの形成に役立つ公共施設の増設が求められている。</li> </ul>

<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝霞市には規模が大きい小学校が多い傾向にあると考えられる。今後の推移をとらえながら、引き続き適切な対応が必要である。</li> <li>・ 朝霞市は引き続き補助教員や支援員を配置し、きめ細かな対応を図っていくことが必要である。</li> <li>・ 経常収支比率が高いことから、より一層の財政運営の効率化が必要である。</li> <li>・ 歳入の約6割を自主財源で賄っているものの、経常収支比率は高い水準となっており、財政は硬直化の傾向にある。</li> <li>・ 扶助費は急速に増加しており、また今後も減少する要因がないため、引き続き厳しい財政状況にある。</li> <li>・ 高齢化、人口構成の変化により公共交通機関の重要性が高まると考えられ、市内公共交通網のあり方の検討を進めることが重要である。</li> <li>・ 公共施設のインフラ資産の更新・維持管理の効率的な運営に向けた検討が求められる。</li> </ul>
-------------------	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設の管理・運営を効率的・効果的に行っていくことが求められている。</li> </ul>
---



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 市民に分かりづらい、未消化のカタカナ表記をする場合には、漢字ルビをつける。</p> <p>ファシリティーマネジメント（統合的施設管理方式）</p> <p>○ 主な取組に個別施設計画や、修繕維持の最低水準の確保なども記述すべきではないか。また「運営」ということの意味を明示すべきではないか。</p>	<p>・わかりやすい計画づくりが求められている。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-5-4	適正かつ効率的な行政事務の遂行

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	適正かつ効率的な行政事務の遂行
前期基本計画 の総括	<p>AIやマイナンバー制度などの活用範囲の広がりに応じて行政事務の効率化を図っていく必要がある。また、市民の協力と理解を得るための新たな情報発信の方法を検討する必要がある。</p> <p>【総合的・計画的な行政運営】</p> <p>【公正で透明な行政運営】</p> <p>【ICTの適正かつ効果的な活用】</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>AIやマイナンバー制度などの効果的な活用や働き方改革の推進などを受けて、行政事務の効率化が求められる。また、市民の理解と協力を得るための新たな情報発信の方法が求められる。</p> <p>【総合的・計画的な行政運営】多様な市民のニーズに対応した総合的・計画的な市政運営が求められる。</p> <p>【公正で透明な行政運営】公正で透明性の高い行政運営の更なる推進に向けて、より一層、公文書の適正管理に努めていくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公文書の公開及び自己情報開示請求等を適正に行うこと。</li> <li>・市政に関する情報を積極的に公表し、市民と行政の情報の共有化を図っていくこと。</li> </ul> <p>▶ 【ICTの適正かつ効果的な活用】効果的・効率的な行政運営の推進とともに、安定的な行政サービスの提供や市民の利便性の向上を図るため、ICTやAI・RPA等の活用が求められている。</p>

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	-
青少年アンケート (自由記述)	-	-
分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙7に記載 (329ページ)	-

項目	意見等の内容
キーパーソン・ミーティング	<p>1. 団体の目標（目指すあり方・理想の姿）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域をつくるチームカアップ講座（平成29年度政策企画課主催）の受講生の有志により結成した団体で、習得したファシリテーション・スキルを生かし、ワークショップの企画・開催・運営等を行う。</li> <li>・ 埼玉県の中で朝霞をもっと光らせたいと思い活動している。</li> </ul> <p>2. 現在の状況（目標に対する現在の到達点）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あさか100ともの名称は、地域の中で100人以上とのつながりをつくっていかう、という意味を込めて付けたが、なかなか人とのつながりを増やせてない状況が続いている。</li> <li>・ 本年11月に市民企画講座としてファシリテーション講座を主催する予定であり、そこで関心を持つ人とのつながりを増やすことを期待している。</li> </ul> <p>3. 市への意見（目標実現のために求めたい支援等）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議スペースの充実（さいたま市市民活動サポートセンターのように、予約不要で使える場所が増えると良い。コミュニティ活性化も図られる。）</li> <li>・ 広報（市の広報チャンネルを使って自分達が開催するイベントが周知できるとよい。）</li> <li>・ 協働の推進（市の事業でファシリテーターとしての活用してほしい。市民活動団体の活躍の機会を与えてほしい。）</li> </ul> <p>前期基本計画「第6章 基本構想を推進するために 4市民参画・協働」に関連する施策の見直しに当たっては、後期基本計画の施策として下記に取り組むことを検討してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 協働推進指針の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の視点の充実が必要</li> <li>・ 市民と市との協働を、どのような目的で、何を、どこまでに行うのか、その目標に対して、それぞれが何を担うのかなど、戦略的な全体構想を明確にする必要がある</li> </ul> </li> <li>2 協働マニュアルの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民も市職員も協働に関する理解を深め、協働をより効果的、効率的に進めるために必要</li> </ul> </li> <li>3 自治基本条例の制定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が主役のまちづくりを進めるとともに、市民（法人等を含む）と市長（行政）と議会の役割と、お互いの関係を明確にするために必要</li> <li>・ 緊急時に対応するためにも必要</li> </ul> </li> <li>4 市の政策立案・実施への市民参画の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会や委員会などの公募委員の増加</li> <li>・ 公募委員などを対象にした関連事項の勉強会（十分な情報提供）</li> <li>・ 重要な政策に関しては多人数の市民懇談会やワークショップを開催</li> <li>・ 政策の企画立案段階での市民と市の意見交換会の開催</li> <li>・ パブリックコメントの実施前後の説明会の開催</li> <li>・ 政策実施団体の募集</li> </ul> </li> <li>5 市民の市政提案制度</li> <li>6 協働推進課・協働推進委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所全体として協働を推進するためには、その専門部署と専門委員会が必要</li> </ul> </li> <li>7 協働事業の協働面の評価</li> </ol>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>—</p>

まちづくりの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経常収支比率が高いことから、より一層の財政運営の効率化が必要である。</li> <li>・ 歳入の約6割を自主財源で賄っているものの、経常収支比率は高い水準となっており、財政は硬直化の傾向にある。</li> <li>・ 扶助費は急速に増加しており、また今後も減少する要因がないため、引き続き厳しい財政状況にある。</li> <li>・ 高齢化、人口構成の変化により公共交通機関の重要性が高まると考えられ、市内公共交通網のあり方の検討を進めることが重要である。</li> <li>・ 公共施設のインフラ資産の更新・維持管理の効率的な運営に向けた検討が求められる。</li> </ul>
------------	--

<p>—</p>
----------

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント	<p>○ 公正な行政を確保するため、①政治倫理条例及び職員倫理条例の検討、②行政執務室への議員の立入制限（口利き防止のため）、③内部通報制度の拡充（通報窓口として、弁護士などの外部専門家にも依頼する）が必要であると考えます。上尾市では、平成29年に発生した、上尾市西貝塚環境センターの入札に関する市長及び市議会議長の逮捕事件の第三者調査委員会の調査報告書をもとに、これらのことを検討し、一部実施に移しています。</p> <p>○ AIやRPAというコンピューター技術に期待をかけているようだが、それ以前に、全庁的な事務効率化・標準化の検討が必要と考えるが、どのように進めるのか。</p> <p>○ 非常勤職員・会計年度任用職員に対する均等待遇原則にもとづきその原則をめざす処遇改善、総合職である正規職員に対する専門職、担当職としての専門性や職務能力向上のための研修教育の強化に関する記述が必要です。</p> <p>○ 内部通報制度として、第三者的な立場の外部機関を設けてそこで受け付けられるようにし、内部でもみ消されないようにすべきだ。</p> <p>○ 県内他市で首長と議員が癒着する事件があったが、朝霞市でもそのようなことが起きないように、議員の事務室への入室を制限するなど行政の公正性を守る仕組みを検討すべきだ。</p>	<p>・全庁的な事務効率化・標準化についての検討が求められる。</p>
職員コメント	-	-

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-5-5	機能的な組織づくりと人材育成

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	機能的な組織づくりと人材育成
前期基本計画 の総括	組織横断的な連携体制の強化及び人材育成の拡充が求められる。 【柔軟で機能的な組織運営】多様化する行政需要に対応できるよう、部署を超えた横断的な連携が必要となる。 【職員の能力開発と人材育成】職員研修の課題や研修ニーズの把握等に努め、職員研修や自己啓発研修の充実が図れるよう、引き続き検討していく必要がある。

考えられる市民・社会のニーズ
組織横断的な連携体制の強化及び人材育成の拡充が求められる。 【柔軟で機能的な組織運営】多様化する行政需要に対応できるよう、部署を超えた組織の横断的な連携が求められる。 【職員の能力開発と人材育成】職員研修の課題や研修ニーズの把握等に努め、職員研修や自己啓発研修の充実が図れるよう、引き続き検討していく必要がある。

市民意識調査 (客観的データ)	-
--------------------	---

-
---

市民意識調査 (自由記述)	-
------------------	---

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
青少年アンケート (客観的データ)	-	-
青少年アンケート (自由記述)	-	-
分野別市民懇談会 (現状と課題)	別紙7に記載(329ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に対応できる組織づくりが求められている。</li> </ul>

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
<p>キーパーソン・ミーティング</p>	<p>1. 団体の目標（目指すあり方・理想の姿）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域をつくるチームカアップ講座（平成29年度政策企画課主催）の受講生の有志により結成した団体で、習得したファシリテーション・スキルを生かし、ワークショップの企画・開催・運営等を行う。</li> <li>・ 埼玉県の中で朝霞をもっと光らせたいと思い活動している。</li> </ul> <p>2. 現在の状況（目標に対する現在の到達点）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あさか100との名称は、地域の中で100人以上とのつながりをつくっていかう、という意味を込めて付けたが、なかなか人とのつながりを増やせてない状況が続いている。</li> <li>・ 本年11月に市民企画講座としてファシリテーション講座を主催する予定であり、そこで関心を持つ人とのつながりを増やすことを期待している。</li> </ul> <p>3. 市への意見（目標実現のために求めたい支援等）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議スペースの充実（さいたま市市民活動サポートセンターのように、予約不要で使える場所が増えると良い。コミュニティ活性化も図られる。）</li> <li>・ 広報（市の広報チャネルを使って自分達が開催するイベントが周知できるとよい。）</li> <li>・ 協働の推進（市の事業でファシリテーターとしての活用してほしい。市民活動団体の活躍の機会を与えてほしい。）</li> </ul> <p>前期基本計画「第6章 基本構想を推進するために 4 市民参画・協働」に関連する施策の見直しに当たっては、後期基本計画の施策として下記に取り組むことを検討してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 協働推進指針の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の視点の充実が必要</li> <li>・ 市民と市との協働を、どのような目的で、何を、どこまでに行うのか、その目標に対して、それぞれが何を担うのかなど、戦略的な全体構想を明確にする必要がある</li> </ul> </li> <li>2 協働マニュアルの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民も市職員も協働に関する理解を深め、協働をより効果的、効率的に進めるために必要</li> </ul> </li> <li>3 自治基本条例の制定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が主役のまちづくりを進めるとともに、市民（法人等を含む）と市長（行政）と議会の役割と、お互いの関係を明確にするために必要</li> <li>・ 緊急時に対応するためにも必要</li> </ul> </li> <li>4 市の政策立案・実施への市民参画の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会や委員会などの公募委員の増加</li> <li>・ 公募委員などを対象にした関連事項の勉強会（十分な情報提供）</li> <li>・ 重要な政策に関しては多人数の市民懇談会やワークショップを開催</li> <li>・ 政策の企画立案段階での市民と市の意見交換会の開催</li> <li>・ パブリックコメントの実施前後の説明会の開催</li> <li>・ 政策実施団体の募集</li> </ul> </li> <li>5 市民の市政提案制度</li> <li>6 協働推進課・協働推進委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所全体として協働を推進するためには、その専門部署と専門委員会が必要</li> </ul> </li> <li>7 協働事業の協働面の評価</li> </ol>	<p>考えられる市民・社会のニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民との協働に関する基礎となる土台作りが求められている。</li> </ul>
<p>まちづくりの課題整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経常収支比率が高いことから、より一層の財政運営の効率化が必要である。</li> <li>・ 歳入の約6割を自主財源で賄っているものの、経常収支比率は高い水準となっており、財政は硬直化の傾向にある。</li> <li>・ 扶助費は急速に増加しており、また今後も減少する要因がないため、引き続き厳しい財政状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政運営の効率化をし政策的経費の割合を増やすことで、住民のニーズにあった施策を展開していくことが求められている。</li> </ul>



項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
パブリック・コメント		
職員コメント		

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理

章-大柱-中柱	中柱名称
6-5-6	シティ・プロモーションの展開

項目	意見等の内容
前期基本計画 での中柱名称	シティ・セールス朝霞ブランドの育成 シティ・プロモーションの展開
前期基本計画 の総括	<p>「シティ・セールス朝霞ブランド」の周知、活用に取り組む中で、新たな展開についても検討していく必要がある。 【シティ・セールス朝霞ブランドの育成】 【地域資源の発掘・創出】</p> <p>【朝霞市とその魅力をPRするシティ・プロモーションの展開】シティ・プロモーションは、市が一方的に実施するだけでなく、市民等が率先して市の魅力を広めていくような、新たな仕掛けづくりが必要とされる。また、彩夏祭やオリンピックなどのイベントを活用したプロモーション活動を積極的に展開していくことが求められる。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>—</p>

市民意識調査 (客観的データ)	<p>・朝霞市への定住意向は、「ずっと住みつづけたい」(40.4%)、「当分は住みつづけたい」(40.2%)を合わせた“住みつづけたい”の割合が80.6%となっている。一方、「出来れば市外に移りたい」(3.2%)、「すぐにも市外に移りたい」(0.9%)を合わせた“住みつづけたくない”の割合は4.1%となっている。【問1・全体】</p> <p>・住みつづけた理由は、「今の住まいに満足だから(住宅が広い、新しいなど)」の割合が22.3%で最も高く、続いて「通勤・通学に便利だから」(18.4%)、「買い物など日常生活が便利だから」(17.3%)、「地域になじみや愛着があるから」(14.7%)となっている。「その他」には、「交通の便が良い」、「子供たちが近くに住んでいる」などの記述があった。【問2・全体】</p> <p>・「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合が高く、1割を超えている取組は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.6%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。【問12・重要度・全体】</p>
市民意識調査 (自由記述)	<p>・「都市基盤・産業振興」(195件)では、「道路整備」、「公共交通(バス)の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。【自由記述・政策分野】</p>

<p>・市民が朝霞市に住みつづけた理由として、「地域になじみや愛着があるから」(14.7%)があげられており、「市民の愛着の醸成」が定住推進の一助となるものと考えられる。</p> <p>・市民に「シティ・セールス朝霞ブランド」の取組はあまり重要でない(15.9%)と捉えられており、市の魅力の一要素だけでなく全体的な「市のPR強化」が求められている。</p>
---

項目	意見等の内容
青少年アンケート (客観的データ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市が好きかどうかは、「好き」(42.3%)、「どちらかといえば好き」(45.9%)を合わせた“好き”の割合が88.2%となっている。一方、「あまり好きではない」(9.7%)、「好きではない」(1.9%)を合わせた“嫌い”の割合が11.6%となっている。【問2・全体】</li> <li>・朝霞市が好きな理由は、「交通の便がよい」の割合が48.2%で最も高く、続いて「イベントやお祭りが多い」(34.0%)、「住んでいる環境やまちなみがよい」(32.0%)となっている。「その他」には、「田舎すぎず、都会すぎず静かで良い」、「駅がきれいで、駅周辺のお店が充実している」などの記述があった。【問3・全体】</li> <li>・朝霞市が嫌いな理由は、「買い物に不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。【問4・全体】</li> <li>・大人になっても朝霞市に住みたいかどうかは、「住みつけたい」(15.2%)、「どちらかといえば住みつけたい」(30.9%)を合わせた“住みたい”の割合が46.1%となっている。一方、「住みつけたいとは思わない」(17.1%)、「住みつけたくない」(6.4%)を合わせた“住みたくない”の割合が23.5%となっている。【問5・全体】</li> </ul>
青少年アンケート (自由記述)	-

考えられる市民・社会のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年が朝霞市が好き(88.2%)な理由として、「イベントやお祭りが多い」(30.4%)があげられており、「祭り等の催しを通じた愛着形成」が定住推進の一助となるものと考えられる。</li> </ul>

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自助・共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への知識が少ない。</li> <li>・若い人への防災教育が足りない。</li> <li>・防災訓練への参加が少ない。</li> <li>・町内会・自治会の組織率が低い。</li> <li>・自主防災が機能していない。</li> <li>・自分のこととして捉えていない。</li> <li>・避難場所に何があるのか分からない。</li> <li>・高齢者の居住状況がわからない。</li> <li>・マンションの防災組織化への協力。</li> </ul> <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・側溝に草や泥が溜まって流れない。</li> <li>・地震のときの火災が心配。</li> <li>・町内会館等の避難場所に通信手段(固定電話)を設ける。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災倉庫の商品を使いきれっていない。</li> <li>・市がすでに施した排水路の見直しを進める(現在50mm3/h)。</li> <li>・田島地域の盛土対策。</li> </ul> <p>【自助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会が当初の災害の共導役になる。</li> <li>・防災訓練を自分のこととして積極的に参加する。</li> <li>・大水害・大火災による避難・宿泊施設の明確化。</li> <li>・町内会の協力を得る(転入者に市役所からも積極的に加入を薦める)。</li> <li>・集中豪雨の時の対策、各住宅の雨水を収集マスや浸透?掃除?を考えてもらう。</li> </ul> <p>【公助(とはいえ内容は共助)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助を進めるため、声掛けを進める。</li> </ul> <p>【市民へのPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に対する市民の関心の低さ(行政への関心が低い市民が多い)。</li> <li>・取組みの市民へのPR?(市の良い取組が市民に知られていない)。</li> <li>・市民意識、アンケートetcがどう反映されている?(知りたい市民は多い)。</li> <li>・春夏秋冬のイベントの参加率UPの対応策(もっと参加者を増やせる)。</li> </ul> <p>【協働・参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長や議会が協働や市民参加を推進しようとする意識が必ずしも強くない。</li> </ul>
---------------------	--

-
---

項目	意見等の内容	考えられる市民・社会のニーズ
キーパーソン・ミーティング	<p>【朝霞での暮らしの中の楽しみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行きつけのお店に行く（知り合いの店、ご近所の店）</li> <li>・手作りする（食事、おやつ、お弁当、裁縫など）</li> <li>・適度な休息（コーヒータイム、晩酌、新聞タイム、読書タイムなど）</li> <li>・子どもと近所の公園であそぶ（朝霞の森、滝の根公園など）</li> <li>・多様なイベントに参加する（仲町商店会まつり、サンセットマーケットなど）</li> <li>・都内へ気軽にお出かけする（東上線や副都心線、JR利用）</li> </ul> <p>【朝霞でこんな暮らしができる】⇒顕在的・潜在的なまちの魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動の選択肢が多様</li> <li>・生涯現役の働き方</li> <li>・欠食が少ない、野菜もしっかり採れる食生活</li> <li>・無人販売や軒先販売もできる安全・安心</li> <li>・休息、リラックスの時間が楽しめる</li> <li>・つながり、行きつけがある</li> <li>・洗濯物が外で干せる</li> <li>・多様なイベントを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きつけをつくったり、催しに参加したりと、地域や人とのつながりを持つことが求められている。</li> <li>・休息时间や余暇の過ごし方、食事や家事など、日常生活のクオリティが暮らしの満足度につながっている。</li> </ul>
まちづくりの課題整理	-	-

項目	意見等の内容
パブリック・コメント	<p>○ 図書館を単に生涯学習の施設として捉えるのではなく、地域文化の発信の場に、地域活性化戦略（シティ・プロモーション）の中に位置づける。</p> <p>○ 市民に分かりづらい、未消化のカタカナ表記をする場合には、漢字ルビをつける。</p> <p>&lt;中柱&gt; 6シティ・プロモーション（地域活性化戦略）の展開</p> <p>&lt;主な取組&gt;            シティ・プロモーション（地域活性化戦略）を展開するための協力連携            市の魅力となる地域資源の発掘と活用            効果的なメディアの活用推進</p> <p>○ 施策体系について            第6章「基本構想を推進するために」のうち、大柱5「行財政」の中柱6「シティープロモーション」は、行財政の強化項目ではないのではないか。市役所のためのシティープロモーションであってはならない。</p> <p>部署の関係で「行財政」に位置づけたと思われることが残念である。行財政に位置づけたことで市役所内部の都合の宣伝活動としての役割に位置づけられたことをうかがうところがあり、市民とともに地域の価値を高める取組として位置づけ直すことが必要であるのではないか。</p>

考えられる市民・社会のニーズ
<p>・分かりづらいと考えられるワードについては、市民に馴染みのある言葉に言い換えることも必要である。</p> <p>・市だけでなく市民、関係機関、市内外事業者等と協力、連携することが市民側からも求められている。</p>

職員コメント	<p>シティ・プロモーションが今後どのような方向に進んでいくのを読み取れなかった。今後の方向性を明らかにしてほしい。</p>
--------	--

<p>・市民、関係機関、市内外事業者等と協力、連携しシティ・プロモーションを推進するためには、シティ・プロモーションの方針を策定し理解していただくことが必要である。</p>
--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙1

章-大柱-中柱	中柱名称
1-1-1	防災対策の推進
1-1-2	地域防災力の強化
1-1-3	消防体制の充実

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p><b>【地方の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所に住んでいる人の顔が見えない</li> <li>・一番大事なのは、自助、自立だと思う</li> <li>・地域防災アドバイザーの存在を知らなかった</li> <li>・保育園（学校含む）での収容能力</li> <li>・電線がいっぱいあって避難できない→地中化、統合化する</li> </ul> <p><b>【道路冠水】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水管の対応（マックス50mm/1時間）</li> <li>・低い道路が冠水している</li> <li>・泉水の黒目川沿いの道路から避難するルートがない・避難場所までの総距離</li> <li>・水害は地形の高い所に地下貯水槽をつくり、一時的に流れを止める</li> </ul> <p><b>【防災情報】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災メールはとても良い</li> <li>・防災ラジオを持っていてとても良い→皆に広げたい</li> <li>・高いマンションの防災はどうなっているのか</li> </ul> <p><b>【男女平等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加は認知症予防になる</li> <li>・男女平等というのなら、今日の懇談会に女性を半分入れてほしい</li> </ul> <p><b>【将来】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、不満は今のところないが、状況により変化すると思われる</li> <li>・埼玉県、朝霞市大好き</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害のタイプが変わっている→対応できていない</li> <li>・詐欺、迷い人の対応をやってほしい</li> <li>・今の市の組織を「安全・安心」として、防災に限らない広い範囲にする（窓口一つ）</li> <li>・よろず相談窓口が欲しい</li> </ul> <p>[次ページに続く]</p>
---------------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙1

章-大柱-中柱	中柱名称
1-1-1	防災対策の推進
1-1-2	地域防災力の強化
1-1-3	消防体制の充実

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p><b>【市民のつきあい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市と仲良くなりたい</li> <li>・市民が主役なので、市（行政）はサービス業。両者間の溝がある</li> <li>・防災の区域（学区）と自治会・町内会の区割りを合わせられるようにする</li> <li>・マンションの総会に市が来てほしい</li> <li>・友達感覚で市職員と交流したい</li> </ul> <p><b>【 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニケーションがとれていない</li> <li>・防災について市民で考えるには限界がある</li> <li>・朝霞市は都市化が進んでいる為、近所づきあいが年々難しくなっている。</li> <li>・町内会の加入率が低い。</li> <li>・火災に対する対応が十分とは言えない。</li> <li>・防災無線が聞こえづらい。</li> <li>・近所付き合いが大切</li> <li>・顔見知りから始まり、根気強く共助の輪を広げていくことが重要</li> <li>・防災に関する専門家の意見を聴く事が重要</li> <li>・防災無線のみならず、メール受信等は必要に応じ義務化すべき</li> </ul> <p><b>【情報発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報（発信）が遅いのでは・・・。</li> <li>・個人情報保護の関係で、手助けがいる人が分からない。</li> <li>・自助、共助、公助が理解されていない。</li> <li>・斜面が多いので土砂崩れ対策をして欲しい。</li> <li>・集中豪雨対策として、畑を駐車場にする場合、協力を得る。</li> <li>・地区が決まっているので集中豪雨対策を・・・。</li> <li>・地震の際の（建物）倒壊を予想して地域を把握して欲しい。</li> </ul> <p><b>【情報収集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が心配だが、朝霞はどうか。過去の震度は。</li> <li>・防災倉庫の物資がわからない。</li> <li>・災害の種類による避難場所の情報はわかりにくい。</li> <li>・関東大震災のときの朝霞の被害状況はどうだったか知りたい。</li> <li>・水害防止の為にデルタ地域を市民の多くに知らしめる。</li> <li>・大きな分譲地やマンションの建設時に防災組織の組織化をお願いする（それによって防災組織を増やす）。</li> </ul>
---------------------	--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙2

章-大柱-中柱	中柱名称
2-5-1	健康づくりの支援
2-5-2	保健サービスの充実
2-5-3	地域医療体制の充実

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【病院に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関の職員の対応が親切でレベルも向上している</li> <li>・救急体制が整っている</li> </ul> <p>【検診】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診が、高齢だと受けにくい</li> </ul> <p>【行政のつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括支援センターと市の担当職員連携がわかりにくい</li> <li>・行政の横のつながりがよいのではないか</li> </ul> <p>【民生委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の仕事がきつい、手当がわるい</li> <li>・民生委員の数が足りていない</li> </ul> <p>【高齢者施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者がひとりになった場合の連絡はどこへしたらよいか</li> <li>・集合住宅と隣家との交流がない</li> </ul> <p>【保険医療の資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険や医療の資料が冊子になっているが読み切れない</li> </ul> <p>【介護保険と後期高齢者保険】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険と後期高齢者保険の制度を統一したほうがよい</li> <li>・介護保険と後期高齢者保険の制度を一本化して能率を良くし、経費を節約する</li> </ul> <p>【保険・医療の資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の資料を簡単に</li> <li>・市からの通知は簡単に</li> </ul> <p>【在宅医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療の充実</li> <li>・終末医療の体制がどうなっているか現状を広報してほしい</li> </ul> <p>【民生委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の待遇改善をしてほしい</li> </ul> <p>【がん検診】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・75歳以上のがん検診の受診を勧奨してほしい</li> </ul>
---------------------	---



第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙3

章-大柱-中柱	中柱名称
3-2-2	学びを支える環境の充実

キーパーソン・ ミーティング	<p>1. 公民館には、どのような課題があるかと思われますか？</p> <p>①高齢化による人員（会員）の減少。                      ②予約が取りにくい。思うような予約ができないことで新しい団体が育たない。                      ③公民館に魅力が不足している。また公民館のPRも不足している。                      ④トイレ、施設のバリアフリーに課題がある。特にトイレの洋式化が進んでいない。                      ⑤駐車場できる台数が少ない。また公民館周辺の公共交通機関も充実していない。</p> <p>2. これからの公民館に望むものは、どのようなものですか？</p> <p>①公民館利用者が高齢化しており、今後、改築等の際には、トイレの洋式化や温水便座の設置、エレベーターの設置も検討していただきたい。空調の更新も併せてお願いしたい。                      ②公民館まつりは公民館をアピールする絶好のチャンスなので、公民館職員・利用団体の会員が協力し合い、まつりを盛り上げて欲しい。                      ③地域の文化・交流の中心的役割を担ってほしい。                      ④災害時の救助拠点であるため、防災教育を発信していただきたい。                      ⑤幅広い年齢層のそれぞれのニーズに答えて欲しい。現状では現役層、低年齢層へのケアがないと感じられる。                      ⑥備品が老朽化しているので更新してほしい。                      ⑦健康を意識した取組み、地域に密着した講座を実施してほしい。                      ⑧駐車場を増やして駐車台数を増やしてほしい。                      ⑨部屋の貸出しについて、時間貸や部屋を仕切り等で分割して利用できるよう検討してほしい。</p> <p>3. その他公民館に関する考えや要望について</p> <p>①公民館職員とコミュニケーションを図って活動をしていきたい。                      ②公民館を利用していない方へ向けた取組みを検討できないか。                      ③図書室の蔵書について、古いものが多いので更新を検討できないか。                      ④もっと親子が参加できる取組みが必要でないか。                      ⑤父親の参加を促すため、遊びを取り入れた講座はできないか。                      ⑥講座の参加から公民館利用者へ変えていく取組みを検討できないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット検索が日常となる中で図書館の存在意義を考えなければならない。</li> <li>・パソコンを利用できるスペースがもう少しあればいいのではないか。</li> <li>・図書館分館においては無線LANが使えたら良いと思う。</li> <li>・団体貸出の返却を本館だけでなく、分館でもできるようにしていただきたい。</li> <li>・スマートフォンをアプリなどを用いて利用カードの代わりにできないか。</li> <li>・公民館の本がいつも同じに感じるので入れ替えをしてほしい。</li> <li>・朝霞駅より朝霞台駅の方が利用者が圧倒的に多いので、分館をもっと充実させていくべきである。</li> <li>・中庭の有効利用方策として、青空読書スペース、カフェ設置等の提案についての意見・要望があった。（詳細は別紙参照）</li> <li>・分館の自習スペースの照明が暗いので、せめて照明を明るくしてほしい。</li> <li>・学生、社会人へのスペースの確保をしてほしい。</li> <li>・視聴コーナーをPC利用スペースにしてほしい。</li> <li>・図書館、公民館、博物館、各施設の利用者数等の減少傾向について考えなければならない。</li> <li>・博物館では撮影が禁止されている。撮影等ができればインターネット等で情報が広がっていくのではないか。</li> </ul>
-------------------	--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙4

章-大柱-中柱	中柱名称
4-2-1	ごみの減量・リサイクルの推進
4-2-2	ごみ処理体制の充実

キーパーソン・ ミーティング	<p>○朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会</p> <p>生ゴミは、数十年前までは量も少なく、集合住宅が少なかった時代は自宅の庭等に埋めていたと思います。そして現在は、燃えるゴミとして収集されず資源化されていません。今では、食品工場や給食センター等の生ゴミが多量に出て、選別できる場所の生ゴミのみ業者が収集、肥料として再生化しています。これでもリサイクルといえますが他人任せで真の再生とは言えません。生ゴミ分別を搬出元で対応できればより精度の高い、農家で使える（ビニールや金属等の有機物以外のものを含まない）肥料が責任をもって作れます。かつ、収集、輸送コストの削減にもなります。分散処理をすることは責任の持ち方、設備・機能のキャパ等最適化が図れるので推進すべきです。</p> <p>結論から考えると、継続できる循環社会の構築の基本は自己完結です。まず、家庭内で完結するルーチンの構築。ゴミの削減に取り組むと共に、資源への再生ルーチンの確立です。それでも対応できない物は市のゴミ処理ルーチンで対処すべきだと思います。その為には、個別収集に移行、回収費の企業負担、回収方法の改善（ネットから箱へ）、ディポジット制の導入、リユース市場の整備、回収費の個別有料化、学校での環境教育の充実、賃貸業者への指導等は必要だと思います。</p> <p>★「戸別回収」については、それをするだけでもゴミ減量になるという事実が報告されています。福岡市では深夜に行うという画期的な事例もあります。既成の概念から脱却した新たな試みは、朝霞市をよりごみ削減優等生自治体へと導くのではないのでしょうか。その先にゼロ・ウェイスト宣言自治体にまでなれたら更なる全国的なPRになると思われれます。</p> <p>★「福祉面を意識した訪問回収」高齢化が進む中、老人の独り暮らしが増えていきます。大阪市では、福祉面もかねて訪問回収を行う事での安否確認や健康維持時に結びつけているようです。長寿はつつ課や福祉課との連携、違った角度からの環境推進課との協働。縦割りを超えた新たな行政としての在り方も市政50周年を迎え新たなステージに入った朝霞市を内外にアピールする機会と考えます。</p> <p>&lt;情報伝達方法の改善&gt;</p> <p>広報情報を積極的に開示（発信、配信方法を受信型→発信型へ）</p> <p>★ごみ問題で言えば、分別回収の表などがそれにあたると思うのですが、スマートフォンを情報収集の源泉にしている現代にあっては、その在り方も変化させる必要を思います。</p> <p>朝霞市独自のアプリ開発により、ごみ問題についての情報以外にも、育児に関わるものや防災関連なども配信できると、市民にとって本当に必要な行政サービスを提供できることとなります。折角、職員の方々が考えられた行政サービスが利用されないのはもったいないことです。求めている人に求められる行政の提供を目指す朝霞市であれたらと思います。</p> <p>Reuse品（服、家具、雑貨等）のWeb上のShopで開示</p> <p>★リサイクルプラザの家具類販売で、すべてではないまでも、「目玉品」紹介だけでも開示することで、プラザ来館数の向上につなげたいところです。現状のように“プラザに足を運ばないと分からない”ということでは、市民側の負担は大きいですし、積極的なリユース活動には繋がらないと思われれます。</p> <p>&lt;リユースの活動推進&gt;</p> <p>タンス、食器棚等の大型家具の再利用の推進（運搬はプラザで担当）</p> <p>[次ページに続く]</p>
-------------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙4

章-大柱-中柱	中柱名称
4-2-1	ごみの減量・リサイクルの推進
4-2-2	ごみ処理体制の充実

キーパーソン・ミーティング	<p>★自転車やランドセルなど、子供の成長期に発生するごみ問題への取り組みも独自の企画運営があってもいいように思います。</p> <p>&lt;賃貸業者への正しいゴミ出し方法の徹底&gt; 賃貸アパート住人にゴミの出し方、分別方法を徹底・周知（不動産管理者への指導強化）</p> <p>★戸建て住宅（新旧）、賃貸や集合住宅、外国人入居世帯等、性格の違った対象に沿った周知活動の必要も思います。</p> <p>&lt;資源ゴミ回収方法の見直し&gt; 現状のかご分別方式より、良い方法があれば方法の変更をする。</p> <p>&lt;リサイクルプラザの存在意義の周知と活性化&gt; 朝霞市民に必ず1度はリサイクルプラザに来てもらう。（但し、必ず来てもらう企画が必要。よい案はない）</p> <p>★小学生の社会科見学のひとつに織り交ぜたい想いもあるのですが、同じく良案があるわけではありません。プラザ単独というよりはクリーンセンター見学と絡める、などといった感じになるのでしょうか。 今後、ますます求められる環境学習の在り方についても、こども未来課などと協力し合い進化させていく必要を思います。</p> <p>市内コンビニ15店のオーナーにプラスチックごみ問題について意見を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行法の周知や確認と、その説明にもっと柔軟に対応してほしい。</li> <li>・持ち込める場所とその相談に乗ってほしい。</li> <li>・コンビニのごみ箱への、家庭ごみ持込の取り締まりを厳しくしてほしい。</li> <li>・事業ごみ以外に、家庭ごみの持ち込みが多く困っている。</li> <li>・リサイクルを進める上で、手間や費用が掛かる。</li> <li>・社員に分別徹底やミスコピー用紙の利用を浸透するのが難しい。</li> <li>・食品の売れ残り等を減らすための販売管理の徹底が難しい。</li> <li>・紙類など機密文書が多く、リサイクルが難しい。</li> <li>・ごみを減らしても、処理料金が安くなるなどの経済的メリットがない。</li> <li>・生ごみは堆肥化を行っている業者に引き渡している。</li> </ul> <p>朝霞市廃棄物減量等推進審議会でもプラスチックごみ問題について意見を収集した。 [次ページに続く]</p>
---------------	--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙4

章-大柱-中柱	中柱名称
4-2-1	ごみの減量・リサイクルの推進
4-2-2	ごみ処理体制の充実

キーパーソン・ ミーティング	<p>○家庭ごみの減量施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1日当たりのごみ排出量は、順調に減量しているが、ワンルームマンション等のごみの分別不良は、今後も課題であると思う。</li> <li>・環境啓発が必要（分別の徹底など）</li> <li>・食品ロス削減が必要</li> <li>・家庭ごみの有料化</li> <li>・市民1人ひとりの自覚と意識の向上</li> </ul> <p>環境への配慮の醸成 3Rの完全実行 ex買い物時のマイバッグ持参、過剰包装の事態 etc</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対する行政の継続的啓発</li> <li>・「市民と（行政）の情報の共有と意見の交換」を →具体的には、自分たちが（分別して）出したものが、どのように処理され、最終的にどこでどうなっているかを、よく知らない。</li> <li>・分別や減量のインセンティブになるものがない（クリーンセンターに行っておしまい）（ごみ問題の関心があるはずの、協議会やスタッフでさえ、クリーンセンターを見学し説明を聞いて初めて分別しなければいけないと思ったとのこと）</li> </ul> <p>○事業ごみの減量施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1部の小規模事業者の店舗等では、事業ごみを家庭ごみに出す現実が課題であるかと思います。</li> <li>・環境啓発が必要（分別の徹底など）</li> <li>・食品ロス削減が必要</li> <li>・家庭ごみの有料化</li> <li>・事業者も、市民と同じように減量、環境への配慮等が必要</li> <li>・小規模、零細個人事業者に対して、正しい分別のメリットをもっと感じられるような施策が必要ではないか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市・和光市で作るごみ焼却場は、良い焼却場になってほしい。</li> <li>・災害ごみの処理場があると良い</li> </ul> <p>一般市民向け啓発事業「スーパーマーケット店頭等でのごみ減量・分別啓発活動」において、市民の3R実践の周知及びアンケート調査を実施し、ごみ減量についての意見を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大雑把な分別は知っているが、細かいことがわかりづらいので、もっと周知することでリサイクルに繋がると思う。</li> <li>・余計なものは捨てない、無駄なものは使わない、一度に食品をあまり買わない、食べ残しをしない、食材を無駄なく利用する、食品ロスを意識するなどの啓発をしたほうがよい。</li> <li>・包装紙が多い、トレイの大きさを統一するなど生産者の企業努力が必要。</li> <li>・マイバックやマイボトルを利用し、レジ袋やペットボトルの購入を控えることが大事。</li> </ul>
-------------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙5

章-大柱-中柱	中柱名称
4-3-1	コミュニティ活動の推進
4-3-2	活動施設の充実
4-4-1	市民活動への支援
4-4-2	市民活動環境の充実

キーパーソン・ ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内にどのような団体があるのか、パネルだけでなく、団体スタッフから活動内容を聞いてみたい。</li> <li>・「ボランティア」と聞くと「高いハードル」を感じますが、誰でも一歩踏み出せば意外と身近になると思います。子どもの頃からの教育も必要だと思います。社協と市役所との交流・共存を進めてほしい。</li> <li>・芸能人の交流をしたいと思うが、市役所・社協で努力してほしい。</li> <li>・お金はかかるかもしれないが、団体の運営に役立つ支援（講座等）をしてほしい。</li> <li>・団体の活動内容を、町内会に（働きかけて）知ってほしい。</li> <li>・今日のような他団体との交流がとれる取り組みをやってほしい。</li> <li>・団体の困りごとや悩みを聞いてほしいし、（今回のような）皆で解決できるような話し合いの場をつくってほしい。</li> </ul> <p>など、今回の連携・交流が図れる交流会については、「大変良かった」もしくは「良かった」との意見が多かった。（参加者からのアンケート結果で9割）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動団体の抱える問題・課題の把握・整理                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的、効率的な市民活動支援のための基礎情報として必要</li> <li>・市民活動団体の要望を受付ける仕組みの構築</li> </ul> </li> <li>○市民活動推進方針あるいは計画の作成</li> <li>○市民活動支援の基準の作成                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の先行予約・イベントなどのチラシの関連する公共施設への配布などの支援を受ける条件の明確化</li> <li>・市の広報の掲載方法・基準の公開（広報の支援は、市民活動の補助事業だけでなく、それ以外の活動も対象にする）</li> <li>・共催・後援の基準づくり</li> </ul> </li> </ul> <p>[次ページに続く]</p>
-------------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙5

章-大柱-中柱	中柱名称
4-3-1	コミュニティ活動の推進
4-3-2	活動施設の充実
4-4-1	市民活動への支援
4-4-2	市民活動環境の充実

キーパーソン・ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館など市民活動の場所の拡充と使いやすさの改善                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動場所の拡充</li> <li>・公民館などの使用申込み期間の延長</li> <li>・公民館などの使用時間の柔軟性</li> <li>・公民館などでチラシが良く見えるように置き方の改善</li> </ul> </li> <li>○市民活動ステーションの事業の拡充                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の見直し</li> <li>・利用者懇談会・意見交換会（分野別）の実施</li> <li>・相談機能の充実</li> </ul> </li> <li>○市民活動の事務所機能の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーコピー、拡大印刷、折り機などの導入</li> <li>・コピー機及び印刷機にソート機能の付加</li> </ul> </li> <li>○市民活動支援の補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の対象期間を4月からに拡張</li> <li>・市民活動団体が増えているので、補助金総額の増額</li> <li>・市民活動に関連する市の補助金一覧表の作成と公表</li> </ul> </li> <li>○自治会・町内会活動の支援</li> <li>○その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動支援ステーションの場所を移転してほしい。例えば、中央公民館にあると事業の際に立ち寄りやすい。</li> <li>・団体の相談受付について、市民活動ネットワーク等の市民団体に委託してはどうか。</li> <li>・公民館全体での利用者懇談会を今年度に開催して、要望を聴取して、活動者主体の制度を作してほしい。</li> <li>・消費者詐欺の研修後のフォローアップがない。</li> <li>・自治会について、役員ばかりに仕事が集中するので、地域の人材を活用するという意味でも会員にも仕事が割り振られるような制度を構築してほしい。</li> </ul> </li> </ul>
---------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙6

章-大柱-中柱	中柱名称
5-1-1	市街地の適正な利用
5-1-2	市街地周辺の適正な利用
5-2-2	まちの骨格となる道路づくり
5-2-3	良好な交通環境づくり
5-3-3	まちの魅力を生み出す景観づくり
5-3-4	循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり
5-4-1	特性に応じた市街地づくり
5-6-1	災害や犯罪に強いまちづくり
5-6-2	全ての人にやさしいまちづくり

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p><b>【街並に統一性のあるまち】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の高さを揃える</li> <li>・景観計画による政策</li> <li>・景観づくり団体の活用</li> <li>・市・市民・事業者の3者による共通のビジョン</li> </ul> <p><b>【自然環境にやさしい住宅の多いまち】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の緑化</li> <li>・雨水利用の住宅</li> <li>・雨水住宅の優遇</li> <li>・規制よりも優遇による政策指導</li> <li>・Co2削減効果として緑化の優遇</li> </ul> <p><b>【安心、安全なまち】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理を進める</li> <li>・空き家を居場所として市民に活用させる</li> <li>・商店街をイベントの場にする等、商店街を広く市民に活用する</li> <li>・祭りに広場を活用する</li> <li>・県道にも市としての使用を提案し、県道・指導が使いやすくなるとよい</li> </ul> <p><b>【未来像を実現するために】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例(官・民・事業者)</li> <li>・開発をからめると利益誘導といわれるので、やりたがらないが、そういった問題解決のために話し合いをオープンにする。</li> </ul> <p><b>【道路整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の拡張整備、歩車道の分離、道路の段差をなくす</li> <li>・道路を一方通行にして、歩道を広くする</li> </ul> <p>[次ページに続く]</p>
---------------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙6

章-大柱-中柱	中柱名称
5-1-1	市街地の適正な利用
5-1-2	市街地周辺の適正な利用
5-2-2	まちの骨格となる道路づくり
5-2-3	良好な交通環境づくり
5-3-3	まちの魅力を生み出す景観づくり
5-3-4	循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり
5-4-1	特性に応じた市街地づくり
5-6-1	災害や犯罪に強いまちづくり
5-6-2	全ての人にやさしいまちづくり

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面表示でなく、交差点に絵を描くことにより、交通安全の向上 (例. 30キロ規制や「スピード落とせ」などを絵で表現する)</li> </ul> <p>【住宅環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅密集地での住宅区画整備</li> <li>・ゆるやかな地区計画などで、戸建て住宅地の住環境を改善</li> <li>・空き家、空き地の公共的な活用 (例. 公園としての利用)</li> </ul> <p>【まちの魅力づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型児童施設、青少年教育施設、大型運動イベント施設などの設置</li> <li>・2駅を中心とした大型商業施設</li> <li>・商業施設の適度なりニューアル</li> <li>・広域的に集客できる施設を建てる</li> </ul> <p>【魅力を活かした景観】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設道路から地中化を進める (駅前通りをモデルケースに)</li> <li>・電力会社との協議の場を各自治体と一緒に設けていく</li> </ul> <p>【みどりの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりを活かしたイベントを開催する</li> </ul> <p>【人口規模】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口規模15万～18万人程度が良いのでは→15万人で良いのかどうかは意見が分かれるところ</li> <li>・一方で、住みよいまちだからこそ人口が増えているのも事実</li> <li>・人口増加が激しいとインフラ整備が追い付かない</li> <li>・人口減少が進めばまちの活力低下も懸念される</li> </ul> <p>[次ページに続く]</p>
---------------------	---



第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙6

章-大柱-中柱	中柱名称
5-1-1	市街地の適正な利用
5-1-2	市街地周辺の適正な利用
5-2-2	まちの骨格となる道路づくり
5-2-3	良好な交通環境づくり
5-3-3	まちの魅力を生み出す景観づくり
5-3-4	循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり
5-4-1	特性に応じた市街地づくり
5-6-1	災害や犯罪に強いまちづくり
5-6-2	全ての人にやさしいまちづくり

	<p>【住環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺の商業地域が広い→店舗ではなく高層マンションが立地する</li> <li>・ 住環境が向上しないとまちの魅力が高まらない</li> <li>・ 高層マンションへの規制強化</li> </ul>
--	--

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙6

章-大柱-中柱	中柱名称
5-1-1	市街地の適正な利用
5-1-2	市街地周辺の適正な利用
5-2-2	まちの骨格となる道路づくり
5-2-3	良好な交通環境づくり
5-3-3	まちの魅力を生み出す景観づくり
5-3-4	循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり
5-4-1	特性に応じた市街地づくり
5-6-1	災害や犯罪に強いまちづくり
5-6-2	全ての人にやさしいまちづくり

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高層マンションへの規制強化</li> <li>【コンパクトシティ】</li> <li>・「まち」は地域の集合体→地域コミュニティを大切に</li> <li>【コミュニティ】</li> <li>・コミュニティやゆとりある施設、建築物にする</li> <li>・職場と住居が近接しているのがよいのでは</li> <li>・地域に根づいた人を増やす（特に男性）</li> <li>【魅力あるまちづくり】</li> <li>・魅力ある店舗の誘致（活性化）</li> <li>・優良企業の誘致</li> <li>【道路・交通】</li> <li>・市内交通網の見直し→利用しやすい交通</li> <li>・バスの利便性を高める（車社会からの脱却）</li> <li>【空き家】</li> <li>・空き部屋の有効活用→空き部屋・空き家を利用したいとの声も聞く</li> <li>・空き家対策は必要（行政のバックアップ）</li> <li>・学校の児童減に備えて複合施設にする</li> <li>【未来像の実現に向けて】</li> <li>・行政と住民による確たる協働を進める</li> <li>・地域格差の解消→駅周辺と郊外など</li> <li>・都市計画の大幅な見直しも一考</li> </ul>
---------------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙7

章-大柱-中柱	中柱名称
6-4-1	市民参画と協働の推進
6-4-2	情報提供の充実と市民ニーズの把握
6-5-4	適正かつ効率的な行政事務の遂行
6-5-5	機能的な組織づくりと人材育成

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【自助・共助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への知識が少ない。</li> <li>・若い人への防災教育が足りない。</li> <li>・防災訓練への参加が少ない。</li> <li>・町内会・自治会の組織率が低い。</li> <li>・自主防災が機能していない。</li> <li>・自分のこととして捉えていない。</li> <li>・避難場所に何があるのか分からない。</li> <li>・高齢者の居住状況がわからない。</li> <li>・マンションの防災組織化への協力。</li> </ul> <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・側溝に草や泥が溜まって流れない。</li> <li>・地震のときの火災が心配。</li> <li>・町内会館等の避難場所に通信手段（固定電話）を設ける。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災倉庫の商品を使いきれていない。</li> <li>・市がすでに施した排水路の見直しを進める（現在50mm<sup>3</sup>/h）。</li> <li>・田島地域の盛土対策。</li> </ul> <p>【自助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会が当初の災害の共導役になる。</li> <li>・防災訓練を自分のこととして積極的に参加する。</li> <li>・大水害・大火災による避難・宿泊施設の明確化。</li> <li>・町内会の協力を得る（転入者に市役所からも積極的に加入を薦める）。</li> <li>・集中豪雨の時の対策、各住宅の雨水を収集マスや浸透？掃除？を考えてもらう。</li> </ul> <p>【公助（内容は共助）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助を進めるため、声掛けを進める。</li> </ul> <p>【市民へのPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に対する市民の関心の低さ（行政への関心が低い市民が多い）。</li> <li>・取組みの市民へのPR？（市の良い取組が市民に知られていない）。</li> <li>・市民意識、アンケートe t cがどう反映されている？（知りたい市民は多い）</li> <li>・春夏秋冬のイベントの参加率UPの対応策（もっと参加者を増やせる）。</li> </ul> <p>[次ページに続く]</p>
---------------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙7

章-大柱-中柱	中柱名称
6-4-1	市民参画と協働の推進
6-4-2	情報提供の充実と市民ニーズの把握
6-5-4	適正かつ効率的な行政事務の遂行
6-5-5	機能的な組織づくりと人材育成

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【協働・参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長や議会が協働や市民参加を推進しようとする意識が必ずしも強くない。</li> <li>・協働を専門的に推進する部署がない（あってもそれが感じられない）。</li> <li>・部署ごとに協働に関する考え方</li> <li>・方針が統一されていない。</li> <li>・協働推進指針の見直し。</li> <li>・協働参加推進の組織づくり。</li> <li>・協働参加の場づくり。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通空白地がある（デマンド交通という形ではサービス提供がない）。</li> <li>・企業誘致の推進（法人市民税収や雇用を増やす）。</li> </ul> <p>【朝霞の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良いやさいを作り出す方法を考える。</li> <li>・あさかの魅力を作り出す。</li> </ul> <p>【まちの開発・計画的なまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職住近接を目指さないと（昼間の人少なさを考えると）。</li> <li>・朝霞台、北朝霞、バリアフリーやホームドアの整備。</li> <li>・市政は東京への近隣都市として、住居整備都市として、整備する方向を望む。</li> <li>・オリンピック等イベント的な部分に焦点が当たり易いが、生活維持部門への投資が望まれる。</li> <li>・産業振興、企業誘致が必要である。</li> <li>・朝霞台駅、北朝霞駅の整備（特にトイレ）が求められる。</li> <li>・背伸びしないで生活安定のための行政が望まれる。</li> <li>・財政面から公共施設の整理、統合を進める。経費の安定化を図る。</li> <li>・扶助費は減らせないが他の事業にまわす予算が必要。</li> </ul> <p>【市民が誇りや愛着を感じられるシティ・プロモーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの情報届いてない人が多いのではないかな？</li> <li>・朝霞らしさとはなんだろうか。</li> <li>・朝霞の魅力が少ない。アピールポイントがない。</li> </ul> <p>【地域でのつながりづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等等、その他、多様性がみとめられていない。</li> <li>・自治体、町内会の役割、活動が不十分ではないか。</li> <li>・市民どうしのつながりがうすい。</li> </ul> <p>[次ページに続く]</p>
---------------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙7

章-大柱-中柱	中柱名称
6-4-1	市民参画と協働の推進
6-4-2	情報提供の充実と市民ニーズの把握
6-5-4	適正かつ効率的な行政事務の遂行
6-5-5	機能的な組織づくりと人材育成

分野別市民懇談会 (現状と課題)	<p>【一】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民参加のイベントをお祭りと一緒に行う</li> <li>・所得に応じた医療費制度</li> <li>・男女性別によらず着られる制服</li> <li>・子供・青少年が自由に学習できる場</li> <li>・水と緑のまち、空の広いまちあさかをアピール</li> <li>・市民体育際にパラリンピック種目を入れる（入っている）</li> <li>・賃貸住宅に住んでいる人、単身の人の相談機会</li> <li>・自治会・町内会を中心とした自治と市行政の連携</li> <li>・小さな会社をたくさん呼ぶ、起業促進</li> </ul> <p>【公共交通の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド・タクシーの運行の未実施。</li> <li>・公共バスの充実。</li> <li>・循環バスの停留場所の増大。</li> <li>・高齢者に対する交通費補助の増額（他市との比較から）。</li> </ul> <p>【歩道橋の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道が整備されていないところが多く危険。</li> </ul> <p>【福祉の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合福祉センターの体制の明確化。</li> <li>・福祉関係に携わる職員の給料の増額（人員不足）。</li> </ul> <p>【安定した財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経常収支比率の改善。</li> </ul> <p>【他市の情報収集と反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市のリサーチによる参考的な取り組みを反映した施策の実施。</li> </ul> <p>【高齢者福祉の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の最後が不安にならないためにも、福祉に財源を。</li> <li>・高齢者ボランティアを有効活用できる体制づくり。</li> </ul> <p>【適正な財政運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の誘致やふるさと納税の拡大による歳入の増大。</li> <li>・RPAやAIを活用した業務の効率化による歳出の削減。</li> <li>・職員や議員の削減による歳出の削減。</li> <li>・国に対する防衛費削減への提言。</li> </ul>
---------------------	---

章-大柱-中柱	中柱名称
6-4-1	市民参画と協働の推進

パブリック・コメント	<p>○ 市民参画が推進されるようパートナーシップカレッジのような市民大学を復活させてほしい。</p> <p>○ 前期基本計画の中柱の1と2を統合して中柱1を「市民参画と協働の推進」としたと思います。前期の中柱1の主な取組②「参画と協働の仕組みの検討」は、新中柱1の主な取組に入っていますが、取組①「条例制定の検討」は含まれていません。どうしてなのでしょう。平成26年度に、自治基本条例を考える市民の会（現在は朝霞の自治を進める市民の会；以後、「市民の会」）に対して、朝霞市役所から自治基本条例の必要性を検討してもらいたいとの依頼がありました。そこで、市民の会で学習を重ね、市民を対象にしたアンケート調査も実施し、それらを踏まえて、「朝霞市における自治基本条例制定の必要性について」を取りまとめ、平成28年3月に政策企画課に提出しました。平成29年6月に政策企画が市民の会へ検討状況を伝えましたが、その後、正式な連絡はありません。市民の会としては、条例制定はまだ検討が継続されているものと考えています。</p> <p>「朝霞市における自治基本条例制定の必要性について」で述べましたとおり、①市民が主役のまちづくりを進めるため、②市民（法人等含む）と市長（行政）と議会の役割と、お互いの関係を明確にするため、③緊急時に対応するため、自治基本条例は必要であると考えます。</p> <p>○協働推進指針の見直し 現在の指針は、十分な市民参加なしで作成されたとともに、内容が古くなっているため。</p> <p>○協働マニュアルの作成 市役所も市民活動団体も協働をスムーズに進めるために必要。</p> <p>○協働推進課・協働推進委員会の設置 協働を推進するために、県内他市で設置している専門の部署が必要。また、協働の推進や方法の改善などのため、公募市民を含む委員会が必要。</p> <p>○協働事業の協働面の評価 協働事業の有効性などを評価し、方法などを改善することが必要。</p> <p>○市民の市政提案制度 市民が市政に参画するため、朝霞に必要な事項を提案し、行政・議会で検討する仕組みが必要。</p> <p>○重要な政策に関する多人数の市民懇談会やワークショップの開催 市民の声を十分に反映した政策の立案・実施のために必要。</p> <p>○政策の企画立案段階での市民と市の意見交換会の開催 最終案の段階では大幅な修正が難しいため、政策立案の早い段階において、市民が意見を述べる機会が必要。</p> <p>○パブリックコメントの実施前後の説明会の開催 パブリックコメントの実効性を高めるためには、対象となる事案の丁寧な説明と、コメントに対する市役所としての対応案の説明をそれを踏まえた市民との意見交換会が必要。</p> <p>○政策実施団体の募集 市役所だけでなくすべての政策を実施することは困難であり、また、市民活動団体が実施した方が好ましい政策もありますので、そのような場合は、実施団体を募集することが望ましいと考えます。</p> <p>○パートナーシップカレッジの再開 市民活動の担い手の高齢化が進行していることから、パートナーシップカレッジを再度開講し、市民活動や協働に関わる市民の養成が必要です。</p> <p>[次ページに続く]</p>
------------	---

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 市民意見等の整理 別紙8

章-大柱-中柱	中柱名称
6-4-1	市民参画と協働の推進

パブリック・コメント	<p>○ 「主な取り組み」に「条例制定の検討」を復活してください。</p> <p>○ 子育て世代が多い朝霞市において、親の声を聴く機会も同等に重要と考え、タウンミーティングなどの開催時間帯や場所を親の集いやすいものに変えていくなどの工夫が重要と感じます。</p> <p>○ 朝霞に住んで 種々お世話になっております。そして終の棲家としたいと思い、老身を励ましながらいろいろ住みよい、安心な、楽しい朝霞を思い生活している積りです。そこで この機に行政に要望したいと思います。</p> <p>憲法に則って市民の生活を保障し守ることは勿論ですが、身近なところの市の行政では、速やかに市の自治基本条例を制定して、全てに民主主義を基本とした行政を進めて頂けたらと思います。民主主義の実現には時間がかかりますが、それが自立した市民にも繋がるかと思えます。</p> <p>要望の理由は、私にはありませんが、市民の方々の持っている力を、もっともっと施策に発揮していただくことで、今の市の行政目標の実現により近くなるのではないのでしょうか。具体的には種々の公募委員などの人数を最低半数以上にするなどを、基本条例の中で決めておく、、、などで市民の意見をもっともっと入れることが必要だと思います。また市職員にも仕事の励みも生ずることに繋がると思います。</p> <p>○&lt;主な取組&gt;</p> <p>市政への参画の機会の充実          (追加) 市民委員増員の検討          参画と協働の仕組みの検討</p> <p>○ 主な取組が「市政への市民参画」から「市政への市民参画機会の充実」は、市民参画を部分化して行政の裁量で参加機会を分与する考え方であり後退ととらえる。元に戻すべきではないか。</p> <p>また、「参画と協働の仕組みの検討」として手法検討に留まらず、協働指針の抜本的改定により、多様な参画のあり方、協働のあり方として、パブリックコメント、ワークショップ、社会調査など多様な市民の意見集約・参加の手法を例示し、附属機関の設置や審議事項、開催方法、資料公開のルール化なども明示すべきではないか。</p>
------------	---